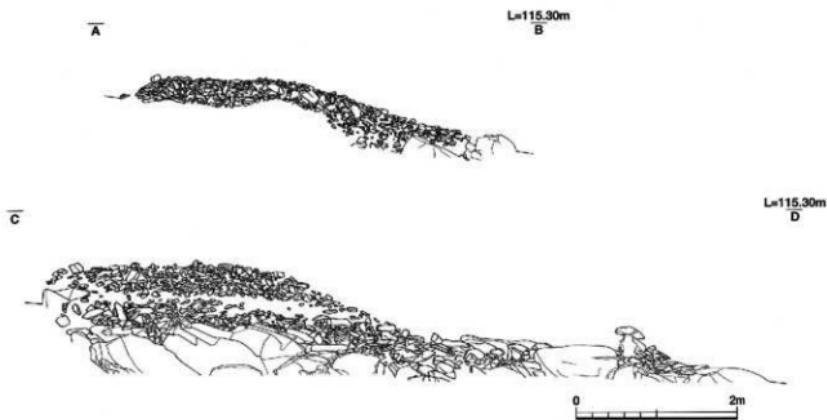
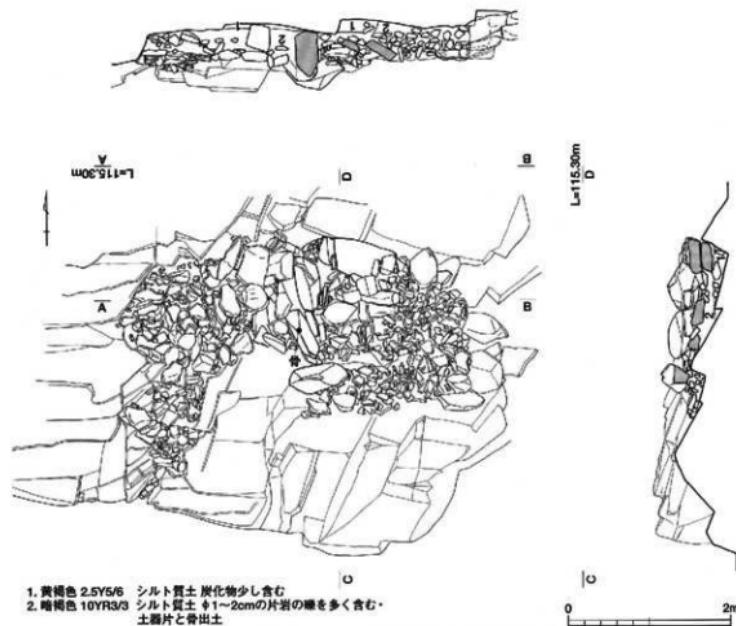


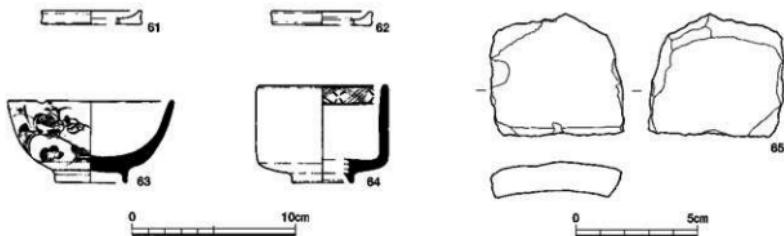
第47図 F区ST1002検出状況図



第48図 F区ST1002見通し図



第49図 F区ST1002 1号埋葬施設平・断面遺物出土状況図



第50図 F区ST1002出土遺物

して塚が形成されている。

この小塚に被覆された第1層を除去すると、とくに目立った配列や区画はないが30~40cmの大形礫を用いてある程度塚としての範囲をつくり出し、この範囲の中の南西側において埋葬施設が1基確認できた。

#### 1号埋葬施設（第49図）

2号塚の南側に位置する。検出グリッドはV-22グリッドである。0.5~1m大を測る岩盤礫（結晶片岩）を用い、一部が途切れるものはほぼ方形に礫を配して枠みをつくり出している。北側には東西に小口をもつ長方形の板石を水平に置き、奥壁の相当するものを形成する。さらに両側壁に相当する位置には長方形を呈する岩塊を立てて配している。南側の壁は不明である。よってこの埋葬施設の規模は残存値ながら長軸1.95m、短軸1.35m、深さ0.7mを測る。床面は、比較的の水平を意識しつつ10cm前後の角礫を用いて敷き詰めている。

出土遺物は61、62は土師器の小皿である。63、64は磁器の碗である。65は土師質の平瓦である。

#### 不明遺構（SX）

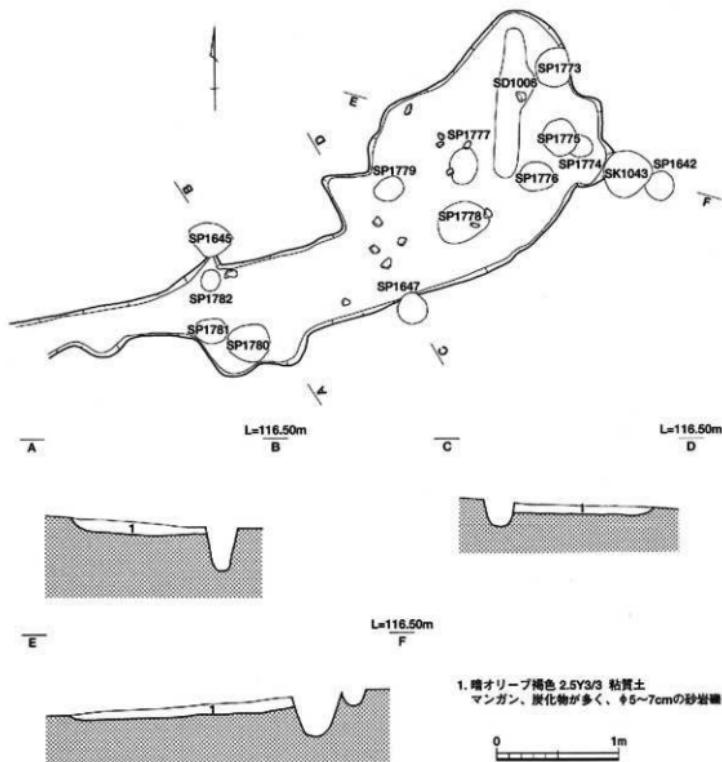
##### 2号不明遺構（SX1002）（第51・52図）

D区の西側に位置する。検出グリッドはO・P-5・6グリッドである。遺構の西端は調査区外に延び、SD1006、SP1774~1776、1778~1780、1782を切り、SA1003（SP1777、1781）、SK1043、SP1645、1647に切られる。遺構平面形状は北東側がふくらんだ済に近い形状を呈し、遺構断面形状は浅い逆台形を呈する。遺構規模は長軸4.9m、短軸0.3m、深さ0.17mを測る。

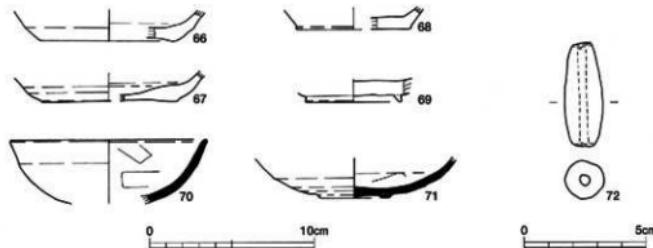
遺構埋土は暗オリーブ褐色を呈する粘質土が堆積する単一層である。この遺構埋土中にはφ6cm前後の砂岩礫が含まれていた。

66~68は土師器の杯である。69は土師器の楕である。70、71は須恵器の楕である。72は管状土錐である。

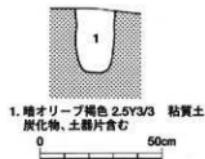
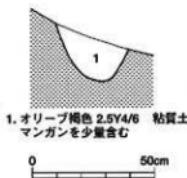
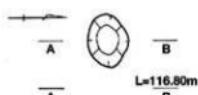
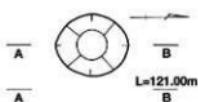
遺構の時期は、13世紀半ばから後半にかけてと考えられる。



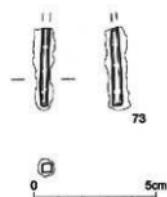
第51図 D区 SX1002平・断面遺物出土状況図



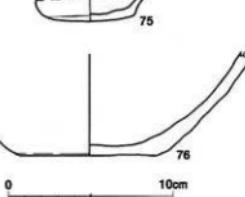
第52図 D区 SX1002出土遺物



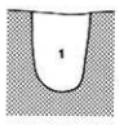
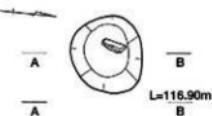
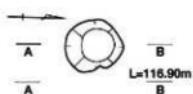
第53図 B区SP1041平・断面図 第55図 D区SP1306平・断面図 第57図 D区SP1325平・断面遺物出土状況図



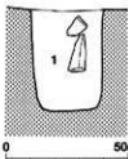
第54図 B区SP1041出土土器



第58図 D区SP1325出土土器



1. 増オリーブ褐色 2.5Y3/3 粘質土  
炭化物多く含む



1. 増褐色 10YR3/3 粘質土  
炭化物、土器片多く含む

第59図 D区SP1326平・断面図

第61図 D区SP1329平・断面遺物出土状況図



第60図 D区SP1326出土土器

第62図 D区SP1329出土土器

### 小穴・柱穴（SP）

#### 41号小穴（SP1041）（第53・54図）

B区の中央に位置する。検出グリッドはH-7グリッドである。遺構平面形状は南北に長軸をもつ梢円形を呈し、遺構断面形状は船底形を呈する。遺構規模は径0.3m、深さ0.24mを測る。

遺構埋土はオリーブ褐色を呈する粘質土が堆積する單一層である。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

73は鉄製釘である。

#### 306号小穴（SP1306）（第55・56図）

D区の東側に位置する。検出グリッドはP-11グリッドである。遺構平面形状は東西に長軸をもつ梢円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.22m、深さ0.27mを測る。

遺構埋土は暗オリーブ褐色を呈する粘質土が堆積する單一層である。埋土中には炭化物を含む。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

74は土師器の小皿である。

#### 325号小穴（SP1325）（第57・58図）

D区の中央に位置する。検出グリッドはO-10グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.21m、深さ0.18mを測る。

遺構埋土はオリーブ褐色を呈する粘質土が堆積する單一層である。遺構の上層より結晶片岩の小砾とともに土師器の小皿と上半部を打ち欠いて鉢に転用したと思われる土師器の壺底部が出土している。何らかの祭祀行為が行われたのであろうか、詳細は判断できなかった。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

75は土師器の小皿である。76は土師器の壺である。

#### 326号小穴（SP1326）（第59・60図）

D区の中央に位置する。検出グリッドはO-10グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は船底形を呈する。遺構規模は径0.24m、深さ0.34mを測る。

遺構埋土は暗オリーブ褐色を呈する粘質土が堆積する單一層である。埋土中には多くの炭化物が含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

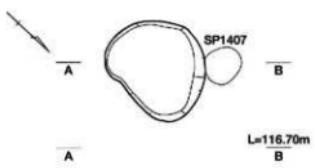
77は須恵器の壺である。

#### 329号小穴（SP1329）（第61・62図）

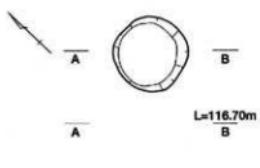
D区の中央に位置する。検出グリッドはO-10グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.32m、深さ0.41mを測る。

遺構埋土は暗褐色を呈する粘質土が堆積する單一層である。埋土中には炭化物が多く含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

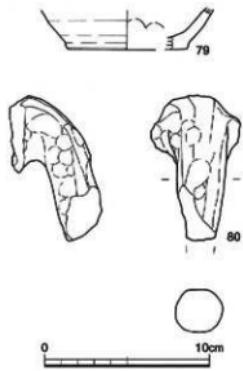
78は磁器の小皿である。



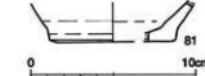
第63図 D区SP1406平・断面図



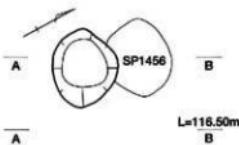
第65図 D区SP1408平・断面図



第64図 D区SP1406出土土器



第66図 D区SP1408出土土器



第67図 D区SP1455平・断面図



第68図 D区SP1455出土土器

#### 406号小穴 (SP1406) (第63・64図)

D区の西側に位置する。検出グリッドはO-9グリッドである。遺構の北西側をSP1407を切る。遺構平面形状は北西-南東に長軸をもち東側が括れる不整椭円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.43m、深さ0.15mを測る。

遺構埋土は、オリーブ褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。埋土上には炭化物が多く含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

79は土師器の杯である。80は土師器羽釜の脚部である。

#### 408号小穴 (SP1408) (第65・66図)

D区の西側に位置する。検出グリッドはO-9グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.31m、深さ0.31mを測る。

遺構埋土は暗オリーブ褐色を呈する粘質土が堆積する単一層である。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

81は土師器の杯である。

#### 455号小穴 (SP1455) (第67・68図)

D区の東側に位置する。検出グリッドはP-11グリッドである。遺構の北側でSP1456を切る。遺構平面形状は東西に長軸をもつ不整規円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.32m、深さ0.23mを測る。

遺構埋土はオリーブ褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物がわずかに含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

82は須恵器の壺である。

#### 484号小穴 (SP1484) (第69・70図)

D区の中央に位置する。検出グリッドはP-10グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.25m、深さ0.29mを測る。

遺構埋土はオリーブ褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物がわずかに含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

83は鉄製釘である。

#### 552号小穴 (SP1552) (第71・72図)

D区の西側に位置する。検出グリッドはP・Q-7グリッドである。遺構の南東側でSP1551を切り、南西側でSP1553を切る。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.30m、深さ0.18mを測る。

遺構埋土はオリーブ褐色を呈する粘質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物が多く含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

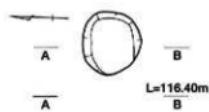
84は土師器の椀である。

#### 554号小穴 (SP1554) (第73・74図)

D区の西側に位置する。検出グリッドはP-7グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.27m、深さ0.32mを測る。

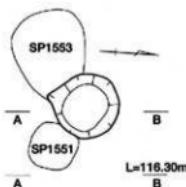
遺構埋土は暗オリーブ褐色を呈する砂質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物がわずかに含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

85は土師器の小皿である。

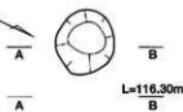


1. オリーブ褐色 2.5Y4/3 シルト質土  
マンガン、炭化物小量を多く含む  
0 50cm

第69図 D区SP1484平・断面図

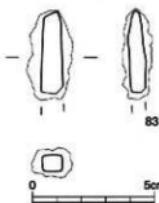


L=116.30m



1. 増オリーブ褐色 2.5Y3/3 砂質土  
マンガン多く、炭化物を少し含む  
0 50cm

第73図 D区SP1554平・断面図

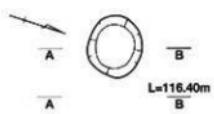


第72図 D区SP1552出土土器



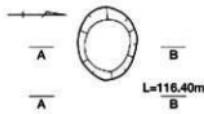
第74図 D区SP1554出土土器

第70図 D区SP1484出土鐵器

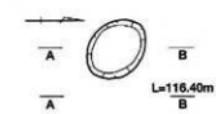


1. 増オリーブ褐色 2.5Y3/3 シルト質土  
マンガン多く、土器粒を少し含む  
0 50cm

第75図 D区SP1565平・断面図



1. 増灰黃色 2.5Y4/2 シルト質土  
マンガン多く、炭化物と土器粒を少し含む  
0 50cm

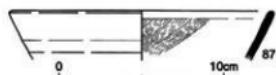


1. 増オリーブ褐色 2.5Y3/3 砂質土  
マンガン多く、炭化物と土器粒を少し含む  
0 50cm

第79図 D区SP1572平・断面図



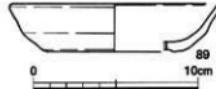
第77図 D区SP1567平・断面遺物出土状況図



第76図 D区SP1565出土土器



第78図 D区SP1567出土土器



第80図 D区SP1572出土土器

#### 565号小穴 (SP1565) (第75・76図)

D区の西側に位置する。検出グリッドはP-7グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.26m、深さ0.29mを測る。

遺構埋土は暗オリーブ褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

86は土師器の小皿である。87は須恵器の碗である。

#### 567号小穴 (SP1567) (第77・78図)

D区の西側に位置する。検出グリッドはP-7グリッドである。遺構平面形状は東西に長軸をもつ梢円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.30m、深さ0.50mを測る。

遺構埋土は暗灰黄色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物がわずかに含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

88は青磁の碗である。

#### 572号小穴 (SP1572) (第79・80図)

D区の西側に位置する。検出グリッドはP-7グリッドである。遺構平面形状は北西-南東に長軸をもつ梢円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.28m、深さ0.29mを測る。

遺構埋土は暗オリーブ褐色を呈する粘質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物がわずかに含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

89は土師器の杯である。

#### 587号小穴 (SP1587) (第81・82図)

D区の西側に位置する。検出グリッドはP-7グリッドである。遺構平面形状は南北に長軸をもつ梢円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.32m、深さ0.14mを測る。

遺構埋土は暗灰黄色を呈する粘質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物が多く含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

90は青磁の碗である。

#### 619号小穴 (SP1619) (第83・84図)

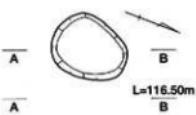
D区の西側に位置する。検出グリッドはP-7グリッドである。遺構平面形状は東西に長軸をもつ梢円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.30m、深さ0.32mを測る。

遺構埋土はオリーブ褐色を呈する粘質土が堆積する単一層である。埋土中には比較的大型の岩盤礫が含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

91は白磁の碗である。

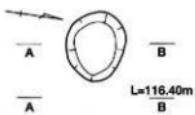
#### 644号小穴 (SP1644) (第85・86図)

D区の西側に位置する。検出グリッドはP-6グリッドである。遺構平面形状は不整円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.24m、深さ0.32mを測る。



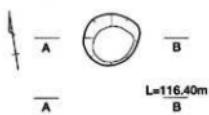
1. 暗灰黄色 2.5Y4/2 粘質土  
炭化物多く、マンガンを少し含む  
0 50cm

第81図 D区SP1587平・断面図



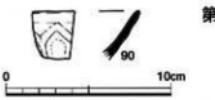
1. オリーブ褐色 2.5Y4/3 粘質土  
マンガンと小場を多く含む  
0 50cm

第83図 D区SP1619平・断面遺物出土状況図

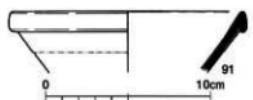


1. 暗灰黄色 2.5Y4/2 粘質土マンガン多く、  
小場と5~8cmの層を多く含む  
0 50cm

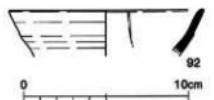
第85図 D区SP1644平・断面図



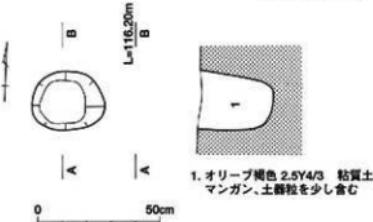
第82図 D区SP1587出土土器



第84図 D区SP1619出土土器

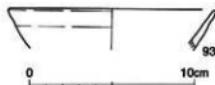


第86図 D区SP1644出土土器



1. オリーブ褐色 2.5Y4/3 粘質土  
マンガン、土器柱を少し含む  
0 50cm

第87図 D区SP1776平・断面図



第88図 D区SP1776出土土器

遺構埋土は暗灰黄色を呈する粘質土が堆積する単一層である。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

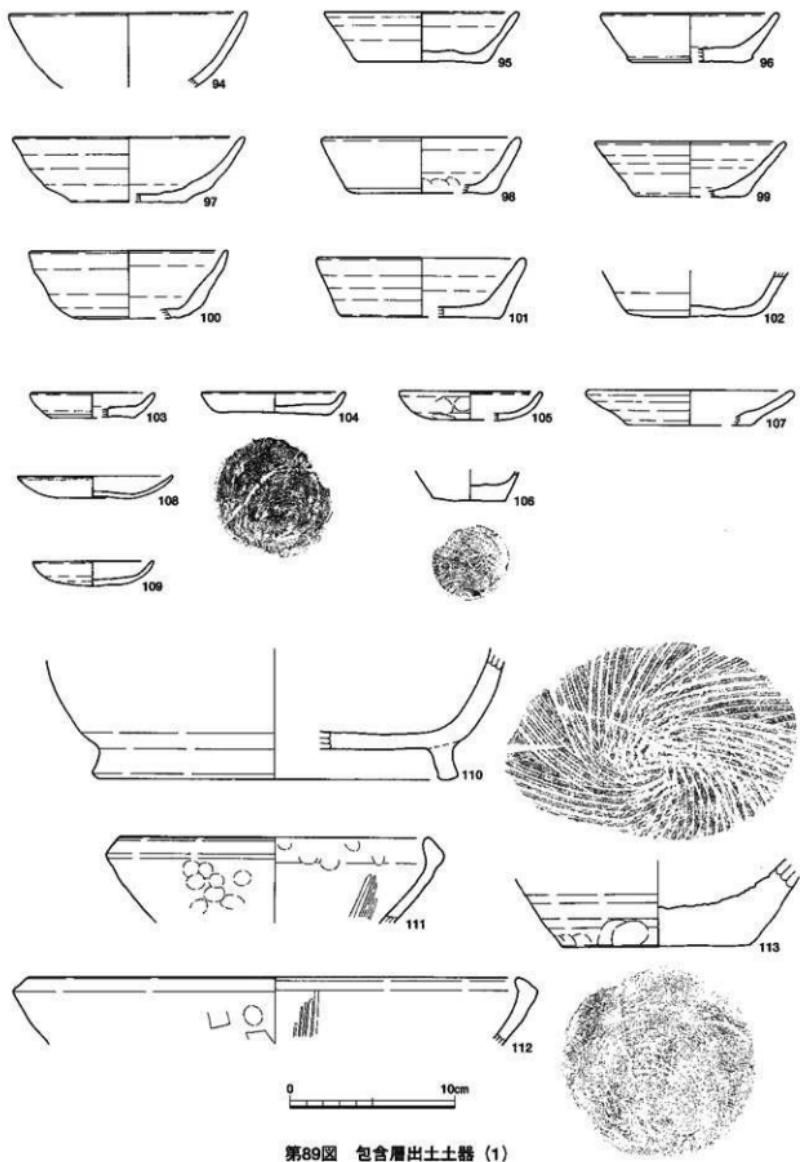
92は須恵器の椀である。

#### 776号小穴 (SP1776) (第87・88図)

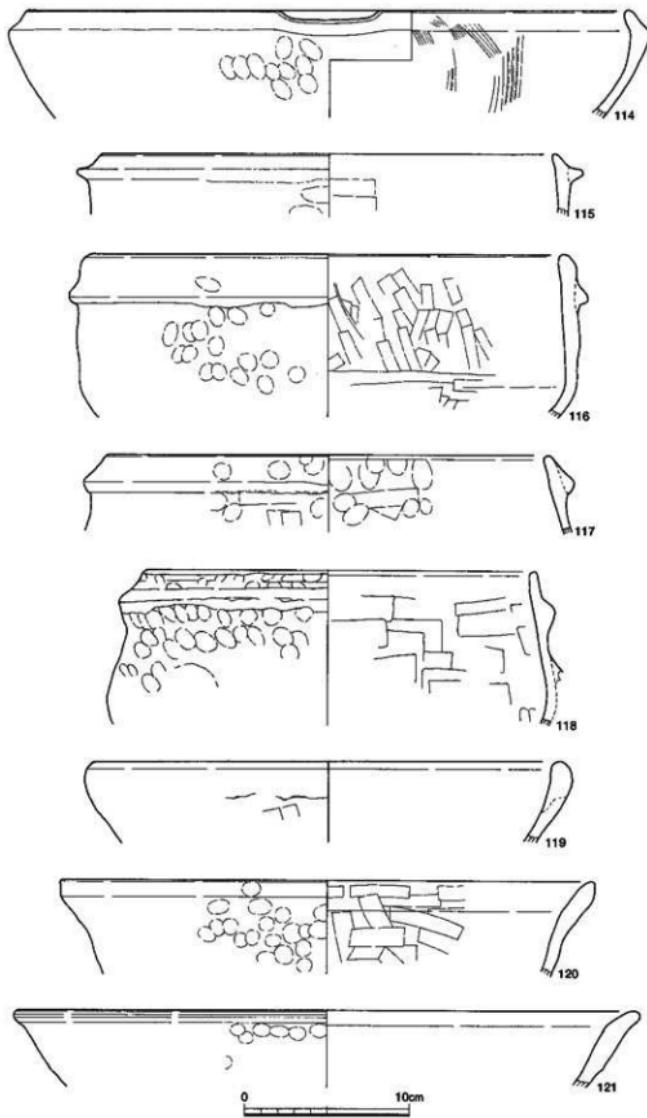
D区の西側に位置する。検出グリッドはP-6グリッドである。遺構平面形状は東西に長軸をもつ梢円形を呈し、遺構断面形状は船底形を呈する。遺構規模は径0.30m、深さ0.31mを測る。

遺構埋土はオリーブ褐色を呈する粘質土が堆積する単一層である。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

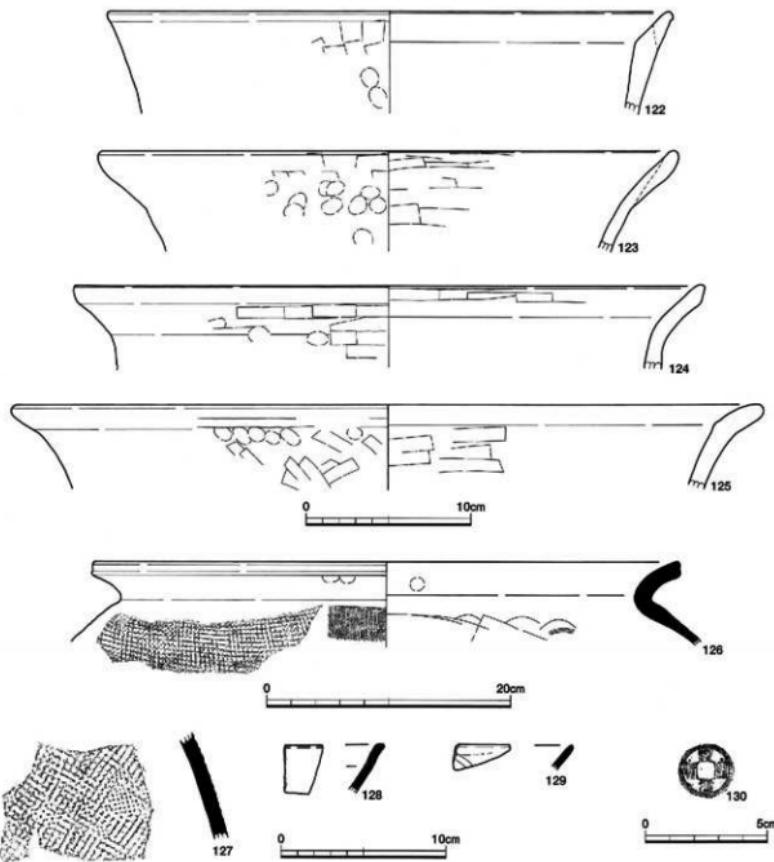
93は土師器の杯である。



第89図 包含層出土土器 (1)



第90図 包含層出土土器（2）

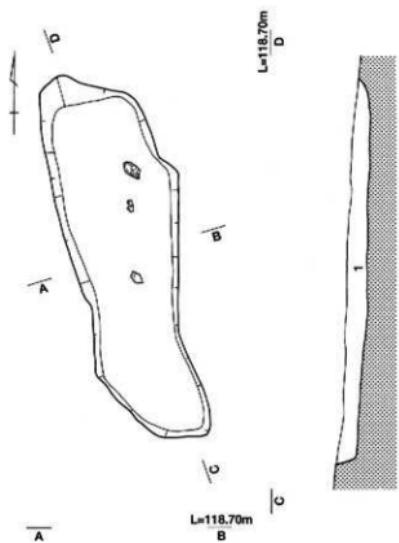


第91図 包含層出土遺物（3）

#### 包含層出土遺物（第89～91図）

包含層出土遺物は遺構密度の高いD区から比較的多く出土した。とくに土師器を中心として出土しており杯・小皿などの食器や羽釜・鍋などの煮沸具が主体をなしている。

94～102は土師器の杯である。103～109は土師器の小皿である。110は土師器の羹または鉢である。111～113は土師器の捕り鉢である。114～118は土師器の羽釜である。119～125は土師器の鍋である。126、127は須恵器の羹である。128は白磁の碗である。129は青磁の碗である。130は北宋銭の「熙寧元寶」である。



近世

### 土坑 (SK)

#### 3号土坑 (SK1003) (第92・93図)

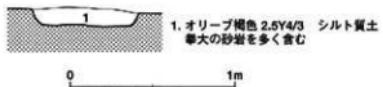
C区の北側に位置する。検出グリッドはM-10グリッドである。遺構平面形状は南北に長軸をもつ不整長方形を呈し、遺構断面形状は浅い逆台形を呈する。遺構規模は長軸238m、短軸0.52m、深さ0.22mを測る。

遺構埋土はオリーブ褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。

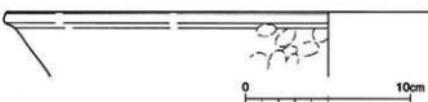
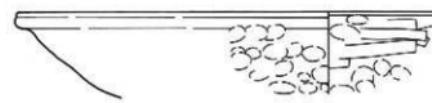
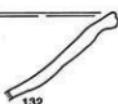
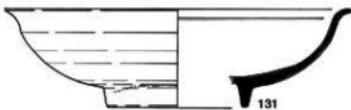
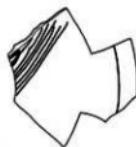
131は磁器の碗である。132、133は焙烙である。

#### 4号土坑 (SK1004) (第94・95図)

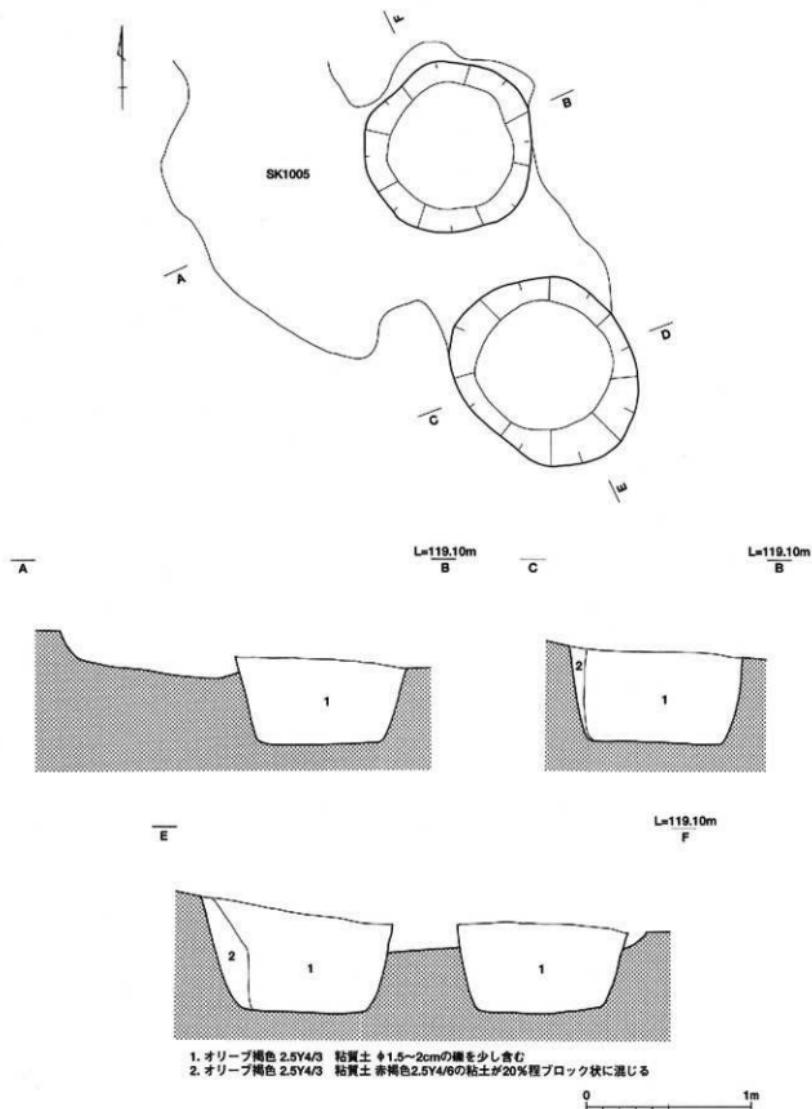
C区の北西側に位置する。検出グリッドはL・M-10グリッドである。SK1005を切る。



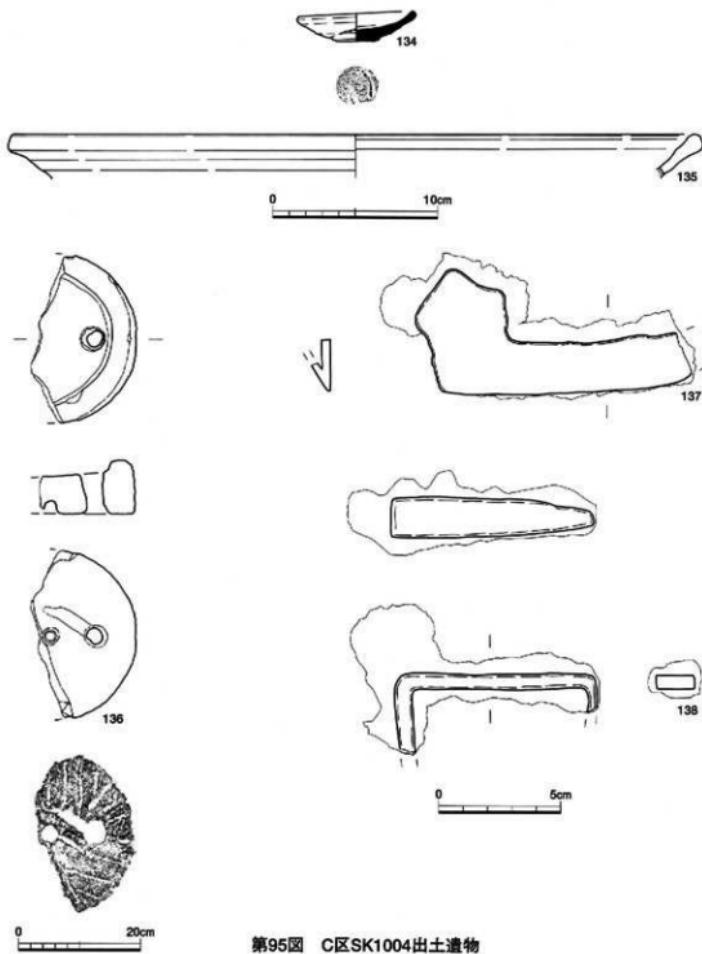
第92図 C区SK1003平・断面遺物出土状況図



第93図 C区SK1003出土土器

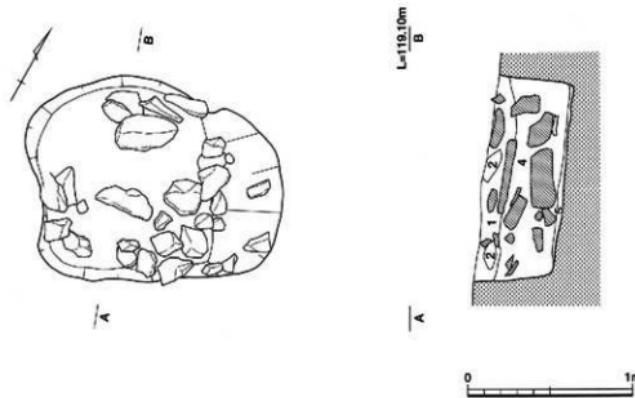
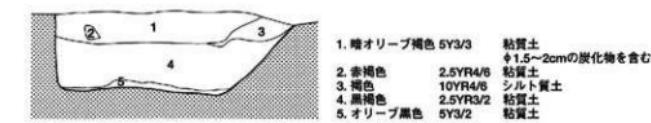
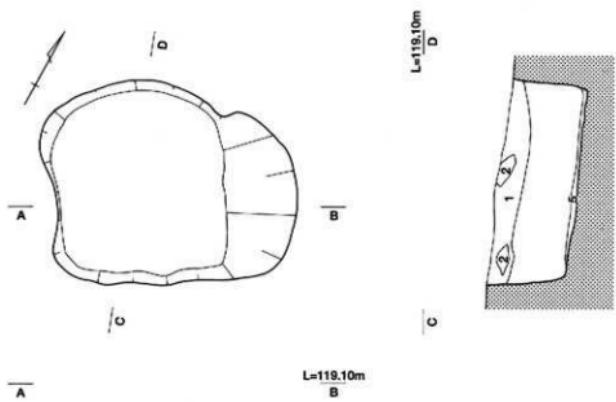


第94図 C区SK1004平・断面図

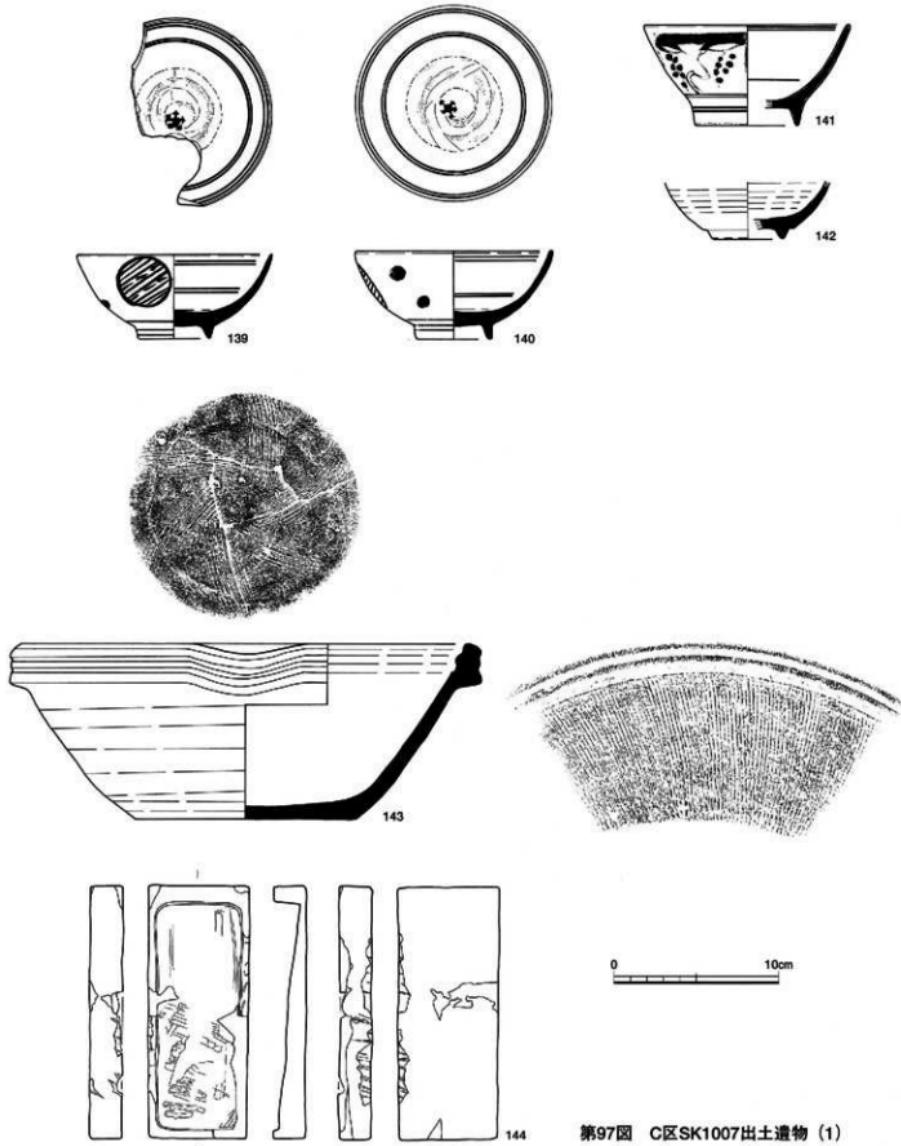


第95図 C区SK1004出土遺物

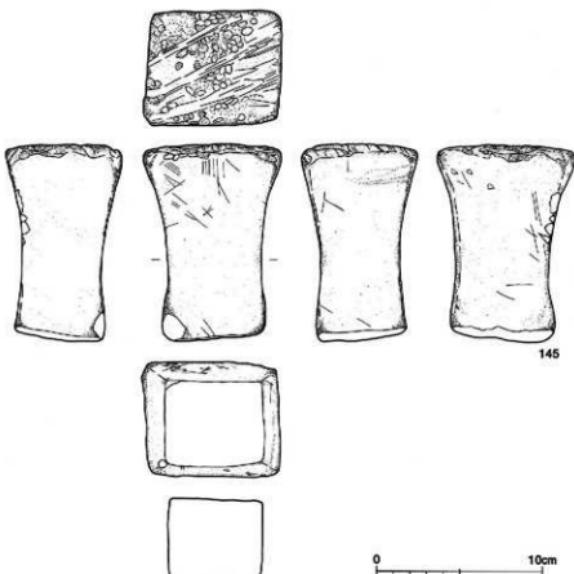
遺構は南北2基存在し、検出当初はSK1005とあわせて一つの遺構であろうと思われたが、結果的に2基の遺構であると判断した。また、SK1004が2基に分かれているが遺構埋土が両者とも同一であるため、掘り込みはもっと高いレベルから行われ、削平によりこのような形で残存したのであろうと考えたい。両者とも遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は北西側が長軸1.06m、短軸0.90m、深さ0.46mを測り、南東側が長軸1.16m、短軸0.98m、深さ0.69mを測る。



第96図 C区SK1007平・断面遺物出土状況図



第97図 C区SK1007出土遺物 (1)



第98図 C区SK1007出土石器（2）

遺構埋土は北西側が単一層であり、南東側は2層に分層することができる。第1層はオリーブ褐色を呈する粘質土であり両者に共通する。第2層はオリーブ褐色を呈する粘質土であり、南東側遺構の南西側立ち上がり部分にのみ堆積する。第1層、第2層とも色調と土質は類似するが、第2層にのみ赤褐色を呈する粘土がブロック上に混じっている。

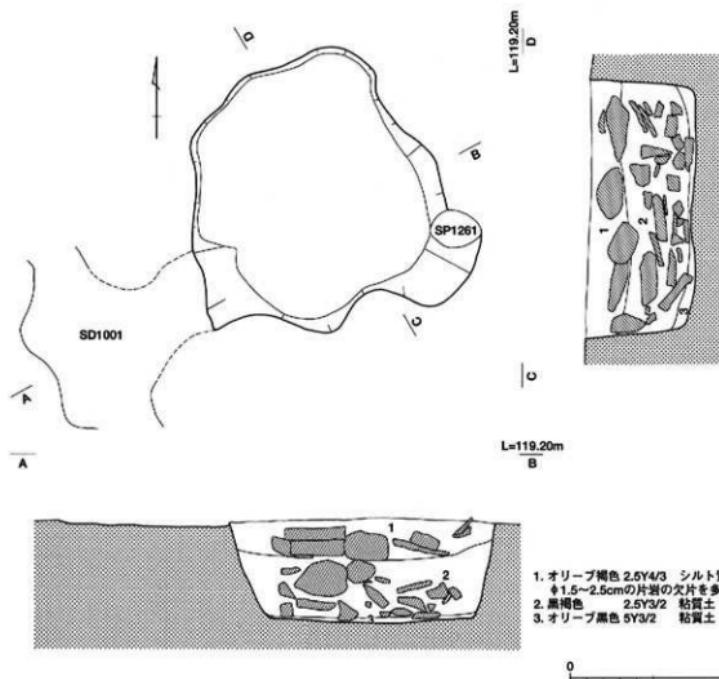
134は陶器の小皿である。135は焼拂である。136は石臼の上半部である。137は鉄製の鋸先である。138は鉄製の鎌であろうと思われる。

#### 7号土坑（SK1007）（第96～98図）

C区の北西側に位置する。検出グリッドはL-8・9グリッドである。遺構平面形状は不整隅丸方形状を呈し、遺構断面形状は遺構の東側が緩やかに立ち上がる逆台形を呈する。遺構規模は長軸1.66m、短軸1.12m、遺構深度0.62mを測る。

遺構埋土は5層に分層することができ、色調は第1層が暗オリーブ褐色、第2層が赤褐色、第3層が褐色、第4層が黒褐色、第5層がオリーブ黒色を呈し、土質は第3層にはシルト質土が堆積し、それ以外には粘質土が堆積している。また、第1層には赤褐色を呈する粘質土ブロックが含まれる。

また、第1～3層中には岩盤繰がやや多く含まれていた。この岩盤繰は大きさが約10～40cm前後とばらつきがあり、とくに積み上がられた様子もなかった。一部の板石が面を水平に保っていたり、3層上面に置かれるようにしたりして出土してはいるが、おそらく廃棄されたものと判断されることから遺



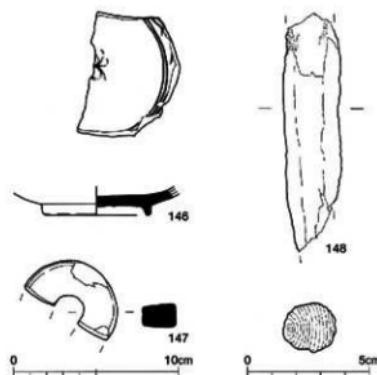
第99図 C区SK1008平・断面遺物出土状況図

構の性格は土坑として扱った。

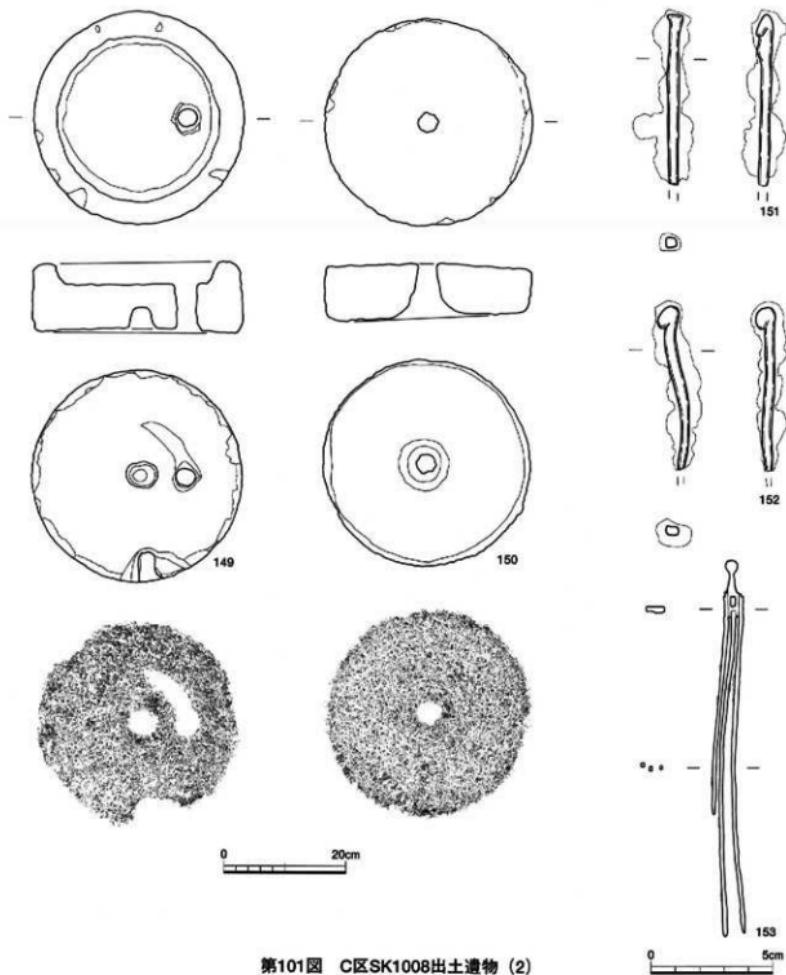
139~142は磁器の碗である。143は陶器の擂り鉢である。144は硯である。145は砂岩製の砥石である。

#### 8号土坑 (SK1008) (第99~101図)

C区の北西に位置する。検出グリッドはL-9・10グリッドである。北西-南東に主軸をもつSD1001から北東に延びる部分と切り合が前後関係は不明であり、可能性として両造構が連結して一つの機能を果たしていたということも考えられる。そうすると、当該造構が一時的に水を溜める井戸の役割をもっていたことも想定できるが確証はない。また、造構の南東側は



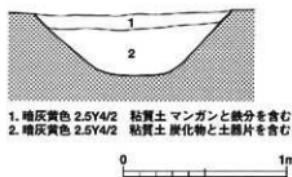
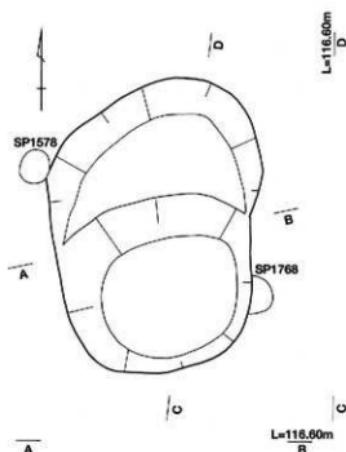
第100図 C区SK1008出土遺物 (1)



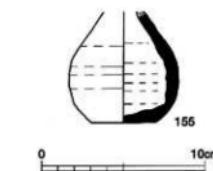
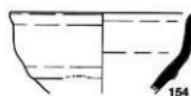
第101図 C区SK1008出土遺物 (2)

SP1261に切られる。遺構平面形状は不整形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は長軸1.94m、短軸1.46m、深さ0.68mを測る。

遺構埋土は3層に分層することができ、第1層にはオリーブ褐色を呈するシルト質土が、第2層には黒褐色を呈する粘質土が、第3層にはオリーブ黒色を呈する粘質土が堆積する。また、遺構埋土除去後多量の礫群を検出した。この礫群は一見無造作に放り込まれたようであり、規格制をもって積み上げら



第102図 D区SK1030平・断面図



第103図 D区SK1030出土土器

れたようには見受けられない。しかし、礫には10~40cm大のものを使用しており比較的小型のものが低いレベルに、大型のものが高いレベルから出土していることから、大きさの選定は行われていたようである。この礫中には結晶片岩の角礫が主体を占めているが、砂岩の川原石も若干混じり一組の石臼も他の礫と同様の扱いをされていた。

146は陶器の皿である。147は磁器である。148は付け木である。149、150は石臼である。151、152は鉄製の釘である。153は青銅製の簪である。

### 30号土坑（SK1030）（第102・103図）

D区の側に位置する。検出グリッドはO~8グリッドである。遺構の南東側でSP1768を、北西側でSP1578を切る。遺構平面形状は不整橢円形を呈し、遺構北側にテラス状の平坦部をもつ。遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は長軸182m、短軸121m、深さ0.40mを測る。

遺構埋土は2層に分層することができ、いずれも暗灰黄色を呈する粘質土が堆積し、第2層には炭化物を含んでいた。また、とくに2層北側のテラス状部分から若干浮いた位置には地山礫をやや含む。

154は天目茶碗である。155は陶器の小型壺である。



第104図 B区ST1003平・断面遺物出土状況図



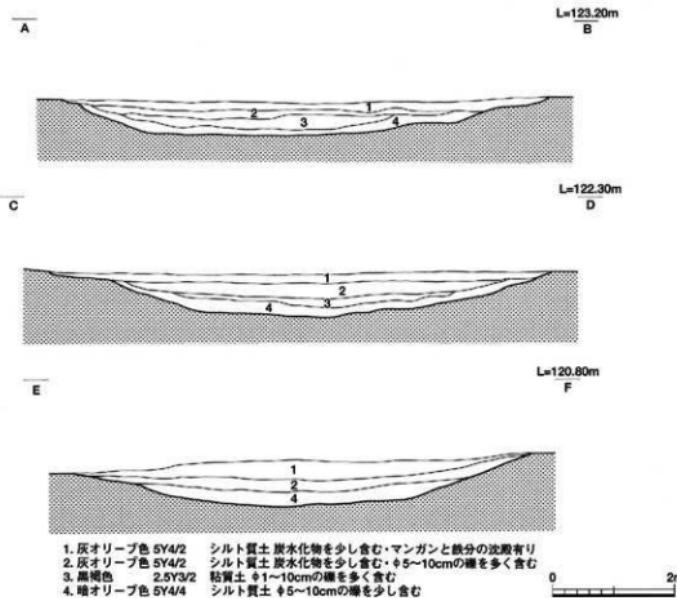
第105図 B区ST1003出土土器

### 集石墓 (ST)

#### 3号集石墓 (ST1003) (第104・105図)

B区の東側に位置する。検出グリッドはH-9グリッドである。遺構平面形状は東西に主軸をもつ梢円形を呈し、遺構断面形状は浅い船底形を呈する。遺構規模は長軸2.09m、短軸1.51m、深さ0.28mを測る。遺構埋土は褐色を呈する砂質土が堆積する單一層である。また、遺構内より結晶片岩の礫が多量に出土した。遺構南西側では長軸25cm前後の長方形板石の小口を描えるように2列の石組みが観察できたが、それ以外では10~40cm前後の礫が無造作に配されていた。

156は陶器の碗である。



第106図 A区SR1001断面図

#### 自然流路 (SR)

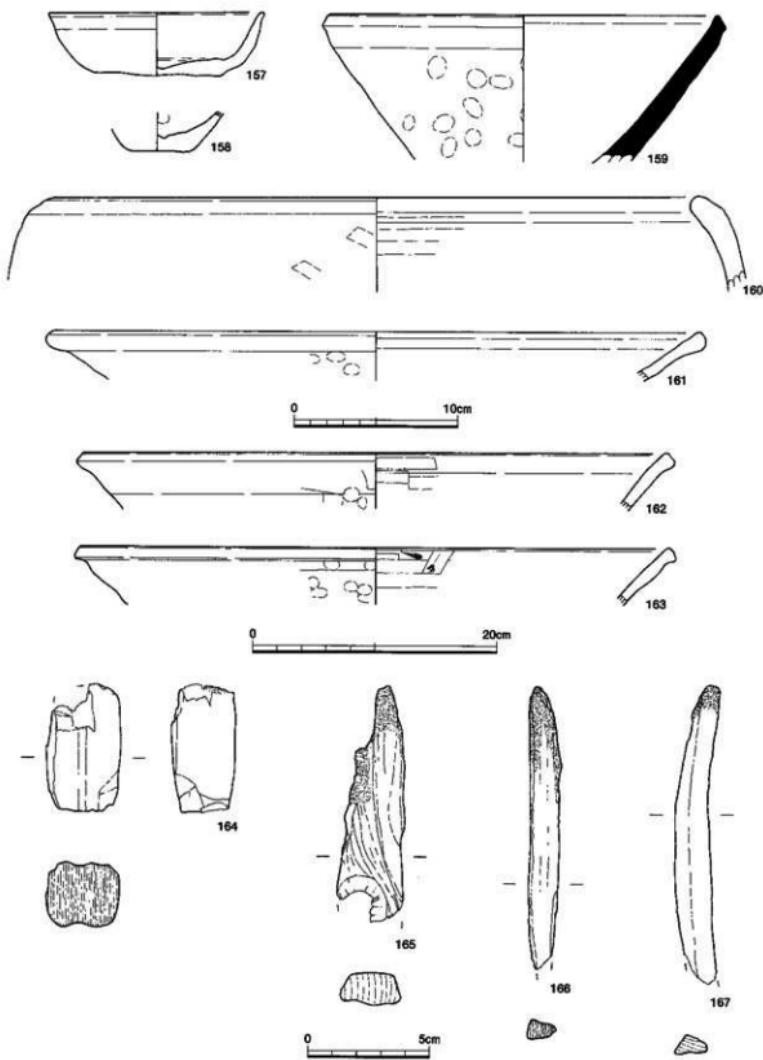
##### 1号流路 (SR1001) (第106・107図)

A区において調査区を縦断するように検出された。検出グリッドはB～H-1～5グリッドである。遺構平面形状はほぼ直線に近い溝状を呈しており、あまり蛇行しない。遺構断面形状は船底形を呈する。遺構規模は調査区内で確認できた最大幅が8.2m、深さ0.8mを測る。

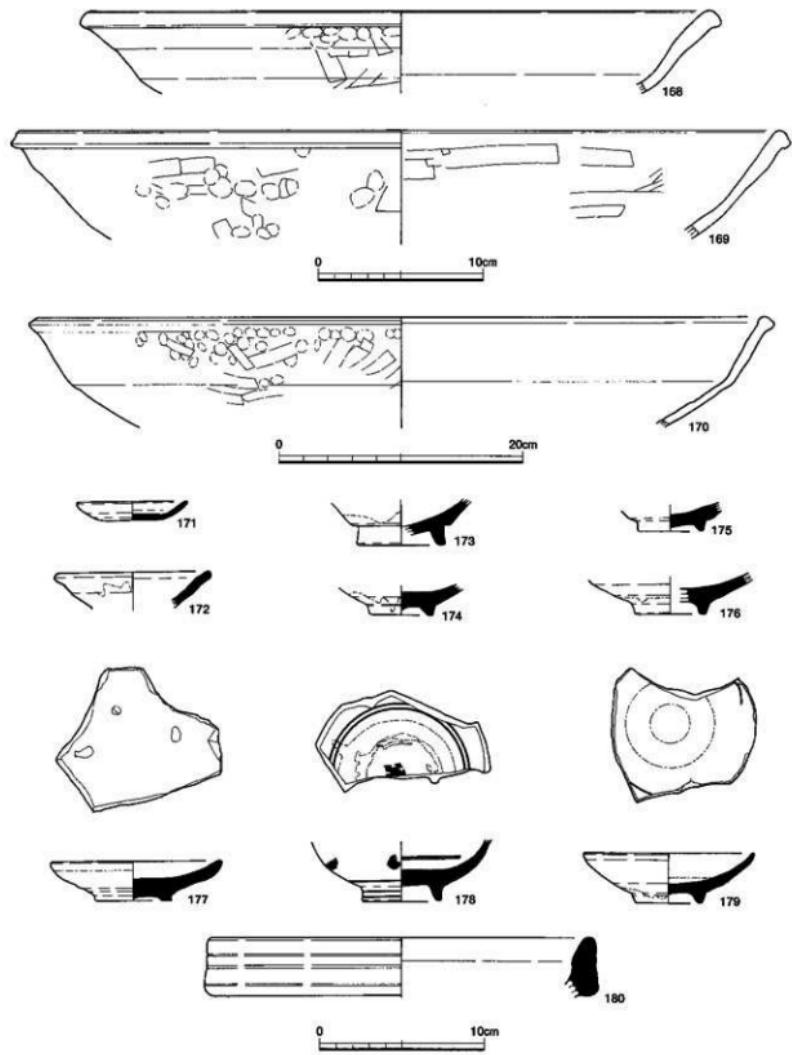
遺構埋土は4層に分層することができ、色調は第1層と第2層が灰オリーブ色、第3層が黒褐色、第4層が暗オリーブ色を呈する。土質は第3層には粘質土が堆積し、それ以外にはシルト質土が堆積していた。各層とも比較的安定して堆積しており、グライ化した層や粘土層が確認できることや流路の幅に比べて深さが比較的浅いことなどから明確な滯水状況にあったことが看取できず、わずかながら流水があるなかで埋没が長時間に及んだものと考えられる。また、遺構の底面は南から北に向けての傾斜をもっており、当然ながら流水方向も同様であったと判断できる。

157は土師器の杯である。158は土師器の壺の底部である。159は須恵器のこね鉢である。160は土師器の鍋である。161～163は焰烙である。164は不明木製品である。165～167は付け木である。

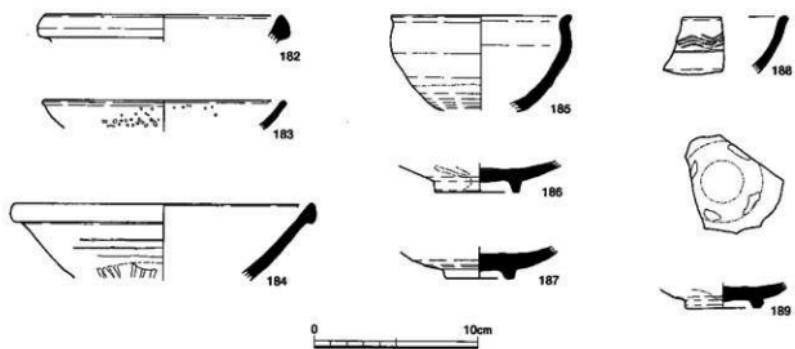
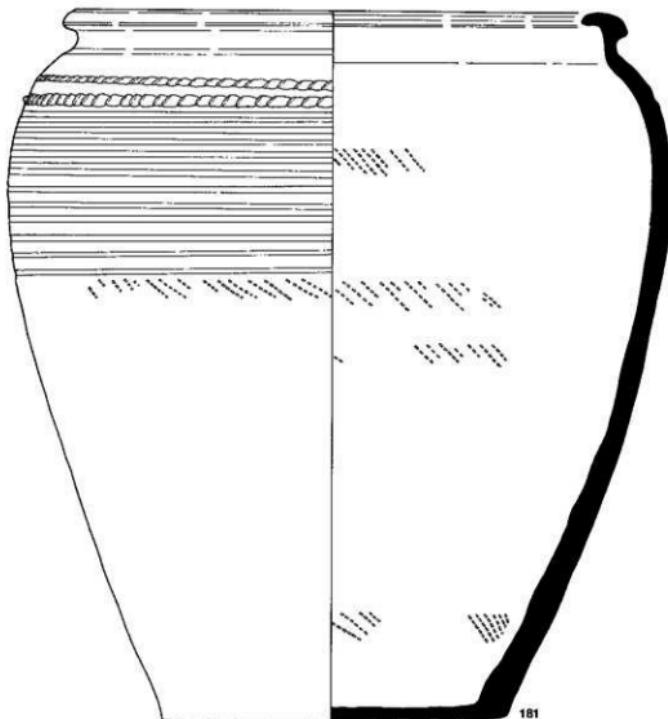
出土遺物には土師器の杯や須恵器の捏ね鉢なども見られるが、そのほとんどが焰烙や陶磁器類で占められることから、流路の埋没時期は17世紀以降であろうと思われる。



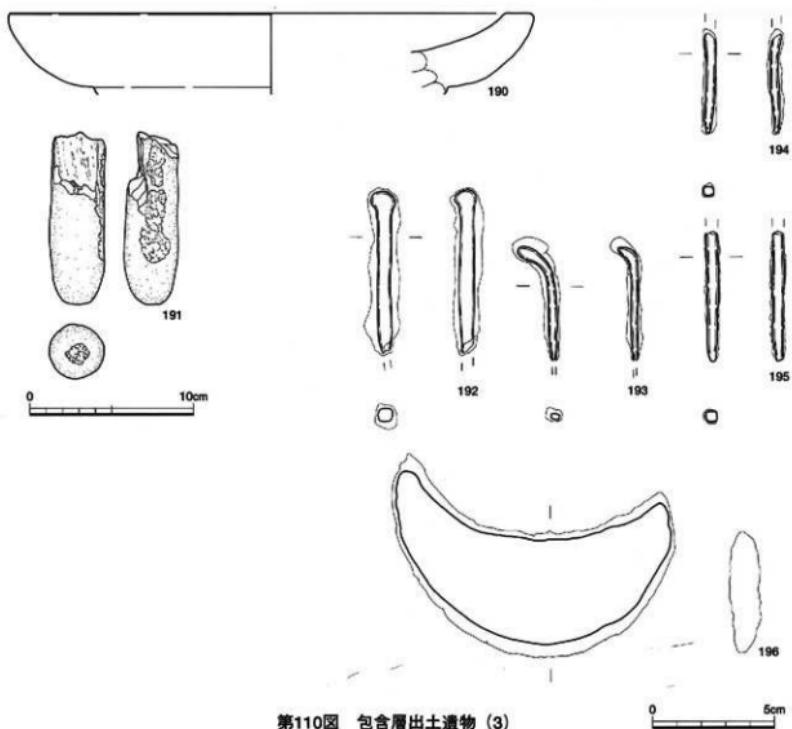
第107図 A区SR1001出土遺物



第108図 包含層出土土器 (1)



第109図 包含層出土土器 (2)



第110図 包含層出土遺物（3）

#### 包含層出土遺物（第108～110図）

包含層出土遺物は遺構密度と同様にB区、D区を中心に出土しているが、その他の調査区においても比較的まんべんなく出土しているためここでは特徴的なものを抽出していくことにする。

168～170は熔塊である。171、172、177、179は陶器の皿である。173～176、178は陶器の碗である。180は陶器の擂り鉢である。181は陶器の壺である。182～184、186～189は磁器の碗である。185は磁器の鉢である。190は石皿である。191は蔽石である。192～195は鉄製の釘である。196は鉄製の鉗である。

### 3まとめ

当該遺跡の遺跡名の元となった2基の「お塚さん」と呼び慣わされてきた積み石であるが、発掘調査によりいずれも中世段階において構築された中世墳墓であることが確認され、いわゆる古墳ではないことが明らかとなった。

ただし、1号塚においては被覆小砾除去後の状況が本来の姿をとどめておらず墓としての詳細および全体像を把握することはできなかった。そのため、遺構の構築時期を特定するまでにはいたらなかつたが、3基の小規模な埋葬施設を確認できた。この埋葬施設の構築方法は、2号・3号埋葬施設においてはとくに平坦地を選ばず地山面に土を盛り整地することで平坦面をつくりだしている。その後20~30cm大の地山砾を用い、囲むように配している点については3基とも共通している。いずれの埋葬施設も配石の下には掘り込みをもたず、この場で火葬などが行われた可能性は低いものと考えられる。

出土遺物の特徴としては、土師器の羽釜を中心とした煮沸具が主体を占めることである。煮沸具としては土師器のなべや茶釜なども見られるが圧倒的に羽釜が多く、また、杯や小皿などの比較的供献土器としての機能をもつ供善具をしのぐ出土量である。しかし、これらの土器はすべて破片の状態で出土しており、かつST1001全体からまんべんなく出土していることから埋葬施設に伴う祭祀行為を詳細に復元することは困難である。

この大量の煮沸具片を散布する石積みの埋葬施設は、当該遺跡に隣接する供養地遺跡<sup>1)</sup>においても確認されている。このことから考えると、同地域において当該期の埋葬に伴う祭祀は、基壇の列石を設けず角砾を用いた小規模な埋葬施設を設け、その上に小砾で被覆し煮沸具片を散布するということで共通した葬送形態を共有していたのであろう。

一方の2号塚においては、露呈している岩盤のわずかなくぼみを利用して構築しているという特徴が挙げられる。そこでは1基の埋葬施設が確認できた。この埋葬施設においても特徴的なものは基壇に列石を設けず小砾を用いて被覆するなど1号塚の埋葬施設と共通するものが多く、ほぼ同様の目的を持って構築されたものであろうことが考えられる。

出土遺物についてみてみるとST1001とは異なり近世以降のものがわずかにみられた程度で、中世段階に属する遺物は出土していない。この点については、塚の構築状況などからST1001と大きな時期差はないと考えられるが、遺物の内容からST1001と同様の埋葬に伴う祭祀行為が行われたということまでは断定できない。しかし、近世以降現代に至るまで地域の祭祀対象として祀られていたことは確かである。

以上、主に2基の中世墳墓について大まかにふれてきた。吉野川上流域の当該地域においては、近年中世墓に関する調査が相次ぎ類例資料の蓄積がなされつつある状況である。しかし、これらにより当時の墓制を全て復元できるほどには至っておらずまだ検討の余地が残る。今後に期待したい。

#### 註

1) 本報告書所収

第1表 横塙古墳検出遺構一覧表 堀立柱建物跡

遺構番号	調査区	位置	平面形態	構造 (間)	遺構規模(cm)				面積 (m <sup>2</sup> )	主軸方位	付属施設	出土遺物
					長軸	柱間寸法	短軸	柱間寸法				
SA1001	B区	E-P-5-6	側柱式	1×2	205	205.0	385	192.5	7.89	N-33° -W	-	
SA1002	C区	L-M-14	側柱式	1×2	190	190.0	410	205.0	7.79	N-2° -W	-	
SA1003	D区	N-O-10-11	側柱式	2×2	230	115.0	335	167.5	7.71	N-2° -E	-	土師器羽釜2、土師器楕1、須恵器甕1
SA1004		P-S-9	側柱式	2×3	325	162.5	620	206.7	20.15	N-88° -W	-	瓦器楕1
SA1005		O-P-7	側柱式	1×2	140	140.0	390	195.0	5.46	N-90° -E	-	土師器杯1
SA1006		T-U-15	側柱式	1×2	110	110.0	290	145.0	3.19	N-2° -E	-	
SA1007	E区	R-S-13-14	側柱式	2×2	290	145.0	442	221.0	12.82	N-2° -W	-	
SA1008		R-S-15-16	側柱式	1×2	170	170.0	345	172.5	5.87	N-79° -W	-	土師器楕1
SG1001	B区	I-K-5-8	-	8間	-	-	1500	187.5	-	-	-	

第2表 桜塚古墳遺構一覧表 SK

遺構番号	調査区	位置 (グリッド)	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物	備考
			長軸	短軸	深さ				
SK1001	B	E-F-6	-	-	11	円形	逆台形		
SK1002	B	G-6	97	14	17	不整形	逆台形		
SK1003	C	M-10	238	52	22	不整長方形	逆台形	土師培焼3、磁器碗2	
SK1004北	C	L-M-10	106	90	46	円形	逆台形	鉄、衛先1、鏡1	
SK1004南	C	L-M-10	116	(98)	69	円形	逆台形	陶器壺1、岩石1、石臼1、土師器培焼1	SK1005に切られる
SK1005	C	L-M-9-10	490	81	32	不整形	不整逆台形	鉄釘1	SK1004に切られる
SK1006	C	L-M-9	104	76	42	不整円形	船底形		
SK1007	C	L-S-9	166	112	62	不整扁丸方形	逆台形	磁器碗3、白磁碗1、陶器すり鉢1、砂岩と 石、紫岩石1、すりけ1	
SK1008	C	I-9	194	146	68	不整形	逆台形	白磁碗1、陶器壺1、鉄釘1、青銅かんざ し1、石臼2、つけ木1	SP1261に切られる
SK1009	C	L-M-8	368	46	67	不整形	不整逆台形		
SK1010	D	O-11	47	39	22	不整長方形	逆台形		
SK1011	D	P-10-11	264	31	12	不整形	逆台形	土師器脚1	SP149-1730を切り、SP130 に切られる
SK1012	D	O-9-10	(67)	60	(14)	不整円形	逆台形	須恵器壺1	SP1751を切り、SP1306-1733 に切られる
SK1013	D	O-9	42	34	8	椭円形	逆台形		
SK1014	D	O-9	56	48	16	椭円形	逆台形		SP1746に切られ、 SK1015を切り
SK1015	D	O-8-9	(118)	66	(12)	不整長方形	逆台形	土師器杯1	SP1419-SP1420-SP1746- 1747-SK1014に切られる
SK1016	D	N-8	76	48	10	椭円形	船底形		
SK1017	D	N-8	58	40	7	円形	船底形		
SK1018	D	O-8	118	(50)	16	椭円形?	船底形		
SK1019	D	O-8	56	30	37	円形?	不整逆台形		
SK1020	D	N-O-8	64	51	-	椭円形			
SK1021	D	N-O-7-8	395	120	38	不整長方形	不整逆台形 不整船底形	土師器杯2、土師器羽釜1、土師器釜1、 土師器鍋1	SP1756に切られる
SK1022	D	P-11	128	32	13	不整長方形	逆台形	土師器すり鉢2	SP1465-1769に切られ、 SP1760-1761-1762を切り
SK1023	D	P-10	78	42	13	長方形	逆台形		SP1474に切られる
SK1024	D	P-9	84	60	-	方形	逆台形		
SK1025	D	P-9	66	50	14	円形	逆台形		
SK1026	D	P-9	70	68	11	不整円形	逆台形		
SK1027	D	P-S-9	60	33	8	長方形	船底形		
SK1028	D	P-Q-8	84	62	19	方形	逆台形		
SK1029	D	P-8	94	50	13	不整長方形	逆台形		
SK1030	D	O-8	182	121	40	不整楕円形	逆台形	陶器壺1、磁器天目茶碗1	SP1578-1768を切り
SK1031	D	P-8	66	(29)	13	不整形	船底形		
SK1032	D	P-7	90	35	19	不整形	不整逆台形		
SK1033	D	P-7	74	56	14	不整形	逆台形		
SK1034	D	P-7	68	34	13	不整形	船底形		
SK1035	D	O-P-7	48	36	42	不整円形	不整逆台形		
SK1036	D	O-6	50	40	14	円形	不整船底形		
SK1037	D	P-6	62	44	15	円形	船底形		
SK1038	D	P-6	44	40	27	不整円形	不整船底形		
SK1039	D	P-6	(60)	44	15	椭円形	船底形		
SK1040	D	P-6	42	36	45	円形	逆台形		SA1005
SK1041	D	O-5-6	(45)	42	48	円形	不整逆台形		SP1660を切り
SK1042	D	O-6	56	45	10	円形	船底形		
SK1043	D	P-6	39	30	37	円形	船底形		SP1642-SX1002を 切り
SK1044	D	P-9	(42)	36	48	円形	逆台形	土師器壺?1	SP1496に切られる
SK1045	E	P-17	100	30	18	不整形	逆台形		

第3表 お塚古墳遺構一覧表 SU

遺構番号	調査区	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物	備考
		長軸	短軸	深さ				
SU1001	E	O-P 14~18	1345	275	-	溝状	-	
SU1002	E	N-O 18~20	1284	235	98	溝状	船底形?	
SU1003		不明						
SU1004	F	Y-20-21	414	176	52	不整圓九方形	不整船底形	
SU1005	F	Y-20-21	414	176	52	不整圓九方形	不整船底形	
SU1006	D	O-8-9	238	156	40	橢円形	不整船底形	土師器羽釜2
SU1007	D	O-8	126	54	27	橢円形	不整船底形	

第4表 お塚古墳遺構一覧表 ST

遺構番号	調査区	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物	備考
		長軸	短軸	深さ				
ST1001	E	O-Q 13~15	980	710	-	不整圓形	-	上部器明灯皿1、土師器小皿6、土師器 碗7、土師器杯1、土師器茶釜2、土師器 羽釜3、須恵器盤2、須恵器鏡1、陶器碗 2、陶器皿1、陶器盤1、陶器すり鉢3、青 磁碗2、磁器碗1、瓦質爐1、石製品? 1、銅錢1
ST1002	F	V-W 21~23	835	675	-	橢円形	-	下部器小皿2、磁器碗1、土師器瓦1、青 磁? 磁器碗1
ST1003	B	H-9	209	151	28	橢円形	船底形	南器鏡1
ST1004	B	H-8	61	34	7	橢円形	-	
ST1005	B	E-5	100	84	22	円形	南器鏡1	

第5表 お塚古墳遺構一覧表 SD

遺構番号	調査区	位置 (グリット)	規模(cm)			深さ	出土遺物	備考
			長さ	幅	深さ			
SD1001	C	K-L-8-9	850	-	4		SP1307-1310に切られる	
SD1002	D	O-P-11	180	15	7			
SD1003	D	O-9	144	20	6		SP1770に切られる	
SD1004	D	P-6	(62)	14	6			
SD1005	D	P-6	100	16	10			
SD1006	D	P-6	122	18	9			

第6表 お塚古墳遺構一覧表 SR

遺構番号	調査区	位置 (グリット)	規模(cm)			深さ	平面形	断面形	出土遺物	備考
			長軸	短軸	深さ					
SR1001	A	B-H I-5	3050	690	88		溝状	船底形	土師器杯1、上部器蓋1、土師器碗1、十 字柄器縫3、須恵器こね鉢1、つけ木2、 不明2	

第7表 お塚古墳遺構一覧表 SX

遺構番号	調査区	位置 (グリット)	規模(cm)			深さ	平面形	断面形	出土遺物	備考
			長軸	短軸	深さ					
SX1001	D	P-8	180	50	10		不整形	船底形		
SX1002	D	O-P-5-6 (490)	30	17			溝状	逆台形	土師器杯3、上部器蓋1、土師器碗1、須恵器 碗2	SK1043-SP1647- SP1645に切られる
SX1003	E	T-U-14- 15	180	62	18		橢円形	逆台形		

第8表 お塚古墳遺構一覧表 SP

遺構番号	調査区	位置 (クリット)	規模(cm) 長軸 深さ	出土遺物	備考
SP1001	B	H-9	- 22		
SP1002	B	H-9	- 19		
SP1003	B	H-9	- 12		
SP1004	B	I-9	- 14		
SP1005	B	G-9	- 39		
SP1006	B	H-8	- 8		
SP1007	B	I-9	- 10		
SP1008	B	I-9	- 10		
SP1009	B	I-8-9	- 6		
SP1010	B	I-8	- 9		
SP1011	B	I-8	- 16		
SP1012	B	G-8	- 24		
SP1013	B	G-8	- 18		
SP1014	B	G-8	- 11		
SP1015	B	G-8	- 7		
SP1016	B	G-8	- 43		
SP1017	B	G-8	- 24		
SP1018	B	G-8	- 21		
SP1019	B	G-8	- 14		
SP1020	B	G-8	- 32		
SP1021	B	G-8	- 28		
SP1022	B	G-8	- 27		SP1023に切られる
SP1023	B	G-8	- 29		SP1022を切る
SP1024	B	G-8	- 47		
SP1025	B	G-8	- 18		
SP1026	B	G-8	- 26		
SP1027	B	G-7	- 26		
SP1028	B	G-8	- 40		
SP1029	B	G-7-8	- 40		
SP1030	B	G-7	- 33		
SP1031	B	G-7	- 35		
SP1032	B	G-7	- 24		
SP1033	B	G-7	- 14		
SP1034	B	G-7	- 21		
SP1035	B	H-8	- 19		
SP1036	B	H-8	- 14		
SP1037	B	H-8	- 57		SP1038を切る
SP1038	B	H-8	- 27		SP1037に切られる
SP1039	B	H-8	- 46		
SP1040	B	I-8	- 11		
SP1041	B	H-7	30 24 銛釘1		
SP1042	B	H-7	- 40		SP1043を切る
SP1043	B	H-7	(17)		SP1042に切られる
SP1044	B	C-H-7	- 12		
SP1045	B	G-7	- 10		
SP1046	B	H-7	- 35		
SP1047	B	H-7	- 22		
SP1048	B	G-7	- 18		
SP1049	B	G-7	- 13		
SP1050	B	G-7	- (29)		SP1051に切られる
SP1051	B	G-7	- 36		SP1050を切る
SP1052	B	G-7	- 46		
SP1053	B	F-7	- 31		
SP1054	B	H-7	- 28		
SP1055	B	H-6	- 18		
SP1056	B	H-6	- 7		
SP1057	B	H-6	- 13		

遺構番号	調査区	位置 (クリット)	規模(cm) 長軸 深さ	出土遺物	備考
SP1058	B	F-7	- 51		
SP1059	B	欠番	- 43		
SP1060	B	G-7	- 29		SP1061を切る
SP1061	B	G-7	- 29		SP1060に切られる
SP1062	B	G-6-7	- 46		
SP1063	B	G-7	- 17		
SP1064	B	G-6	- 13		
SP1065	B	F-6	- 17		
SP1066	B	I-G-6	- 12		
SP1067	B	F-G-6	- 17		
SP1068	B	G-6	- 40		
SP1069	B	F-6	- 25		
SP1070	B	F-6	- 35		
SP1071	B	F-6	- 44		
SP1072	B	F-6	- 25		
SP1073	B	F-6	- 36		
SP1074	B	F-6	- 22		
SP1075	B	F-6	- 10		
SP1076	B	F-6	- 28		
SP1077	B	F-6	- 42		
SP1078	B	F-6	- 37		
SP1079	B	F-6	- 35		
SP1080	B	F-6	- 22		
SP1081	B	F-6	- 43		
SP1082	B	F-5	- 10		
SP1083	B	F-5	- 18		
SP1084	B	F-5	- 24		
SP1085	B	F-5	- 28		
SP1086	B	F-5	- 21		
SP1087	B	F-5	- 31		
SP1088	B	F-5	- 55		
SP1089	B	F-5	- 31		
SP1090	B	F-5	- 29		SP1091を切る
SP1091	B	F-5	- (8)		SP1090に切られる
SP1092	B	F-5	- 22		
SP1093	B	E-5	- -		
SP1094	B	E-5	29		SA1001
SP1095	B	E-F-5	- 18		
SP1096	B	F-5	30		SA1001
SP1097	B	E-5	- 52		
SP1098	B	E-5	- 46		
SP1099	B	E-5	32		SA1001
SP1100	B	E-5	- 31		
SP1101	B	F-5	- 13		
SP1102	B	E-5	40		SA1001
SP1103	B	E-5	- 13		
SP1104	B	E-4	- 6		
SP1105	B	E-4	- 7		
SP1106	B	G-6	- 8		
SP1107	B	G-6	- 15		
SP1108	B	G-6	- 18		
SP1109	B	G-6	- 28		
SP1110	B	G-6	- 5		
SP1111	B	G-6	- 5		
SP1112	B	G-5-6	- 14		
SP1113	B	G-5	- 29		
SP1114	B	G-5	- 8		

遺構番号	調査区	位置 (クリット)	規模(cm) 長軸 深さ	出土遺物	備考
SP1115	B	G-5	- 11		
SP1116	B	G-5	- 8		
SP1117	B	G-5	- 8		
SP1118	B	G-5	- 9		
SP1119	B	F-5	29 22	SA1001	
SP1120	B	F-5	- 15		
SP1121	B	F-5	- 12		
SP1122	B	F-4	- 6		
SP1123	B	F-4	- 16		
SP1124	B	F-4	25 26	SA1001	
SP1125	B	F-4	- 15		
SP1126	B	F-4	- 10		
SP1127	B	F-4	- 14		
SP1128	B	G-4	- 14		
SP1129	B	G-4	- 31		
SP1130	欠番		- -		
SP1131			- 36		
SP1132	B	F-5	- 16		
SP1133	B	H-5	- 8		
SP1134	B	F-5	- 13		
SP1135	B	E-6	- 45		
SP1136	B	J-K-8	- 12		
SP1137	B	K-8	- 32	SP1138に切られる	
SP1138	B	K-8	- 34	SP1137を切る	
SP1139	B	K-8	- 32		
SP1140	B	K-8	- 27		
SP1141	B	K-8	- 16		
SP1142	B	K-8	- 25		
SP1143	B	K-8	- 20		
SP1144	B	K-8	- 21		
SP1145	B	K-8	- 18		
SP1146	B	K-8	26 22		
SP1147	B	K-8	24 19		
SP1148	B	K-8	20 23		
SP1149	B	K-8	31 16		
SP1150	B	K-8	- 11		
SP1151	B	K-8	- 27		
SP1152	B	K-8	- 14		
SP1153	B	K-7-8	- 29		
SP1154	B	J-8	- 5		
SP1155	B	J-8	- 6		
SP1156	B	J-8	- 29		
SP1157	B	K-8	- 11		
SP1158	B	K-8	- 21		
SP1159	B	K-8	24 21		
SP1160	B	J-8	- 24		
SP1161	B	J-K-8 (30) 19		SP1162-1163に切られる	
SP1162	B	J-8	16 16	SP1161を切る	
SP1163	B	J-K-8	25 11	SP1161を切る	
SP1164	B	J-8	- 17		
SP1165	B	K-8	36 22		
SP1166	B	K-8	24 25		
SP1167	B	K-8	- 13		
SP1168	B	K-7-8	36 22		
SP1169	B	K-7	33 7	SP1166に切られる?	
SP1170	B	K-7	- 6	SP1166に切られる?	
SP1171	B	J-8	- 15		
SP1172	B	J-8	- 6		

遺構番号	調査区	位置 (クリット)	規模(cm) 長軸 深さ	出土遺物	備考
SP1173	B	J-8	- 12		
SP1174	B	J-8	- 12		
SP1175	B	J-8	- 16		
SP1176	B	J-8	- 7		
SP1177	B	J-7-8	- 18		
SP1178	B	J-7	- 22		
SP1179	B	J-7-8	- 7		
SP1180	B	J-7	- 34		
SP1181	B	J-7	- 7		
SP1182	B	J-7	- 26		
SP1183	B	J-7	- 10		
SP1184	B	J-7	- 11		
SP1185	B	J-7	- 5		
SP1186	B	J-7	- 14		
SP1187	B	J-7	- 10		
SP1188	B	J-K-7	- 24		
SP1189	B	K-7	- 27		
SP1190	B	K-7	- 12		
SP1191	B	K-7	- 26		
SP1192	B	K-7	28 4		
SP1193	B	K-7 (21)	14		
SP1194	B	K-7	- 11		
SP1195	B	K-7	- 11		
SP1196	B	J-K-7	- 5		
SP1197	B	K-7	- 6		
SP1198	B	K-7	- 10		
SP1199	B	K-7	- 10		
SP1200	B	K-7	- 19		
SP1201	B	K-7	- 10		
SP1202	B	K-7	- 9		
SP1203	B	K-7	- 7		
SP1204	B	J-8	- 5		
SP1205	B	J-7	- 17		
SP1206	B	J-7	- 49		
SP1207	B	J-7	- 8		
SP1208	B	J-7	- 44		
SP1209	B	J-7	- 30		
SP1210	B	J-7	- 31		
SP1211	B	K-7	- 8		
SP1212	B	K-7	57 20	SG1001, SP1213に切られる	
SP1213	B	K-7	- 16	SP1212を切る	
SP1214	B	K-7	- 6		
SP1215	B	J-7	- 7	SP1216に切られる	
SP1216	B	J-7	- 10	SP1215を切る	
SP1217	B	J-7	- 7		
SP1218	B	J-6	39 31	SG1001	
SP1219	B	K-6	- 18		
SP1220	B	K-6	- 8		
SP1221	B	J-7	- 53		
SP1222	B	J-6	- 20		
SP1223	B	J-6	- 19		
SP1224	B	J-6	36 28	SG1001	
SP1225	B	J-6	- 5		
SP1226	B	J-6	- 18		
SP1227	B	J-6	- 37		
SP1228	B	J-6	33 29	SG1001	
SP1229	B	J-6	- 28		
SP1230	B	J-6	- 9		

遺構番号	調査区	位置 (グリッド)	規模(cm) 長軸 深さ	出土遺物	備考	遺構番号	調査区	位置 (グリッド)	規模(cm) 長軸 深さ	出土遺物	備考
SP1231	B	J-6	- 6			SP1288	C	L-12	30 42		
SP1232	B	J-6	33 34	SG1001		SP1289	C	L-12	28	13	
SP1233	B	J-5	30 - 35	SG1001		SP1290	C	L-12	21	34	
SP1234	B	J-5	- 22			SP1291	C	M-11	21	11	
SP1235	B	I-5	- 23			SP1292	C	M-12	27	6	
SP1236	B	I-J-5	- 6			SP1293	C	M-12	23	10	
SP1237	B	I-J-5	30 39	SG1001		SP1294	C	M-12	30	22	
SP1238	B	I-5	32 25	SG1001, SP1239を切る		SP1295	C	M-12	34	17	
SP1239	B	I-5	- (21)	SP1238に切られる		SP1296	C	M-12	16	8	
SP1240	B	I-5	- 38			SP1297	C	M-12	27	18	
SP1241	B	I-4	- 26			SP1298	C	M-13	36	21	SA1002
SP1242	B	I-4	- 26			SP1299	C	M-13	23	(13)	SP1303に切られる
SP1243	B	I-4	30 19	SG1001		SP1300	C	M-13	31	15	SA1002
SP1244	B	I-4	- 34			SP1301	C	M-13	44	12	
SP1245	B	H-4	- 32			SP1302	C	M-13	39	16	
SP1246	B	H-3	- 11			SP1303	C	M-13	32	28	SP1299を切る
SP1247	B	I-6	- 26			SP1304	C	K-15	20	12	
SP1248	C	M-10	26 30			SP1305	C	K-15	25	12	
SP1249	C	M-10	32 12			SP1306	D	P-11	22	27	上断面小量1
SP1250	C	L-10	34 9			SP1307	D	O-P-11	21	32	SD1002を切る
SP1251	C	L-10	38 29			SP1308	D	O-P-11	22	20	
SP1252	C	L-11	37 9			SP1309	D	O-11	20	7	
SP1253	C	L-10-11	24 10			SP1310	D	O-11	(19)	26	SD1002-SP1311を切る
SP1254	C	L-10	31 11			SP1311	D	O-11	(30)	(9)	SP1310に切られる
SP1255	C	L-10	26 18			SP1312	D	O-11	27	46	
SP1256	C	L-10	26 22			SP1313	D	O-11	21	15	
SP1257	C	L-10	28 9			SP1314	D	O-11	27	46	
SP1258	C	L-10	31 7			SP1315	D	O-10-11	16	19	
SP1259	C	L-10	30 24			SP1316	D	O-10	28	34	SP1317に切られる
SP1260	C	I-9	29 43			SP1317	D	O-10	22	34	SP1316を切る
SP1261	C	I-9	31 45	SK1008を切る		SP1318	D	O-10	26	38	
SP1262	C	I-9	28 52			SP1319	D	O-10	30	19	
SP1263	C	J-12	28 11			SP1320	D	O-P-10	20	11	SK1011を切る
SP1264	C	J-12	(30) 4	SP1265に切られる		SP1321	D	P-10	32	30	
SP1265	C	J-12	35 12	SP1264を切る		SP1322	D	O-10	26	44	
SP1266	C	J-12	30 11			SP1323	D	O-10	31	23	
SP1267	C	M-14	30 17			SP1324	D	O-10	32	20	
SP1268	C	M-14	21 17			SP1325	D	O-10	21	18	上断面小量1, 上断面 枝1
SP1269	C	L-14	16 6			SP1326	D	O-10	24	34	傾斜面尚?1
SP1270	C	L-14	31 19			SP1327	D	O-11	23	18	
SP1271	C	M-14	33 24			SP1328	D	O-11	24	19	
SP1272	C	L-13	17 27			SP1329	D	O-10	32	41	鍵器具杯1
SP1273	C	L-13	22 7			SP1330	D	O-10	17	23	
SP1274	C	L-13	16 9			SP1331	D	O-10	21	32	
SP1275	C	L-13	34 26			SP1332	D	O-10	33	14	SP1333を切る
SP1276	C	L-13	20 29			SP1333	D	O-10	24	(9)	SP1332に切られる
SP1277	C	L-13	61 26			SP1334	D	O-10	38	31	
SP1278	C	L-13	32 10	SA1002		SP1335	D	O-10	28	16	
SP1279	C	L-13	22 7	SA1002		SP1336	D	O-10	20	14	
SP1280	C	M-13	23 18			SP1337	D	O-10	36	52	
SP1281	C	L-13	32 20			SP1338	D	O-10	26	23	
SP1282	C	L-13	29 33			SP1339	D	O-10	18	28	
SP1283	C	I-13	37 18			SP1340	D	O-10	29	12	
SP1284	C	M-13	30 24	SA1002		SP1341	D	O-11	25	44	
SP1285	C	I-12	20 (16)	SP1286に切られる		SP1342	D	O-10-11	28	42	
SP1286	C	I-12	25 40	SP1285を切る		SP1343	D	N-10	22	7	
SP1287	C	I-12	30 29			SP1344	D	N-10	30	46	

遺構番号	調査区	規模(cm) 長軸 深さ	出土遺物	備考	遺構番号	調査区	規模(cm) 長軸 深さ	出土遺物	備考
SP1345	D N-10	33 42			SP1403	D O-9	21 26		
SP1346	D O-10	21 5			SP1404	D O-9	36 28		
SP1347	D O-10 (24)	7		SP1783に切られる	SP1405	D O-9	25 17		
SP1348	D O-10	40 6			SP1406	D O-9	43 15		SP1407を切る
SP1349	D O-10	21 5			SP1407	D O-9	16 22		SP1406に切られる
SP1350	D O-10	16 10			SP1408	D O-9	31 31		土師器杯1
SP1351	D O-10	44 50	SA1003		SP1409	D O-9	35 20		
SP1352	D O-9-10	33 47			SP1410	D O-9	22 11		
SP1353	D O-10	36 46			SP1411	D O-9	30 20		
SP1354	D O-10	21 28			SP1412	D O-9	31 10		
SP1355	D O-10	22 27			SP1413	D O-9	17 12		
SP1356	D O-10	28 40			SP1414	D O-8-9	22 17		
SP1357	D O-10	33 46			SP1415	D O-8	38 39		SP1416を切る
SP1358	D O-10	28 50			SP1416	D O-8	32 18		SP1415に切られる
SP1359	D O-10	23 44			SP1417	D O-8	27 29		
SP1360	D O-10	28 47			SP1418	D O-8-9	21 12		
SP1361	D O-10	32 34			SP1419	D O-9 (29)	13		SK1015を切る
SP1362	D O-10	27 13			SP1420	D O-8-9	27 32		SK1015を切る
SP1363	D P-10	14 13			SP1421	D N-9	32 30		
SP1364	D P-10	27 32			SP1422	D N-9	31 46		
SP1365	D P-10	36 22			SP1423	D N-9	32 39		
SP1366	D O-9	36 42			SP1424	D N-9	28 12		
SP1367	D O-9	40 27			SP1425	D N-9	28 12		SP1426を切る
SP1368	D O-9	23 22			SP1426	D N-9 (24)	26		SP1425に切られる
SP1369	D O-10	21 18			SP1427	D N-8	26 26		
SP1370	D O-9-10	20 21			SP1428	D N-8	29 18		SP1429を切る
SP1371	D O-9-10 (16) (8)				SP1429	D N-8	22 (13)		SP1428に切られる
SP1372	D O-9	17 8			SP1430	D N-8	34 26		
SP1373	D O-9	26 28			SP1431	D N-8	30 40		
SP1374	D O-9	32 24	土師器碗1	SA1003	SP1432	D N-8	26 8		
SP1375	D O-9	20 16			SP1433	D N-8	22 32		
SP1376	D O-9	24 8			SP1434	D N-8	22 8		
SP1377	D O-9	28 46			SP1435	D N-8	18 34		
SP1378	D O-9	22 31			SP1436	D N-8	44 59		
SP1379	D O-9	27 43			SP1437	D N-8	26 26		
SP1380	D N-9	31 34			SP1438	D N-8	47 40		
SP1381	D N-9	36 39	SA1003		SP1439	D N-8	- -		
SP1382	D N-9	25 18			SP1440	D N-8	- -		
SP1383	D N-10	28 23	土師器碗1	SA1003	SP1441	D N-O-8	16 26		
SP1384	D N-9	28 38	土師器碗1	SA1003	SP1442	D N-O-8	32 32		
SP1385	D N-9	26 12			SP1443	D O-8	30 40		
SP1386	D N-9	25 9			SP1444	D O-8	20 10		
SP1387	D N-9	32 22			SP1445	D O-8	28 17		
SP1388	D N-9	29 34			SP1446	D O-8	22 12		
SP1389	D N-9	26 19			SP1447	D N-O-8	34 38		
SP1390	D N-9	24 21			SP1448	D N-8	19 9		
SP1391	D N-9	22 10			SP1449	D O-8	29 7		
SP1392	D O-9	26 10			SP1450	D O-8	29 17		
SP1393	D O-9	27 43	土師器碗1	SA1003	SP1451	D O-8	38 59		
SP1394	D O-9	32 34			SP1452	D O-8	24 28		
SP1395	D O-9	24 3			SP1453	D O-8	19 20		
SP1396	D O-9	27 12			SP1454	D P-11	32 32		
SP1397	D O-9	26 23			SP1455	D P-11	32 23	+土師器	SP1456を切る
SP1398	D O-9	29 16			SP1456	D P-11	32 41		SP1455に切られる
SP1399	D O-9	32 45			SP1457	D P-11	38 13		
SP1400	D O-9	18 27			SP1458	D P-11	28 25		
SP1401	D O-9	18 15			SP1459	D P-11	38 38		
SP1402	D O-9	30 32			SP1460	D Q-11	30 27		

追跡番号	調査区	位置 (グリッド)	規模(cm) 長幅 深さ	出土遺物	備考	追跡番号	調査区	位置 (グリッド)	規模(cm) 長幅 深さ	出土遺物	備考
SP1461	D	Q-11	28 15			SP1519	D	P-9	24 1 8		
SP1462	D	Q-11	22 29			SP1520	D	P-8	22 22		
SP1463	D	Q-11	28 28			SP1521	D	P-8	19 12		
SP1464	D	P-Q-11	34 26			SP1522	D	P-8	- 17		
SP1465	D	P-11	38 28		SK1022-SP1766等切る	SP1523	D	P-8	22 22		
SP1466	D	Q-11 (20)	10		SP1467に切られる	SP1524	D	P-8	20 20	SA1004	
SP1467	D	Q-11	20 15		SP1466を切る	SP1525	D	P-8	32 5	SP1526を切る	
SP1468	D	P-11	26 18			SP1526	D	P-8 (26)	17	SP1525に切られる	
SP1469	D	P-11	32 11			SP1527	D	P-8	17 11		
SP1470	D	P-11	25 17			SP1528	D	P-8	14 14		
SP1471	D	P-11	18 15			SP1529	D	P-8	10 13		
SP1472	D	P-10-11	37 24			SP1530	D	P-8	20 8		
SP1473	D	P-10	38 26			SP1531	D	P-8	22 22	SP1532を切る	
SP1474	D	P-10	24 35		SK1023を切る	SP1532	D	P-8	20 8	SP1531に切られる	
SP1475	D	P-10	30 41			SP1533	D	P-8	19 26		
SP1476	D	P-10	32 28			SP1534	D	P-8	20 -		
SP1477	D	P-10	46 35			SP1535	D	P-8	22 15	SA1004	
SP1478	D	P-10	25 21		SP1479に切られる	SP1536	D	P-8	23 18		
SP1479	D	P-Q-10	24 18		SP1478を切る	SP1537	D	P-8	18 16		
SP1480	D	P-Q-10	29 19	磁器皿1		SP1538	D	P-8	20 16	SA1004	
SP1481	D	P-10	34 31			SP1539	D	P-8	21 13		
SP1482	D	Q-10	29 23			SP1540	D	Q-8	19 36		
SP1483	D	Q-10	29 17			SP1541	D	Q-8	26 24		
SP1484	D	P-10	25 29	鉄?1		SP1542	D	Q-8	24 21		
SP1485	D	P-10	22 11			SP1543	D	Q-8	28 33		
SP1486	D	P-10	33 15			SP1544	D	P-Q-7	23 22	SA1004	
SP1487	D	Q-10	32 43			SP1545	D	P-Q-7	17 12		
SP1488	D	Q-10	33 12			SP1546	D	Q-7	- 12		
SP1489	D	Q-9	30 13			SP1547	D	P-Q-7	29 16	SP1548に切られる	
SP1490	D	P-10	28 37			SP1548	D	P-7	20 36	SP1547を切る	
SP1491	D	P-10	34 16			SP1549	D	P-7	18 20		
SP1492	D	P-10	44 12			SP1550	D	P-7	24 25	SA1004	
SP1493	D	P-10	27 30			SP1551	D	P-7	21 14	SP1552に切られる	
SP1494	D	P-Q-10	26 22			SP1552	D	P-Q-7	30 18	上部器皿1 SP1551-1553を切る	
SP1495	D	P-9	35 31			SP1553	D	P-7 (34)	18	SP1552に切られる	
SP1496	D	P-9	22 19		SK1044を切る	SP1554	D	P-7	27 32	土器小皿1	
SP1497	D	P-9	30 25			SP1555	D	P-7	22 28		
SP1498	D	P-9	24 18			SP1556	D	P-7 (23)	10		
SP1499	D	P-9	31 20	鐵石1		SP1557	D	P-7	18 12		
SP1500	D	P-9	26 22		SP1501を切る	SP1558	D	P-7	19 7		
SP1501	D	P-9 (24)	39		SP1500に切られる	SP1559	D	P-8	23 33		
SP1502	D	P-9	31 24			SP1560	D	P-7-8	36 29	SA1004	
SP1503	D	P-9	- 14			SP1561	D	P-8	20 22		
SP1504	D	P-9	24 12			SP1562	D	P-7-8	20 18		
SP1505	D	P-9	29 25			SP1563	D	P-7	31 30		
SP1506	D	P-9	28 31			SP1564	D	P-7	22 25		
SP1507	D	P-9	30 22			SP1565	D	P-7	26 29	上部器皿小皿1 磁器等1	
SP1508	D	P-9	35 28			SP1566	D	P-7	20 20		
SP1509	D	P-9	34 30			SP1567	D	P-7	30 50	磁器碗1	
SP1510	D	P-9	26 36			SP1568	D	P-7	21 18		
SP1511	D	P-9	30 27			SP1569	D	P-7	21 41		
SP1512	D	P-9	27 15			SP1570	D	P-7	46 36		
SP1513	D	P-9	30 38			SP1571	D	P-8	18 20		
SP1514	D	Q-9	29 16			SP1572	D	P-7	28 29	十脚器皿1	
SP1515	D	O-P-9	20 14			SP1573	D	P-7	28 -		
SP1516	D	P-9	30 24			SP1574	D	P-7	24 15		
SP1517	D	P-8-9	30 16			SP1575	D	P-7	12 6		
SP1518	D	P-9	20 13			SP1576	D	P-7	30 16		

遺構番号	調査区	位置 (グリッド)	規模(cm) 長幅×深さ	出土遺物	備考	遺構番号	調査区	位置 (グリッド)	規模(cm) 長幅×深さ	出土遺物	備考
SP1577	D	O-8	27 38			SP1634	D	O-7	30 29		
SP1578	D	O-8	20 11	SK1030に切られる		SP1635	D	O-7	18 5		
SP1579	D	O-8	11 13			SP1636	D	O-7	12 23		
SP1580	D	O-7	20 6			SP1637	D	O-7	12 36		
SP1581	D	O-7	24 25			SP1638	D	O-6.7	36 19		
SP1582	D	O-7	23 13			SP1639	D	O-P-7	42 29		
SP1583	D	O-7	- 34			SP1640	D	O-6	23 36		SA1005
SP1584	D	O-7	- 29			SP1641	D	P-6	23 28		
SP1585	D	P-7	24 25			SP1642	D	P-6	24 13		SK1043に切られる
SP1586	D	P-7	21 30	SA1004		SP1643	D	P-6	28 38		
SP1587	D	P-7	32 14	磁器碗I		SP1644	D	P-6	24 32	病患25例I	
SP1588	D	P-7	30 7			SP1645	D	P-6	36 37	SX1002を切る	
SP1589	D	P-7	31 30			SP1646	D	O-6	35 44	SA1005	
SP1590	D	P-7	31 14			SP1647	D	O-6	24 22	SX1002を切る	
SP1591	D	P-7	22 14			SP1648	D	O-6	31 22		
SP1592	D	P-7	32 14			SP1649	D	O-6	16 8		
SP1593	D	P-7	22 31	SA1004		SP1650	D	O-6	18 4		
SP1594	D	P-7	28 8			SP1651	D	O-6	16 9		
SP1595	D	P-7	26 13			SP1652	D	O-6.7	28 30		
SP1596	D	P-7	26 15			SP1653	D	O-6.7	20 10		
SP1597	D	P-7	31 31	瓦器楕1、楕2 SA1001、瓦器楕和景系		SP1654	D	O-7	40 16	SP1655を切る	
SP1598	D	P-6.7	19 25			SP1655	D	O-7	25 (8)	SP1654に切られる	
SP1599	D	P-7	28 18			SP1656	D	O-6	33 23		
SP1600	D	P-6	23 8			SP1657	D	O-6	28 9		
SP1601	D	P-7	12 19			SP1658	D	O-6	24 9		
SP1602	D	P-7	22 14			SP1659	D	O-6	25 14		
SP1603	D	P-7	19 11			SP1660	D	O-6	22 10	SX1041に切られる	
SP1604	D	P-7	34 34			SP1661	D	P-5	18 18		
SP1605	D	P-7	10 13			SP1662	D	O-7	24 29	SP1626を切る	
SP1606	D	P-7	15 23			SP1663	E	U-16	30 20		
SP1607	D	P-7	28 41	SP1608を切る		SP1664	E	U-16	18 17		
SP1608	D	P-7	34 37	SP1607に切られる		SP1665	E	U-16	14 10		
SP1609	D	P-7	38 36	瓦器楕I SA1004		SP1666	E	U-16	25 19		
SP1610	D	P-7	26 18			SP1667	E	T-16	17 16		
SP1611	D	P-7	24 40	瓦器楕II		SP1668	E	T-16	19 23		
SP1612	D	P-7	17 8			SP1669	E	T-16	18 22		
SP1613	D	P-7	28 17	瓦器楕II		SP1670	E	T-15	18 14		
SP1614	D	P-7	18 9			SP1671	E	U-14	21 15	SA1006	
SP1615	D	P-7	24 14			SP1672	E	U-14	21 9	SA1006	
SP1616	D	P-7	22 34			SP1673	E	T-14	24 12	SA1006	
SP1617	D	P-7	28 26			SP1674	E	T-14	28 16	SA1006	
SP1618	D	P-7	22 19			SP1675	E	T-14	18 10	SA1006	
SP1619	D	P-7	30 32	白磁碗I		SP1676	E	T-14	29 13		
SP1620	D	O-P-7	20 9			SP1677	E	T-14	30 14		
SP1621	D	P-7	24 27			SP1678	E	S-14	17 14		
SP1622	D	O-7	17 9			SP1679	E	T-14	32 12		
SP1623	D	O-7	28 -		SP1624に切られる	SP1680	E	U-14	30 9		
SP1624	D	O-7	28 -		SP1623を切る	SP1681	E	U-14	27 6		
SP1625	D	O-7	18 13			SP1682	E	U-13.1	18 8		
SP1626	D	O-7	(18) (32)	SP1662に切られる		SP1683	E	U-13	25 18		
SP1627	D	O-7	30 32			SP1684	E	T-14	28 10	SA1006	
SP1628	D	O-7	26 5			SP1685	E	S-15	22 26		
SP1629	D	O-7	20 6			SP1686	E	S-15	22 11		
SP1630	D	O-7	18 10			SP1687	E	R-S-15	27 18		
SP1631	D	O-7	(14) 13	SP1632に切られる		SP1688	E	R-S-15	26 20	SP1690を切る	
SP1632	D	O-7	29 20	SP1631を切る		SP1689	E	R-S-15	(26) 22	SP1690に切られる	
SP1633	D	O-7	27 30			SP1690	E	R-15	(36) 24	SA1006 SP1689を切る、SP1690に切られる	

遺構番号	調査区	位置 (クリット)	規模(cm) 長軸 深さ	出土遺物	備考
SP1691	E	R-15	22 19		SA1008
SP1692	E	S-15	30 13		
SP1693	E	R-15	29 22		
SP1694	E	R-15	18 10		
SP1695	E	R-S-15	32 26		SA1008
SP1696	E	R-15	23 4		
SP1697	E	R-15	19 10		
SP1698	E	S-14	34 38	土師器柄1	SA1008
SP1699	E	R-14	28 29		SA1008
SP1700	E	R-14	30 18		
SP1701	E	R-14	30 41		
SP1702	E	R-14	25 32		
SP1703	F	R-14	24 60		
SP1704	E	R-13	30 6		
SP1705	E	R-13	41 26		
SP1706	E	R-13	26 42		
SP1707	E	S-13	44 38		
SP1708	E	R-13	30 30		
SP1709	E	R-13	27 12		
SP1710	E	S-13	27 22		SA1007
SP1711	E	R-12-13	30 14		SA1007
SP1712	E	S-12	26 23		SA1007
SP1713	E	S-12	20 30		SA1007
SP1714	F	R-12	36 14		SA1007
SP1715	F	R-12	31 18		SA1007
SP1716	F	R-12-13	30 28		SA1007
SP1717	F	R-15	21 12		
SP1718	E	O-17	46 16		
SP1719	E	O-16	28 26		
SP1720	E	N-16	28 16		
SP1721	E	N-16	16 10		
SP1722	E	N-16	26 6		
SP1723	E	O-15	37 45		
SP1724	F	V-16	24 8		
SP1725	F	V-16	36 20		
SP1726	F	W-15	37 21		
SP1727	F	W-16	30 8		
SP1728	F	W-16	32 18		
SP1729	F	W-16	43 6		
SP1730	F	W-16	16 21		
SP1731	F	W-16	14 9		
SP1732	F	W-16-17	26 21		
SP1733	F	Y-20	21 9		
SP1734	F	Y-20	22 9		
SP1735	F	Y-Z-20	30 14		
SP1736	F	Z-20	30 18		
SP1737	F	Z-20	20 7		
SP1738	F	Z-19	18 12		
SP1739	F	Z-19	13 8		
SP1740	F	Z-19	24 9		
SP1741	F	Z-19	22 10		
SP1742	F	Z-19	25 10		
SP1743	F	Z-19	17 15		
SP1744	F	Z-19	22 14		
SP1745	F	Z-19	31 17		
SP1746	D	O-9	44 43		SK1014-1015を切る

遺構番号	調査区	位置 (クリット)	規模(cm) 長軸 深さ	出土遺物	備考
					SA1015を切る
SP1747	D	O-9	30 18		SK1015を切る
SP1748	D	P-11	22 21		SK1011を切る
SP1749	D	P-10-11	36 31		SK1011に切られる
SP1750	D	P-10	24 46		SK1011に切られる
SP1751	D	O-9	18 30		SK1012に切られる
SP1752	D	P-11	21 14		
SP1753	D	O-9	21 44		SK1012を切る
SP1754	D	N-8	26 10		
SP1755	D	O-8	36 16		
SP1756	D	O-7	18 22		SK1021を切る
SP1757	D	O-7	28 33		SP1758に切られる
SP1758	D	O-7	18 12		SP1757を切る
SP1759	D	O-7	33 9		
SP1760	D	P-11 (25)	10		SP1611-SK1022-SP1465に 切られる
SP1761	D	P-11 (27)	14		SP1760を切り、SK1022に 切られる
SP1762	D	P-11	21 16		
SP1763	D	P-8	38 8		
SP1764	D	P-8	16 7		
SP1765	D	P-8	35 24		
SP1766	D	P-8	22 10		
SP1767	D	P-7	20 20		
SP1768	D	O-8	24 16		SK1030に切られる
SP1769	D	P-11	28 26		SK1022を切る
SP1770	D	P-6	28 34		SD1004を切る
SP1771	D	P-10	20 33		SP1772に切られる
SP1772	D	P-10	31 36		SP1771を切る
SP1773	D	P-6	34 40		
SP1774	D	P-6 (20)	30		SP1775に切られる
SP1775	D	P-6	32 (30)		SP1774を切る
SP1776	D	P-6	30 31 土師器柄1		
SP1777	D	P-6	32 28 土師器柄1		SA1005
SP1778	D	P-6	43 22		
SP1779	D	P-6	24 30		
SP1780	D	O-6	34 16		
SP1781	D	O-6	28 28		SA1005
SP1782	D	O-P-6	16 19		
SP1783	D	O-10	38 53		
SP1784	D	N-10	30 24		SP1347を切る
SP1785	D	N-10	20 (8)		SP1786に切られる
SP1786	D	N-10	36 26		SP1785を切る

第9表 桜塚古墳発掘調査 出土遺物観察表 土器

番号	遺構名 出土地点	器種	残存率	口径(cm)	体部 最大 径(cm)	底径 (cm)	頸部径 (cm)	器高 (cm)	その他の 法量 (cm)	技法・文様	色調	胎土	備入 品
1	D区 SK1012	須恵器 甕	45%	49.4	-	-	-	(9.0)	-	外:口縁部:指サエ後輪板ナデ、体部:丸子目ナデ 内:口縁部:四輪板ナデ、体部:青海波文	外:淡青白 内:灰	長、赤	
2	D区 SP1393	土師器 羽釜	10%	39.6	39.6	-	-	(6.9)	-	外:口縁部:ヨコナデ、体部:ナダ? 内:口縁部:ヨコ方向の板ナダ?	外:淡青白 内:淡青	石、木	
3	D区 SP1384	土師器 羽釜	8%	20.4	-	-	鈎径 (22.8)	(5.2)	-	外:口縁部:ヨコ方向の取ナナ後ヨコナデナデ、体部: 内:口縁部:ヨコ方向の板ナダ	外:淡青白 内:灰	石、赤、白	
4	D区 SP1383	土師器 脚	-	-	-	-	-	-	-	外:その他の指サエ:指オサエ	外:にぶい黄緑		
5	D区 SP1374	須恵器 甕	-	-	-	-	-	(4.6)	-	外:体部:横丁目タキナ 内:体部:青海波文	外:淡青白 内:灰	石	
6	D区 SP1597	瓦器 檢	40%	-	-	5.3	-	(2.9)	高台高 0.4	外:体部:指オサエ・ナデ、底部:ナデ 内:底部:ハラゴキナデ(站台高台)	外:淡青白 内:灰	實	和風系
7	D区 SP1777	土師器 杯	17%	14.2	-	-	-	(3.1)	-	外:口縁部:ヨコナデ 内:口縁部:ヨコ方向のナダ	外:淡青白 内:灰	白、赤、赤	
8	E区 SP1698	土師器 鍋	18%	35.8	-	-	-	(7.2)	-	外:口縁部:ヨコナデ・指オサエ後輪板ナダ後ナダ 内:口縁部:ヨコ方向のナダ	外:淡青白 内:にぶい黄緑	石、赤	
9	D区 SK1011	土師器 脚	-	-	-	-	-	(20.8)	-	外:その他の指サエ後ナダ 内:その他の指ナナ	外:淡青白 内:灰	石、赤、白	
11	D区 SK1015	土師器 杯	70%	12.6	-	7.6	-	3.1	-	外:口縁部:ヨコナデ、底部:四輪ヘタギ後ナダ 内:口縁部:ヨコ方向のナダ	外:淡青白 内:淡青	蟹、赤	
12	D区 SK1021	土師器 杯	98%	12.6	-	7.6	-	3.4	-	外:口縁部:ヨコナデ、底部:四輪ヘタギ後ナダ 内:口縁部:ヨコ方向のナダ	外:淡青白 内:灰	白、赤、白	
13	D区 SK1021	土師器 杯	25%	-	-	(6.8)	-	(3.3)	-	外:体部:ヨコナデ、底部:四輪ヘタギ後ナダ 内:口縁部:ヨコ方向のナダ	外:淡青白 内:灰	白、赤、白	
14	D区 SK1021	土師器 羽釜	10%	25.0	28.1	-	鈎径 (28.1)	(7.6)	-	外:口縁部:ヨコナデ、工具の当たった跡、体部:指 ナダ+手抜取ナダ 内:口縁部:ヨコナデ、体部:ナダ後ナダ	外:淡青白 内:淡青	石、赤	
15	D区 SK1021	土師器 釜	45%	29.0	-	-	鈎径 (32.2)	(15.0)	-	外:口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ナダ 内:口縁部:ヨコ方向のナダ	外:淡青白 内:淡青	白、赤、白	
16	D区 SK1021	土師器 鍋	12%	(39.6)	-	-	-	(10.2)	-	外:口縁部:ナダ、体部:指オサエ後ヨコ方向の板 内:口縁部:ナダ、体部:指オサエ後ヨコ方向の板 ナダ	外:淡青白 内:灰	白、赤、白	
17	D区 SK1022	土師器 擂鉢	25%	28.0	-	-	-	(10.5)	-	外:口縁部:ナダ、体部:指オサエ後ナダ、体部:板 内:口縁部:ナダ、体部:ナダ、一部斜りあり(6本)	外:淡青白 内:灰	白、赤、白	
18	D区 SK1022	土師器 擂鉢	-	-	-	-	-	-	-	外:口縁部:ナダ、体部:指オサエ後ナダ 内:口縁部:ナダ、体部:ナダ、一部斜りあり(6本)	外:淡青白 内:灰	白、赤、白	
19	D区 SK1044	土師器 甕	20%	20.4	-	-	-	(7.8)	-	外:口縁部:ヨコナデ・指オサエ後輪板ナダ 内:口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコナデ後板ナダ 工後ヨコ方向の板ナダ	外:にぶい黄 内:にぶい黄緑	白、赤、白	
20	D区 SU1006	土師器 羽釜	12%	26.0	-	-	鈎径 (29.4)	(8.8)	-	外:口縁部:ヨコナデ・数ナダ後指オサエ 内:口縁部:ヨコナデ後指オサエ後ハケ	外:淡青白 内:淡青	石、赤、白	
21	D区 SU1006	土師器 羽釜	12%	24.6	-	-	鈎径 (28.4)	(8.9)	-	外:口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコナデ後板ナダ指 オサエ 内:口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコナデ後板ナダ	外:淡青白 内:にぶい黄緑	石、赤、白	
22	E区 ST1001	土師器 小皿	10%	6.2	-	4.8	-	0.9	-	外:口縁部:四輪ナダ、底部:四輪ヘタギ 内:口縁部:四輪ナダ	外:淡青白 内:にぶい黄	赤	
23	E区 ST1001	土師器 小皿	35%	8.4	-	6.2	-	1.2	-	外:口縁部:四輪ナダ 内:口縁部:四輪ナダ	外:淡青白 内:灰	白、赤	
24	E区 ST1001	土師器 小皿	30%	8.6	-	5.8	-	1.2	-	外:口縁部:ヨコナデ、底部:四輪ヘタギ 内:口縁部:ヨコナデ	外:淡青白 内:灰	赤	
25	E区 ST1001	土師器 小皿	30%	8.4	-	5.4	-	1.9	-	外:口縁部:四輪ナダ、底部:四輪ヘタギ 内:口縁部:四輪ナダ、底部:四輪ヘタギ	外:にぶい白 内:にぶい白	白、赤、白	
26	E区 ST1001	土師器 小皿	80%	8.2	-	6.8	-	1.45	-	外:口縁部:ヨコナデ、底部:四輪ヘタギ 内:口縁部:四輪ナダ	外:淡青白 内:灰	白、赤	
27	E区 ST1001	土師器 小皿	35%	8.2	-	6.8	-	1.2	-	外:口縁部:四輪ナダ、底部:四輪ヘタギ 内:口縁部:四輪ナダ	外:にぶい黄 内:にぶい黄	白、赤	
28	E区 ST1001	土師器 小皿	40%	8.0	-	5.4	-	0.9	-	外:口縁部:四輪ナダ、底部:四輪ヘタギ 内:口縁部:四輪ナダ	外:淡青白 内:灰	白、赤	

番号	遺構名 出土地点	器種	残存 率	口径 (cm)	体部 最大 径(cm)	底径 (cm)	頸部径 (cm)	器高 (cm)	その他の 法量 (cm)	技法・文様	色調	胎土	融入 品
29	E区 ST1001	土師器 杯	12%	24.8	-	16.0	-	3.7	-	外:口縁底部ナガ、体部:指オサエ後ナダ 内:口縁部:ナガ、体部:指オサエ後ヨコ方向の板ナ デ、底部:板ナダ	外:にじる黄褐色 内:にじる橙色	石、黄、赤、 赤	
30	E区 ST1001	土師器 茶釜?	-	15.5	-	-	-	(4.4)	-	外:口縁部:ヨコナダ、全体:指オサエ後ナダ 内:口縁部:ヨコナダ、全体:指オサエ後ヨコ方向の 板ナダ後ナダ	内:外:にじる黄褐色	石、黄、 赤	
31	E区 ST1001	土師器 茶釜?	18%	18.0	-	-	18.3	(6.7)	-	外:口縁部:ナガ、全体:指オサエ後ヨコ方向の 板ナダ後ナダ	内:外:にじる黄褐色	石、黄、 赤	
32	E区 ST1001	土師器 羽釜	12%	19.4	-	-	鈎径 (21.4)	(6.0)	-	外:口縁部:ヨコナダ後指オサエ、体部:指オサエ 内:口縁部:ヨコナダ、体部:板ナダ後指オサエ	内:外:にじる黄褐色	石、黄、 赤	
33	E区 ST1001	土師器 釜	20%	26.4	-	-	鈎径 (29.4)	(4.4)	-	外:口縁部:指オサエ後ヨコナダ、体部:指オサエ 内:口縁部:ナガ、体部:指オサエ後板ナダ	外:褐 内:褐	赤、黄、 赤	
34	E区 ST1001	土師器 羽釜	50%	24.4	28.4	-	鈎径 (28.4)	(6.9)	-	外:口縁部:ヨコナダ後指オサエ、全体:指オサエ 内:口縁部:指オサエハナ	外:褐 内:中等褐色	黄、石、赤	
35	E区 ST1001	土師器 釜	8%	32.0	-	-	-	(4.8)	-	外:口縁部:ナガ、体部:指オサエ後ナダ 内:口縁部:ナガ、体部:指オサエ後ヨコ方向の板ナ ダ	外:褐 内:褐	赤只、黄、 黄、白	
36	H区 ST1001	土師器 釜	20%	25.4	-	-	鈎径 (28.8)	(4.6)	-	外:口縁部:指オサエ後ヨコナダ、体部: 指オサエ後板ナダ 内:口縁部:ヨコナダ、体部:板ナダ	外:灰青褐色 内:にじる黄褐色	黄、赤、白	
37	E区 ST1001	土師器 羽釜	18%	30.4	-	-	鈎径 (33.8)	(4.4)	-	外:口縁部:ヨコナダ、全体:指オサエ後ヨコ方向の 板ナダ	外:にじる黄褐色 内:にじる黄褐色	石、黄、 赤	
38	E区 ST1001	土師器 鍋	-	40.2	-	-	-	(5.1)	-	外:口縁部:ナガ、全体:指オサエ後指オサエ 内:口縁部:ヨコナダ、全体:指オサエ後ヨコナ ダ 外:全体的に擦り落とし	外:褐褐色 内:褐	黄、白、赤	
39	E区 ST1001	土師器 鍋	10%	40.7	-	-	-	(7.7)	-	外:口縁部:ナガ、体部:指オサエ後板ナダ 内:口縁部:ナガ、体部:ヨコ方向の板ナダ	外:灰青褐色 内:褐	黄、赤	
40	E区 ST1001	土師器 鍋	10%	37.1	-	-	-	(5.6)	-	外:口縁部:ヨコナダ、口縁部体部:指オサエ後板ナ ダ 内:口縁部:ヨコナダ、体部:ヨコ方向の板ナダ 外:全体に擦り落とし	外:灰青褐色 内:にじる黄褐色	石、黄、赤	
41	E区 ST1001	土師器 鍋	20%	26.2	-	-	-	(4.0)	-	外:口縁部:ナガ、体部:指オサエ後ナダ 内:口縁部:ナガ、体部:指オサエ後板ナダ	外:褐 内:中等褐色	黄、赤、白	
42	E区 ST1001	土師器 鍋(口部)	8%	39.4	-	-	-	(4.3)	-	外:口縁部:ヨコナダ、体部:指オサエナダ 内:口縁部:ヨコナダ、体部:ナダ	外:にじる黄褐色 内:にじる黄褐色	石、黄、 赤	
43	E区 ST1001	土師器 鍋	12%	34.4	-	-	-	(5.8)	-	外:口縁部:ヨコナダナダ、体部:指オサエ後ナダ 内:口縁部:ヨコナダ、体部:ヨコ方向の板ナダ	外:灰青褐色 内:褐	黄	
44	E区 ST1001	土師器 鍋?	12%	38.4	-	-	-	(3.9)	-	外:口縁部体部:ヨコナダ 内:口縁部体部:ヨコナダ	外:灰青褐色 内:にじる黄褐色	黄、赤、 赤	
45	E区 ST1001	須恵器 蓋	11%	20.6	-	-	17.8	(6.1)	-	外:口縁部:後板ナダ、体部:指タキ 内:口縁部:後板ナダ、体部:指タキ(ヘラケタ)	外:灰青褐色 内:灰青褐色	赤只、 白	
46	E区 ST1001	須恵器 蓋	10%	-	-	(18.4)	-	(3.9)	-	外:体部:ヨコ方向の板ナダ、底部:指タキリズナ 内:体部:ヨコ方向の板ナダ、底部:板ナダ	外:灰青褐色 内:灰	黄、 白	
47	E区 ST1001	須恵器 蓋	10%	-	-	32.0	-	(3.7)	-	外:体部:ヨコ方向の板ナダ、底部:指タキリズナ 内:体部:ヨコ方向の板ナダ、底部:板ナダ	外:灰青褐色 内:灰	黄	
48	E区 ST1001	陶器 碗	90%	4.4	-	4.7	-	(3.4)	高台 0.7	外:底面部:ヨコロ、施釉 内:底面部:ヨコロ、施釉	外:沙子地 内:グレイムの黄		
49	E区 ST1001	陶器 碗	60%	-	-	高台径 (9.1)	-	(4.6)	高台 1.1	外:底面部:ヨコロヘタケリズ、ケリジリ、高台 内:底面部:ヨコロ、施釉 底面部内部に輕砂	外:からいグレイム 内:にじる黄褐色	黄、 白	
50	E区 ST1001	陶器 皿	100%	8.0	-	3.5	-	1.45	-	外:口縁部:ヨコロ、施釉 内:底面部:ヨコロ、施釉	外:灰褐色 内:灰褐色	黄、石	
51	E区 ST1001	陶器 甕	25%	38.2	-	-	34.0	(17.2)	-	外:口縁部:ヨコロナダ、回転ナダ 内:口縁部:ヨコロナダ、体部:タキ後ナダ	外:にじるグレ 内:のブラン		
52	E区 ST1001	陶器 擂鉢	7%	34.0	-	-	-	(4.2)	-	外:口縁部:ヨコロ、体部:ヨコロ後スリ目 内:口縁部:ヨコロ、体部:ヨコロ後スリ目	外:灰褐色 内:灰褐色	黄、 白	
53	E区 ST1001	陶器 擂鉢	26%	-	-	(14.0)	-	(6.9)	-	外:体部:面削ナダ後ナダ、底部:ナダ 内:体部:面削ナダ後ナダ、底部:ナダ 内:体部:面削ナダ後スリ目(4mm/cm)	外:灰褐色 内:にじる黄褐色	石、黄、 赤	
54	E区 ST1001	陶器 擂鉢	25%	-	-	(18.4)	-	(9.4)	-	外:体部:(上)面削ナダ(下)回転ナダ後指オサエ 内:口縁部:ヨコロ、体部:ヨコロ後スリ目 内:体部:面削ナダ後スリ目(4mm/cm)	外:灰褐色 内:灰褐色	石、水、 白	
55	E区 ST1001	青磁 碗	12%	18.2	-	-	-	(4.0)	-	外:口縁部:施釉、回転ナダ 内:口縁部:施釉、回転ナダ	外:グレイムの 黄褐色		

番号	送標名 出土地点	器種	残存率	口径 (cm)	体部 最大 径(cm)	底径 (cm)	頭部径 (cm)	器高 (cm)	その他の 法量 (cm)	技法・支様	色調	胎土	備入 品
56	E区 ST1001	青磁 碗	10%	16.6	-	-	-	(4.2)	-	外)口縁部・頭部ナデ 内)口縁部・頭部ナデ 柄あり 豆入り	内・外)グリーンの オリーブグリーン		
57	E区 ST1001	磁器 皿	70%	10.2	-	-	-	3.0	-	外)口縁部底・頭部ナデ 内)口縁部底・頭部ナデ 内外面に凹みあり、外縁・体部・底部は無釉	外)青い黄 内)黄みのブラウン		
58	E区 ST1001	瓦質 水溜湯沸	10%	28.4	-	-	-	3.8	-	外)口縁部底・頭部ナデ 内)口縁部底・頭部ナデ	外)黒灰 内)灰	灰	
61	F区 ST1002	土師器 小皿	30%	6.0	-	高台径 5.8	-	0.8	-	外)体部・口コロ、底部・口軒へラ切り 内)口底部・コロナデ	外)灰が褐色 内)赤茶色	灰	
62	F区 ST1002	土師器 小皿	25%	6.1	-	6.0	-	0.8	-	外)口縁部ナデ、底部・口軒へラ切り 内)体部ナデ	外)灰が白 内)灰が白	灰	
63	F区 ST1002	磁器 碗	50%	10.0	-	4.3	-	5.0	高台 0.8	外)口縁部・頭部ナデ 内)口縁部底・頭部ナデ・施釉 外付無釉	外)白い白 内)白い白		
64	F区 ST1002	青磁? 磁器碗	20%	8.0	-	3.6	-	5.9	-	外)口縁部・コロナデ後施釉 内)口縁部・コロナデ後施釉	内)青い黄 内)黄みの白		
65	F区 ST1002	土師器 瓦	-	-	-	-	-	-	-	外)その他のコロナデ 内)その他のコロナデ	外)灰が白 内)灰が白	灰、白	
66	D区 SX1002	土師器 杯	30%	-	-	(8.4)	-	(1.9)	-	外)体部・口軒ナデ、底部・口軒へラ切り後ナデ? 内)口底部・口軒ナデ	外)灰が白 内)灰が白	灰、白	
67	D区 SX1002	土師器 杯	25%	-	-	(8.5)	-	(1.8)	-	外)口縁部・頭部ナデ、底部・口軒へラ切り 内)口底部・口軒ナデ	外)灰が白 内)灰が白	灰、白	
68	D区 SX1002	土師器 杯	17%	-	-	(7.0)	-	(1.3)	-	外)口縁部・頭部ナデ、底部・口軒へラ切り 内)口底部・口軒ナデ	外)灰が白 内)灰	灰、白、砂、 灰	
69	D区 SX1002	土師器 碗	30%	-	-	高台径 (5.8)	-	1.4	高台 0.4	外)口縁部・頭部ナデ、底部・口軒へラ切り 内)口底部・頭部ナデ、底付高台	外)灰が白 内)灰が白	石、灰、 灰、片	
70	D区 SX1002	須恵器 椀	18%	12.9	-	-	-	(3.9)	-	外)口縁部・コロナデ、体部・口軒へラ切り後ナデ 内)口縁部・体部・口軒ナデ	外)灰 内)灰赤道	灰、灰、白	
71	D区 SX1002	須恵器 椀	75%	-	-	4.2	-	(2.4)	-	外)口縁部・指サエ後斜切ナデ、底部・貼付高台 内)口縁部・体部・口軒ナデ	外)灰 内)灰	灰、白	
72	D区 SX1002	土師器 土鐘	100%	4.2	1.6	-	-	重さ 9.70g	-	外)その他のナデ	外)灰	灰、石	
74	D区 SP1306	土師器 小皿	85%	7.6	-	5.9	-	1.3	-	外)口縁部・ナデ、底部・四軒条切り 内)口縁部・ナデ	外)灰が白 内)灰	灰、石、赤	
75	D区 SP1325	土師器 小皿	98%	6.6	-	5.3	-	1.6	-	外)口縁部・体部・底部・四軒条切り後 内)口縁部・底部・四軒条	外)灰が白 内)灰	石、灰、白	
76	D区 SP1325	土師器 鉢	45%	-	-	8.9	-	(11.3)	-	外)体部・ナデ、底部・(軒軸へラ切り)ナデ 内)口底部・ナデ	外)灰白 内)灰白	灰、灰、赤	
77	D区 SP1326	須恵器 碗?	40%	-	-	4.5	-	(2.8)	-	外)口縁部・コロナデ後斜切サエ、その他・静止系切 内)口底部・コロナデ	外)灰白 内)灰灰	灰、石	
78	D区 SP1329	青白磁? 杯	40%	9.8	-	5.2	-	(2.0)	-	外)口縁部底・施釉 内)口縁部底・施釉 高台剥離	外)青い黄 内)青い黄		
79	D区 SP1406	土師器 杯	20%	-	-	(7.2)	-	(2.4)	-	外)口縁部・口軒ナデ、底部・口軒へラ切り後ナデ 内)口底部・指サエ後ナデ	外)灰 内)灰がい黄	灰、灰、赤	
80	D区 SP1406	土師器 脚?	-	-	-	-	-	-	-	外)その他のナデ 内)その他のナデ	外)灰がい黄		
81	D区 SP1408	土師器 杯	30%	-	-	(7.8)	-	(2.4)	-	外)口縁部・口軒ナデ、底部・口軒へラ切り後ナデ 内)口底部・口軒ナデ	外)灰がい黄 内)灰	灰、灰、赤	
82	D区 SP1455	須恵器 壺?	-	-	-	-	-	(3.5)	-	外)口縁部・シタキ 内)口縁部・青漆波紋	外)灰 内)灰	灰、石	
84	D区 SP1552	土師器 椀	12%	17.0	-	-	-	(3.1)	-	外)口縁部・口軒ナデ後斜切サエ・板ナデ 内)口縁部・指サエ・体部・板ナデ	内・外)灰がい黄	灰、赤	
85	D区 SP1554	土師器 小皿	20%	8.6	-	6.0	-	1.3	-	外)口縁部底・コロナデ、底部・四軒条切り 内)口縁部底・コロナデ	外)灰 内)灰	灰、石、赤	
86	D区 SP1565	土師器 小皿	25%	7.4	-	5.7	-	1.3	-	外)口縁部・コロナデ、底部・四軒条ナデ?後ナデ 内)口縁部・コロナデ	外)灰が白 内)灰	灰、赤、白、 灰	
87	D区 SP1565	須恵器 壺?	7%	15.8	-	-	-	(3.0)	-	外)口縁部・ナデ 内)口縁部・コロナデ、体部・ハケ	外)灰 内)灰白	石、赤	
88	D区 SP1567	青磁 碗	-	17.4	-	-	-	(2.7)	-	外)口縁部・施釉・コロナデ 内)口縁部・施釉・コロナデ	外)オーバーリブ 内)オーバーリブ		
89	D区 SP1572	土師器 杯	10%	12.7	-	8.0	-	2.9	-	外)口縁部・底部・コロナデ 内)口縁部・底部・コロナデ	外)灰 内)灰	石、赤、白、 灰	
90	D区 SP1587	磁器 杯	-	15.4	-	-	-	(2.9)	-	外)口縁部・コロナデ、体部・蓮弁文・施釉 内)口縁部・コロナデ・コロナデ	内・外)グリーンの オリーブグリーン		

番号	遺構名 出土地点	器種	残存 率	口径 (cm)	体部 最大 径(cm)	底径 (cm)	頸部径 (cm)	器高 (cm)	その他の 法量	技法・文様	色調	胎土	備入 品	
91	D区 SP1619	凸磁 碗	12%	14.5	-	-	-	(3.8)	- 外)口縁休部:コロナ 内)口縁休部:コロナ	外:オフ・黄緑 内:オフ・黄緑	-	-	-	
92	D区 SP1644	須恵器 杯	5%	12.0	-	-	-	(2.9)	- 外)口縁休部:凹軒ナダ 内)口縁休部:凹軒ナダ	外:灰 内:灰	灰	-	-	
93	D区 SP1776	土師器 杯	20%	12.6	-	-	-	(2.5)	- 外)口縁休部:凹軒ナダ 内)口縁休部:凹軒ナダ	外:灰 内:灰	灰、少	-	-	
94	D区 P-8	I.師器 杯	5%	14.4	-	-	-	(4.5)	- 内)外曲とも唐咸成しの為、調査不明	外:灰 内:灰	灰	-	-	
95	D区 Q-9 包含層	土師器 杯	40%	11.8	-	8.0	-	3.4	- 外)口縁休部:指サエ後カナ、底部:四軒ヘラ切り 内)口縁休部:指サエ後カナ	外:灰 内:灰	灰、少	-	-	
96	D区 P-9 包含層	土師器 杯	30%	10.8	-	7.6	-	2.95	- 外)口縁休部:凹軒ナダ 内)口縁休部:凹軒ナダ	外:灰 内:灰	灰、少	-	-	
97	D区 N-9 包含層	I.師器 杯	40%	14.2	-	7.0	-	4.0	- 外)口縁休部:凹軒ナダ、底部:四軒ヘラ切り 内)口縁休部:凹軒ナダ	外:灰 内:灰	灰、少、石、片	-	-	
98	D区 N-12 包含層	土師器 杯	30%	12.1	-	9.2	-	3.4	- 外)口縁休部:ナダ、底部:四軒ヘラ切り 内)口縁休部:ナダ	外:灰 内:灰	灰	-	-	
99	D区 N-12 包含層	十箇器 杯	40%	11.6	-	6.8	-	3.3	- 外)口縁休部:凹軒ナダ 内)口縁休部:凹軒ナダ	外:灰 内:灰	灰、少	-	-	
100	D区 N-12 包含層	土師器 杯	35%	12.0	-	6.0	-	4.1	- 外)口縁休部:凹軒ナダ、底部:ハラ切り後ナダ 内)口縁休部:凹軒ナダ、内面:凹窪度:あり	外:灰 内:灰	灰	-	-	
101	D区 10 包含層	土師器 杯	25%	12.6	-	9.8	-	3.6	- 外)口縁休部:凹軒ナダ、底部:四軒ヘラ切り 内)口縁休部:凹軒ナダ	外:灰 内:灰	灰	-	-	
102	D区 P-9 包含層	土師器 杯	75%	-	-	8.0	-	(2.7)	- 外)休部:三軒ナダ、底部:凹軒ヘラ切り後ヘク正 内)口縁休部:凹軒ナダ	外:灰 内:灰	灰、少、片	-	-	
103	D区 OP-9 包含層	土師器 小皿	40%	7.6	-	5.6	-	1.5	- 外)口縁休部:凹軒ナダ、底部:四軒ヘラ切り 内)口縁休部:凹軒ナダ	外:灰 内:灰	灰、少	-	-	
104	D区 P-8 包含層	土師器 小皿	80%	8.8	-	6.9	-	1.4	- 外)口縁休部:凹軒ナダ、底部:四軒ヘラ切り 内)口縁休部:凹軒ナダ	外:灰 内:灰	灰、少、片	-	-	
105	D区 P-8 包含層	瓦盤 小皿	25%	8.6	-	-	-	1.7	- 外)口縁休部:凹軒ナダ、底部:不明 内)口縁休部:ナダ	外:灰 内:灰	灰、少、片	-	-	
106	D区 N-O -12 包含層	I.師器 杯	85%	-	-	4.4	-	(1.7)	- 外)休部:三軒ナダ、底部:凹軒ヘラ切り 内)口縁休部:凹軒ナダ	外:灰 内:灰	灰、少	-	-	
107	D区 V-O -910 包含層	土師器 杯	30%	12.8	-	7.5	-	2.1	- 外)口縁休部:コロナダ、底部:ナダ 内)口縁休部:コロナダ	外:灰 内:灰	灰、石、水	-	-	
108	包含層	I.師器 小皿	85%	9.4	-	4.2	-	1.3	- 外)口縁休部:凹軒ナダ、底部:四軒ヘラ切り後ナダ 内)口縁休部:凹軒ナダ	外:灰 内:灰	灰	-	-	
109	包含層	I.師器 小皿	95%	7.3	-	2.8	-	1.5	- 外)口縁休部:四軒ナダ、底部:凹軒ヘラ切り 内)口縁休部:四軒ナダ	外:灰 内:灰	灰、少	-	-	
110	B区 包含層	十箇器 杯か皿	20%	-	-	高台径 22.3	-	(8.0)	高台高 1.9	内)底部:ヨコ方向の板ナダ、底部:高台 との接続部:タマ方向の板ナダ、その他の高台:ヨコ 方向の板ナダ、底部:ヨコ方向の板ナダ	内:灰 内:灰	内:灰 内:灰	内:灰 内:灰	内:灰 内:灰
111	D区 N-9 I.師器 擂鉢	12%	18.8	20.5	-	-	-	(10.2)	- 外)口縁部:指サエ後ヨコナダ、底部:指サエ 後ナダ 内)口縁部:指サエ後ヨコナダ、底部:指サエ後 ヨコナダ	外:灰 内:灰	石、灰	-	-	
112	D区 N-O -12・13 包含層	I.師器 擂鉢	10%	32.0	32.05	-	-	(4.1)	- 外)口縁部:ヨコナダ、底部:指サエ後ヨコナダ 内)口縁部:ヨコナダ	外:灰 内:灰	灰、石、水	-	-	
113	B区 包含層	土師器 擂鉢	80%	-	-	11.4	-	(5.2)	- 外)休部:四軒ナダ後指サエ、底部:四軒ヘラ切り 内)底部:四軒ナダ後ヨコナダ	外:灰 内:灰	石、灰、水	-	-	
114	D区 O-10-11 包含層	土師器 擂鉢	-	37.2	39.1	-	-	(6.5)	- 外)口縁部:ヨコナダ、底部:指サエ後ヨコナダ 内)口縁部:ヨコナダ、底部:指サエ後ヨコナダ	外:灰 内:灰	石、灰、水	-	-	
115	D区 N-9-10 包含層	土師器 羽釜	12%	28.0	31.0	-	鈑径 (30.8)	(3.8)	- 外)口縁部:ヨコナダ、底部:指サエ後ヨコナダ 内)口縁部:ヨコナダ	外:灰 内:灰	灰、灰、水	-	-	
116	D区 N-10	土師器 釜	12%	30.4	31.6	-	鈑径 (31.6)	(9.9)	- 外)口縁部:ヨコナダ、底部:指サエ後ヨコナダ 内)口縁部:ヨコナダ、底部:指サエ後ヨコナダ	外:灰 内:灰	灰、少、石	-	-	
117	D区 N-9 包含層	土師器 羽釜	10%	26.8	-	-	鈑径 (30.0)	(4.7)	- 外)口縁休部:指サエ後ナダ、底部:指サエ後ナダ 内)口縁休部:指サエ後ナダ	外:灰 内:灰	石、灰、灰、水	-	-	
118	B区 包含層	土師器 羽釜	55%	25.4	27.5	-	-	9.5	- 外)口縁部:指サエ後ナダ、底部:指サエ後ナダ 内)口縁部:ナダ、口縁休部:ヨコ方向の板ナダ、 指サエ後ナダ	外:灰 内:灰	石、灰	-	-	

番号	遺構名 出土地点	器種	残存 率	口径 (cm)	体部 最大 径(cm)	底盤 (cm)	腹部深 (cm)	器高 (cm)	その他の 法量 (cm)	技法・文様	色調	胎土 融入 品
119	包含層	土師器 鍋	80%	29.6	-	-	-	(4.9)	-	外)口縁部:ナデ、体部:板ナデ後ナデ・ナデ内)口縁部:ナデ、内)底盤あり	外:板 内:板	石、青、結
120	D区 N-11 包含層	土師器 鍋	10% (32.5)	-	-	-	-	(5.8)	-	外)口縁部:ナデ、体部:指サエ後板ナデ内)口縁部:指サエ後板ナデ	外)にい青 内)にい青	灰、青、白
121	D区 O-7 包含層	土師器 鍋	10%	38.2	-	-	-	(4.6)	-	外)口縁部:ナデ・指サエ 内)口縁部:指サエ	外:青 内)にい青	灰、石、水
122	D区 K-9 包含層	土師器 鍋	10%	34.5	-	-	-	(6.2)	-	外)口縁部:ヨコ方向の板ナデ、体部:指オサエ後板ナデ 内)口縁部:ヨコ方向の板ナデ 外)にい青	外:青 内)青	石、青、結
123	D区 N-12 包含層	土師器 鍋	-	35.4	-	-	-	(6.1)	-	外)口縁部:ヨコ方向の板ナデ、指オサエ後板ナデ 内)口縁部:ヨコ方向の板ナデ	外:青 内)青	灰、青、結
124	D区 N-10 包含層	土師器 鍋	10%	38.6	-	-	-	(5.1)	-	外)口縁部:指オサエ後ナデ・体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ	外)にい青 内)青	灰、青、白
125	D区 P-10 包含層	土師器 鍋	10%	46.0	-	-	-	(5.1)	-	外)口縁部:ヨコナデ・板ナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコ方向の板ナデ	外:青 内)青	灰、石、結
126	D区 O-11 包含層	須恵器 盃	18%	48.2	-	-	-	43.2	(6.6)	外)口縁部:ヨコナデ・板ナデ、体部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:板ナデ・指オサエ・青背景文	外:青 内)青	青、石
127	D区 包含層 E区	須恵器 盃	-	-	-	-	-	(6.3)	-	外)その他の:格子口タキ 内)その他の:青背景文	外:灰 内)灰	灰、青
128	白磁?	碗	5%	15.8	-	-	-	(2.9)	-	外)口縁部:コロナリテ後施釉 内)口縁部:コロナリテ後施釉	内)にい青	灰、青
129	D区 包含層	青磁 碗	-	18.7	-	-	-	(1.6)	-	外)口縁部:凹折ナデ 内)口縁部:凹折ナデ 外)口縁部:凹折ナデ 内)口縁部:凹折ナデ 外)外有り 外面に裏文(鉢は退化)	内)にい青	青、灰、青
131	C区 SK1003	磁器 碗	10%	21.2	-	8.6	-	6.0	高台 1.2	外)口縁部:コロナリテ後施釉 内)口縁部:コロナリテ後施釉 外)内壁にハナビ入植、内外面貫入	内)外:グレイムの 灰	灰、青
132	C区 SK1003	土師器 焰烙	8%	38.5	-	-	-	(5.4)	-	外)口縁部:指オサエ後ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ナデ	外:青 内)にい青	灰、青、白
133	C区 SK1003	土師器 焰烙	-	39.6	-	-	-	(4.0)	-	外)口縁部:指オサエ後ヨコ方向のナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコ方向のナデ	外:青 内)にい青	青、灰、結
134	C区 SK1004	陶器 皿	95%	7.2	7.2	2.4	-	1.8	-	外)全体:割れ 内)全体:クロカ 外)内側:施釉 底部の施釉なし	内)外:ソラソ 内)青みのブラ ン	青
135	C区 SK1004	土師器 焰烙	-	43.4	-	-	-	(2.7)	-	外)口縁部:ヨコナデ・板ナデ 内)口縁部:ヨコナデ	外:灰 内)にい青	灰、青、白
139	C区 SK1007	磁器 碗	60%	12.0	-	4.4	-	5.2	高台 0.9	外)口縁部:凹折ナデ 内)口縁部:凹折ナデ	外:白 内)白	白
140	C区 SK1007	磁器 碗	ほぼ完 存	12.0	-	4.6	-	5.4	高台 0.85	外)口縁部:ヨコナリテ後施釉 内)全体:施釉・施色・白目ナデ、底部一部無釉 を引き出す工具あり、身上に砂付着	外:かるいグレ 内)白	白
141	C区 SK1007	白磁 碗	10%	12.65	-	6.4	-	6.2	高台 1.8	外)口縁部:コロナリテ後施釉 内)全体:施釉・施色・白目ナデ、底部一部無釉 量付無釉 内面貫入	外:青みの白 内)青みの白	黑色系
142	C区 SK1007	磁器 碗	20%	-	-	4.45	-	(3.5)	高台 0.6	外)全体:コロナリテ後施釉、底部:凹折ナリ 内)全体:コロナリテ後施釉	外:青みの白 内)青みの白	青
143	C区 SK1007	陶器 擂鉢	95%	28.8	28.8	13.4	-	10.7	-	外)口縁部:凹折2条、全体:コロナリテ後施釉、底部:凹折ナリ 内)口縁部:凹折2条、全体:スリリ日(16条/3.0cm)、 底部:スリ日(10条/1.2cm)	外)グレイムのブ ラン 内)にい青みの オレンジ	青、結
146	C区 SK1008	陶器 碗	50%	-	-	6.5	-	(1.7)	高台 0.7	外)全体:ヨコナリテ後施釉、底部:凹折ナリ 内)底部:ヨコナリテ後施釉 量付無釉 内面貫入あり 貼付高台	外:青みの白 内)青みの白	青
147	C区 SK1008	白磁?	50%	-	-	厚さ 1.5	-	-	-	外)その他の:ナリテ後施釉	外:かるいグレイ 内)青	白
154	D区 SK1030	磁器 大口茶 碗	12%	12.4	-	-	-	(4.9)	-	外)口縁部:(体部造出まで)コロナリテ後施釉(以 下)コロナリ 内)口縁部:コロナリテ後施釉 外)外溢鉢	外)にいグレ ムのブラン	青
155	D区 SK1030	陶器 盃	75%	-	6.7	4.0	-	(6.8)	-	外)蓋:ヨコナデ・底盤:ヘルナリ 内)口縁部:コロナリテ後施釉	内)外:青みの白 内)青	青、白
156	B区 ST1003	陶器 碗	70%	-	-	高台 4.6	-	(4.75)	高台 5.55	外)全体:コロナリテ後施釉、底部:高台ケリ出し 内)口縁部:コロナリテ後施釉 外)外溢鉢、内面	外:青 内)グレイムの黄緑	青、石

番号	遺構名 出土地点	器種	残存率	口径 (cm)	体部 最大 径(cm)	底径 (cm)	頭部径 (cm)	器高 (cm)	その他 の法量 (cm)	技法・文様	色調	胎土	備入 品
157	A区 SR1001	土師器 杯	90%	13.1	-	8.0	-	3.8	-	外)口縁部:回転ナデ、底部:内輪へラ引後 ナデ 内)口縁部底部:回転ナデ	外)黒 内)灰褐色	灰、青、赤 青	
158	A区 SR1001	弥生 甕	12%	-	-	3.5	-	-	-	外)口縁部:ナデ 内)口縁部:指ササエナデ?	外)黒 内)灰い黄	石、青、赤	
159	A区 SR1001	須恵器 こね鉢	12%	24.6	-	-	-	(9.0)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指ササエ後ナデ 内)口縁部:ナデ 内)面上に壓付着	外)灰白 内)灰青褐色	石、青	
160	A区 SH1001	土師器 鍋	-	39.6	-	-	-	(5.0)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指ササエ後ヨコナデ 内)口縁部:ナデ?	外)浅黄 内)灰	石、青	
161	A区 SR1001	土師器 壺	-	40.2	-	-	-	(3.0)	-	外)口縁部:ヨコナデ、指ササエ後 ヨコナデ、体部: ハケ目:指ササエ後ナデ 内)口縁部:指ササエ後ナデ	外)青褐色 内)灰い黄	灰、石、白	
162	A区 SR1001	土師器 焰塔	-	48.8	-	-	-	(4.6)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指ササエ後ナデ 内)口縁部:指ササエ後ナデ	外)黑褐 内)灰い黄	灰、白、赤	
163	A区 SR1001	土師器 焰塔	-	49.0	-	-	-	(4.7)	-	外)口縁部:ナデ 体部:指ササエ後ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、指:指ササエ後ナデ	外)深褐 内)灰青	灰、白、赤 青	
168	C区 包含層	土師器 焰塔	-	38.9	-	-	-	(5.0)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指ササエ後ヨコナデ、指 ササエ後板ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、板ナデ 外)全体煤炱青	外)深褐 内)灰	灰、白、青 赤	
169	B区 包含層	土師器 焰塔	12%	47.6	-	-	-	(6.6)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指ササエ後ヨコナデ、指 タケ目:向ナデ 内)口縁部:ヨコナデ	外)深褐 内)灰い黄	灰、青、白	
170	D区 N-9 包含層	土師器 焰塔	20%	61.2	-	-	-	(9.0)	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:指ササエ後板ナデ 内)口縁部:ヨコナデ、体部:指ササエ後板ヨコナデ 内の板ナデ	外)深褐 内)灰青褐色	石、灰、白、赤 青	
171	包含層	陶器 小皿	75%	6.7	-	3.6	-	1.1	-	外)口縁部:ヨコロ回転ナデ、底部:回転ヘラ 切 内)口縁部底部:ヨコロ回転ナデ 内)裏面	外)深褐 内)灰	灰、白	
172	D区 Q-II 包含層	陶器 皿	10%	9.5	-	-	-	(2.1)	-	外)口縁部:ヨコロ:施釉 内)口縁部:ヨコロ:施釉 内)裏面	内)灰い黄	青	
173	B区 包含層	陶器 天日茶碗	90%	-	高台径 (5.4)	-	-	(2.8)	高台高 0.9 内)底部:ヨコロ:施釉	(底地)淡黄色 (釉)こい青み のブラン	砂、石		
174	B区 包含層	陶器 碗	90%	-	高台径 4.1	-	-	(1.8)	高台高 0.5 内)底部:ヨコロ:施釉 内)裏面:施釉	(底地)灰白色 (釉)青灰色 の白			
175	包含層	陶器 天日茶碗	-	-	4.0	-	-	(1.7)	高台高 0.65 外)底部:ヨコロ:施釉:底部:ヨコロケズリ出し 内)底部:ヨコロ:施釉	外)灰 内)底みの白			
176	B区 包含層	陶器 碗	40%	-	高台径 (4.6)	-	-	(2.4)	高台高 0.75 内)底部:ヨコロナデ、底部:ケズリ出し:ヨコロ 内)裏面:ヨコロ:施釉	(底地)淡黄色 (釉)こい青み のブラン	灰、青		
177	E区 包含層	陶器 皿	80%	10.8	-	高台径 4.6	-	2.1	高台高 0.3 内)底部:ヨコロ:施釉 内)裏面:ヨコロ:施釉	外)ヨコロ:ナデ 内)ヨコロ:施釉 内)裏面:ヨコロ:施釉	青		
178	B区 包含層	染付 器碗	40%	-	高台径 (4.9)	-	-	(3.7)	高台高 1.1 内)底部:ヨコロ:施釉 底部内面(見込み)に泥沙、灰付無地、紅砂 付有	底部:ヨコロ:施釉、底部:ケズリ出し高台 内)底部:ヨコロ:施釉 底部内面(見込み)に泥沙、灰付無地、紅砂 付有	底みの白 灰白		
179	包含層	陶器 鉢	-	10.4	-	4.1	-	3.1	高台高 0.7 内)底部:ヨコロ:施釉 内)裏面:ヨコロ:施釉 底部:施釉部分と無釉部分あり	外)ヨコロ:ヨコロ:施釉 内)ヨコロ:ヨコロ:施釉 底部:施釉部分と無釉部分あり	外)底みの白 内)底みの白		
180	包含層	陶器 擂鉢	12%	24.0	-	-	-	(3.5)	-	外)口縁部:ヨコナデ、凹裁3条 内)口縁部:ヨコナデ	外)ヨコロ:レイン のブラン	石、青、赤	
181	B区 包含層	陶器 壳	90%	34.6	40.5	20.1	-	43.6	-	外)口縁部:ヨコナデ、体部:點付突唇:沈微文: タケナデ 底部:ナデ 内)口縁部:ヨコナデ 内)底部:ヨコナデ、体部:ヨコナデ後タケキ、 底部:ナデ	内)外)ヨコロ:レイン のブラン		
182	A区 F-2 包含層	磁器 碗	10%	17.2	-	-	-	(1.6)	-	外)口縁部:ヨコナデ 内)口縁部:ヨコナデ	外)灰い黄		
183	D区 O-P-9 附近 包含層	磁器 碗	8%	14.8	-	-	-	(1.7)	-	外)口縁部:施釉 内)口縁部:施釉	内)灰い黄		
184	D区 M-N -9 包含層	磁器 鉢	13%	18.5	-	-	-	(4.5)	-	外)口縁部:ヨコロ:施釉、下半分無地:ヘラマギ?内)ヨコロ:施釉	内)ヨコロ:ヨコロ:施釉	灰	

番号	遺構名 出土地点	器種	残存率	口径 (cm)	体部 最大径 (cm)	底径 (cm)	腹部径 (cm)	器高 (cm)	その他の 法量 (cm)	技法・文様	色調	胎土	陶器 品
185	E区 包含層	磁器 天目茶碗	25%	11.0	-	-	-	(5.8)	-	外)口縁部:(体部下部まで)コロナデ後施釉(下部 より)シグナープ 内)内腹部:コロナデ後施釉	(茶地)うすい青 (釉)墨		
186	B区 包含層	陶器 碗	75%	-	-	高台径 5.7	-	(1.85)	高台高 0.75	外)作業:(シグナープ後施釉(一部) 内)内腹部:シグナープ後施釉 底部:高台内シグナープ	(茶地)灰白 (釉面)にぶい緑	石、粘	
187	D区 N-9-10 包含層	磁器 碗	30%	--	-	高台径 4.2	-	(1.8)	高台高 0.5	外)内腹:シグナープ後施釉(一部) 内)内腹部:シグナープ後施釉 底部:高台内シグナープ 足込み: 1.6cm幅の円形で整脚部分あり	内・外)あかるいグ レイ		
188	D区 N-11 包含層	磁器 碗	10%	12.6	-	-	-	(3.4)	-	外)内腹部:シグナープ後施釉(一部) 内)内腹部:シグナープ後施釉(一部) 内)内腹:内シグナープ 内)内腹とも肩入	内・外)うすい青		
189	A区 C-4・5 包含層	磁器 碗	70%	-	-	高台径 4.8	-	(1.5)	高台高 (0.5)	外)体部:板ナデ、底部:ケズリ 内)内腹部:底部(一部無し) その他:ケズリ出し 内)内腹:内シグナープ 裏付に脚十日の跡	外)茶ケズリ出し 部分:にぶい青み のオレンジ 内)底部無し 部分:グレイのみの ギリフ	青	

第10表 お塙古墳発掘調査 出土遺物観察表 木製品

番号	遺構名・出土地点	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考
148	C区 SK1008	付け木?	9.7	2.4	2.0	-	特に目立った加工痕はない(多少磨滅の影響あり)図中上側の炭化範囲も不明瞭
164	A区 SR1001 5-D	?	5.2	3.05	2.6	-	溝状の加工裏面にもあり
165	A区 SR1001 3-C	付け木	9.6	2.7	1.5	-	特に目立った加工はない樹皮を剥いたそのまま
166	A区 SR1001 4-C	付け木	11.6	1.3	0.7	-	3面ともに削り痕がある
167	A区 SR1001 3-C	付け木	12.2	1.8	0.8	-	3面とも削って形を作っている

第11表 お塙古墳発掘調査 出土遺物観察表 石器

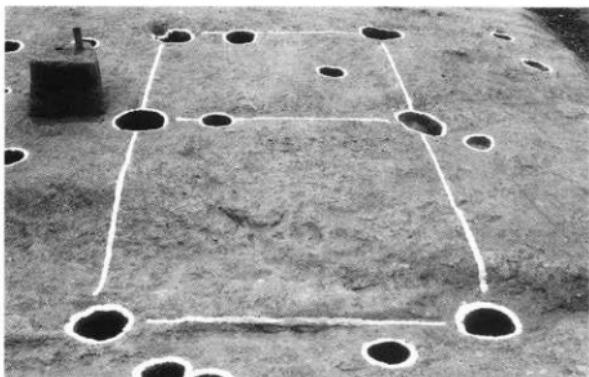
番号	遺構名・出土地点	器種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考
59	B区 ST1001	石製品 皿	口径 34.0		器高 (3.7)	-	外)口縁部:ノミやタガネ等々で粗く削られた仕上がりである 内)口縁部:とても滑らかに仕上げられている 砂岩製品と思われる
136	C区 SK1004	砂岩 石臼	17.2	27.4	8.8	5.3kg	
144	C区 SK1007	凝灰岩 すり鉢	15.5	6.25	2.05	250.0	池の部分は図中右側の使用度が高く磨滅が著しい。 丘は製品完成度タガネ状のもので右→左に打痕がありその後もすり面として(底石の可能性も含めて) 使用されている。また、左右側面には底石として使用した切り込みが顕著である
145	C区 SK1007	砂岩 破石	12.0	18.6	4.9	950.0	
149	C区 SK1008	石臼	34.6	34.5	11.5	15.65kg	上臼側面に握り手を挿入するソケット状の穴が掘り込まれている。(L字の握り手を打ち込むもの)横打ち込み式
150	C区 SK1008	石臼	35.0	34.0	9.2	13.2kg	
190	C区 包含層	石製品 皿	口径 32.0		器高 (5.1)	-	外)口縁部:ノミやタガネを使い粗く削っている 内)口縁部:滑らかに仕上げられている 砂岩製品と思われる
191	C区 J-12 包含層	結晶片岩 敷石	10.5	3.35	3.3	181.0	

第12表 お塙古墳発掘調査 出土遺物観察表 鉄製品

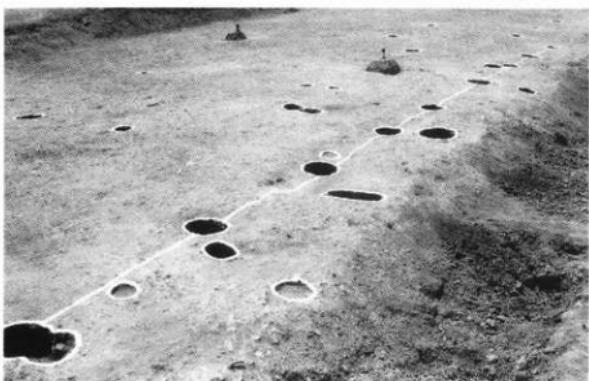
番号	遺構名・出土地点	器種	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	備考
10	D区 SK1014	釘	鉄	3.85	1.5	1.2	7.2	
60	E区 ST1001	釘	銅	2.4	1.5	-	2.3	1号塚
73	B区 SP1041	釘	鉄	3.35	0.9	0.7	3.4	
83	D区 SP1484	?	鉄	3.7	1.9	1.2	10.0	
130	E区 包含層	釘	銅	2.3	0.1	-	2.5	
137	C区 SK1004	鋸先	鉄	11.6	5.7	1.7	139.9	
138	C区 SK1004	鋸	鉄	10.2	6.2	3.2	112.3	
151	C区 SK1008	釘	鉄	7.15	2.45	1.7	15.6	
152	C区 SK1008	釘	鉄	6.9	1.5	1.3	11.9	
153	C区 SK1008	かんざし	青銅	15.3	1.4	0.2	6.0	
192	D区 包含層	釘	鉄	6.8	2.0	1.0	13.7	
193	D区 包含層	釘	鉄	5.05	1.5	0.7	4.44	
194	D区 包含層	釘	鉄	4.3	0.55	0.6	2.71	
195	D区 N-O、12~13 包含層	釘	鉄	5.3	0.7	0.7	4.3	
196	D-1 F-G-2 包含層	釘	鉄	8.3	11.6	-	118.58	



調査前風景（北から）



B区SA1001完掘状況  
(北西から)



B区SG1001完掘状況  
(北東から)

図版 2



C区SA1002完掘状況（南西から）



D区SA1003完掘状況



C区SD1002（左）・  
SK1011（右）完掘状況



D区SK1021完掘状況



D区SX1002完掘状況

図版 4



C区SK1003遺物出土状況



C区SK1004（鉄）出土状況



C区SK1004・1005ベルト除去



C区SK1007（鏟鉢）出土状況



C区SK1008ベルト除去



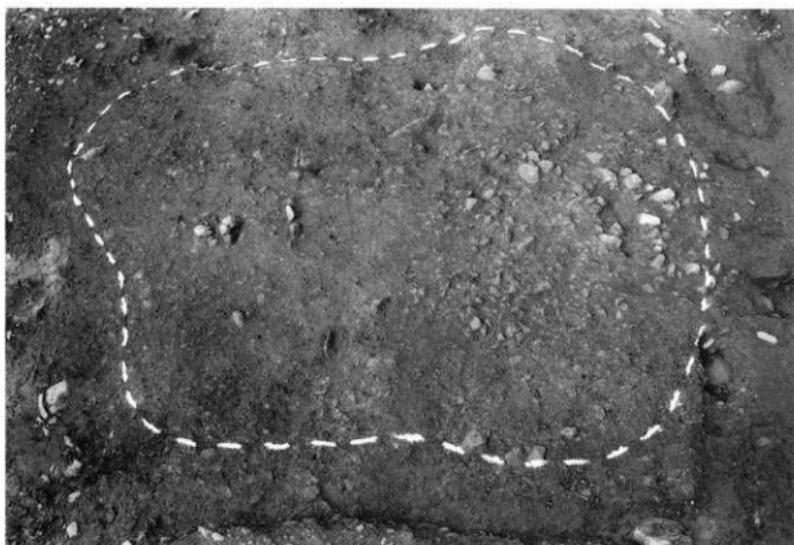
D区SK1021（鏟）出土状況



D区SK1021集積検出状況



D区SK1021遺物出土状況



E区ST1001完掘状况



E区ST1002完掘状况

図版 6



E区ST1001検出状況（北から）



E区ST1001検出状況



F区ST1002検出状況



F区ST1002検出状況（南から）

圖版 8



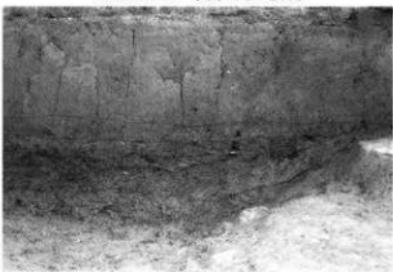
D区SK1030完掘状况



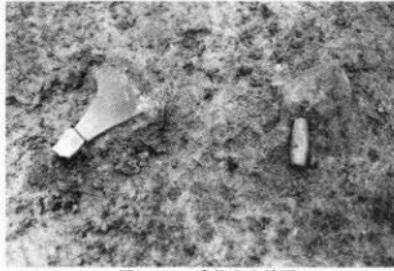
A区SR1001(木)出土状况



F区ST1002(骨)出土状况



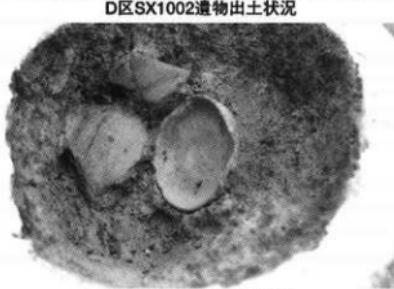
A区SR1001土層断面



D区SX1002遺物出土状况



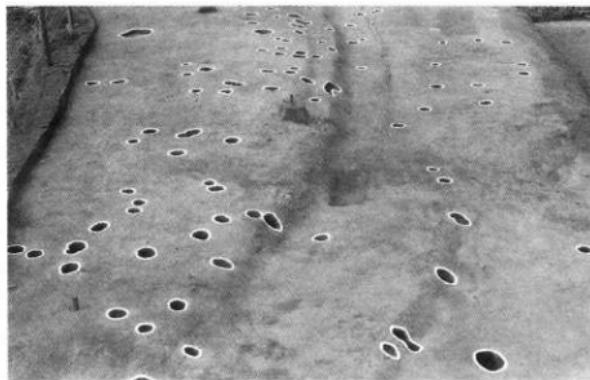
D区SU1006遺物出土状况



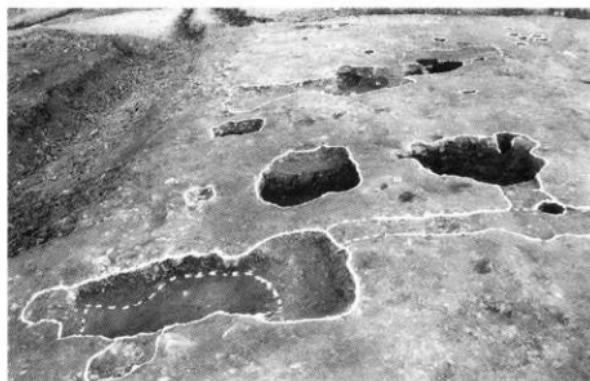
D区SP1325遺物出土状况



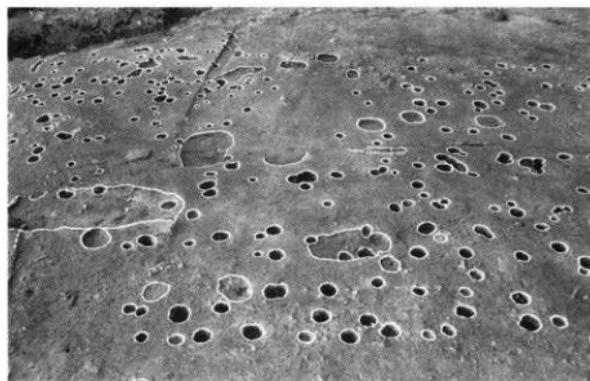
D区SP1329遺物出土状况



B区南半分完掘  
(東から)

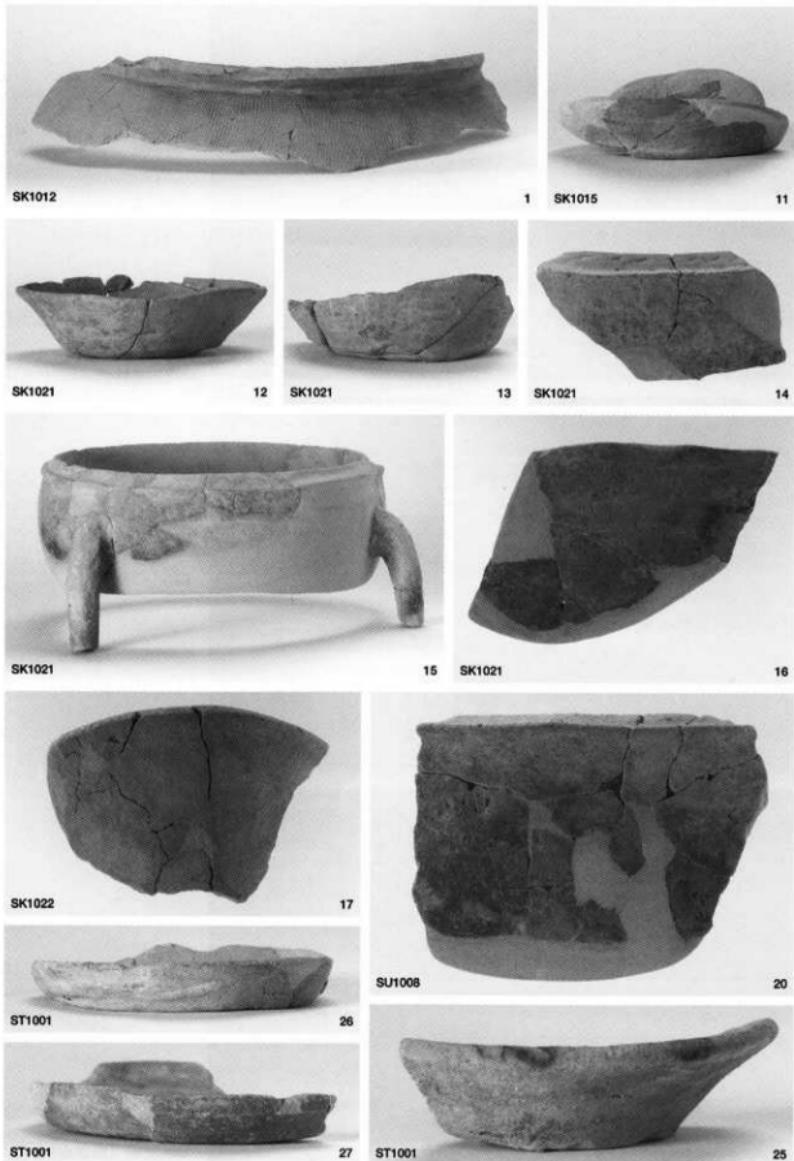


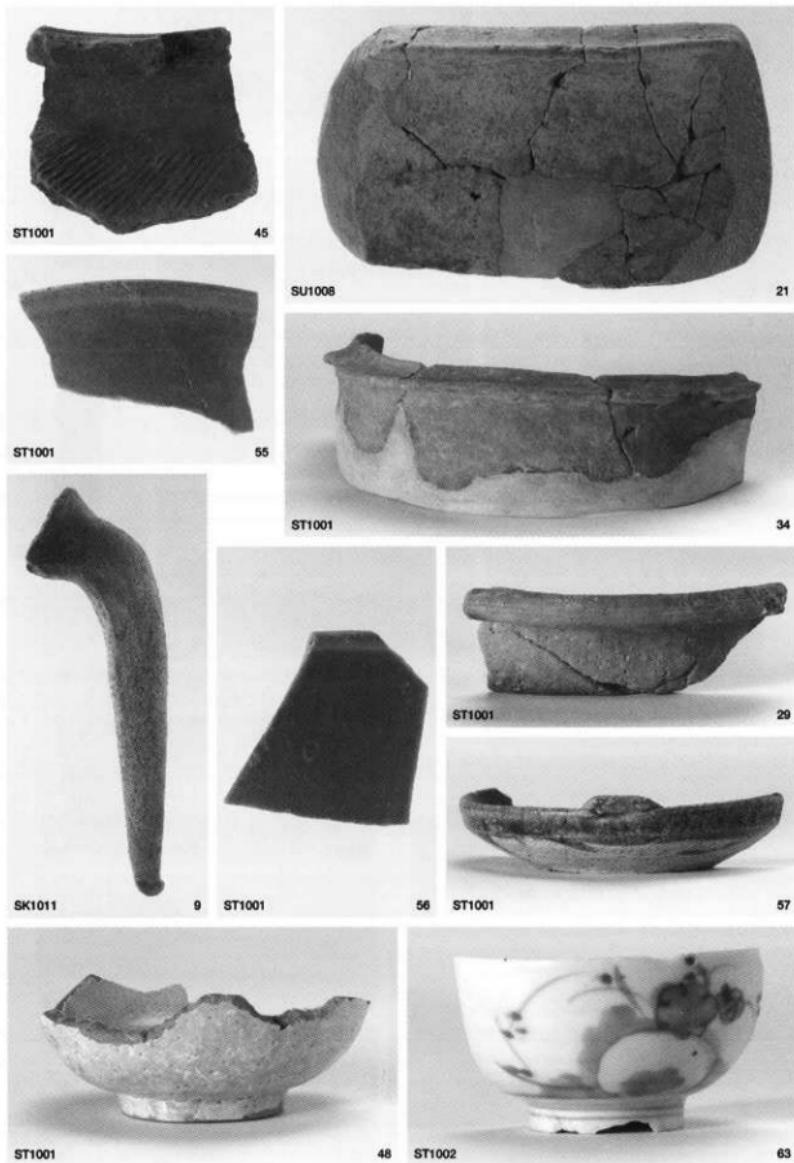
C区完掘 (西から)



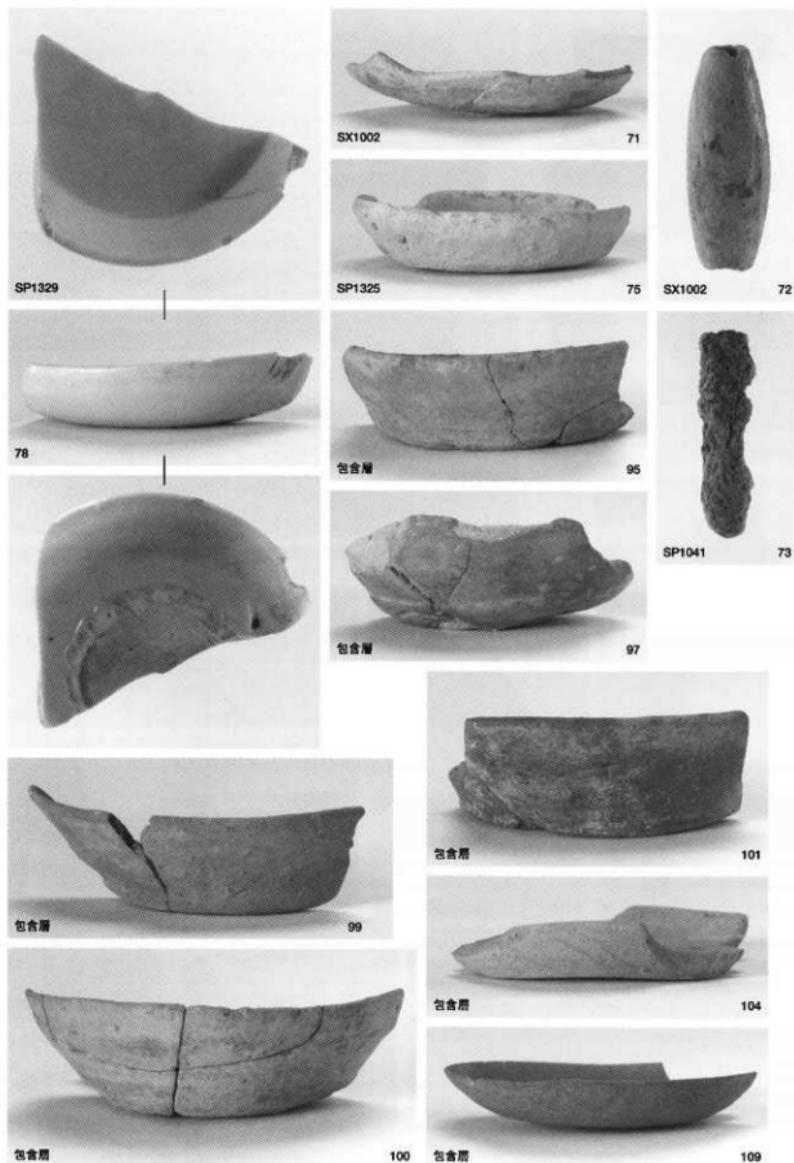
D区完掘 (南から)

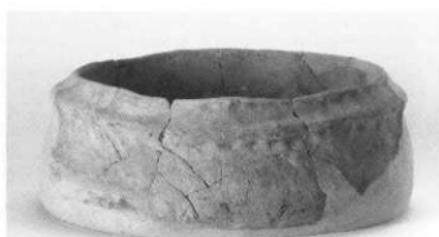
図版10



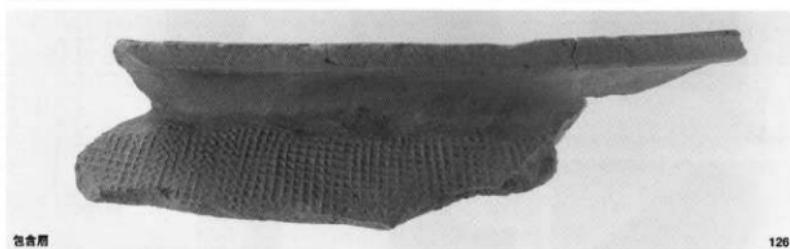


図版12

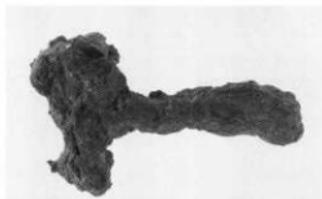




118



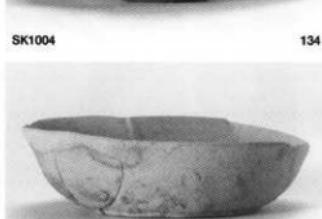
126



143



134



157

SK1030

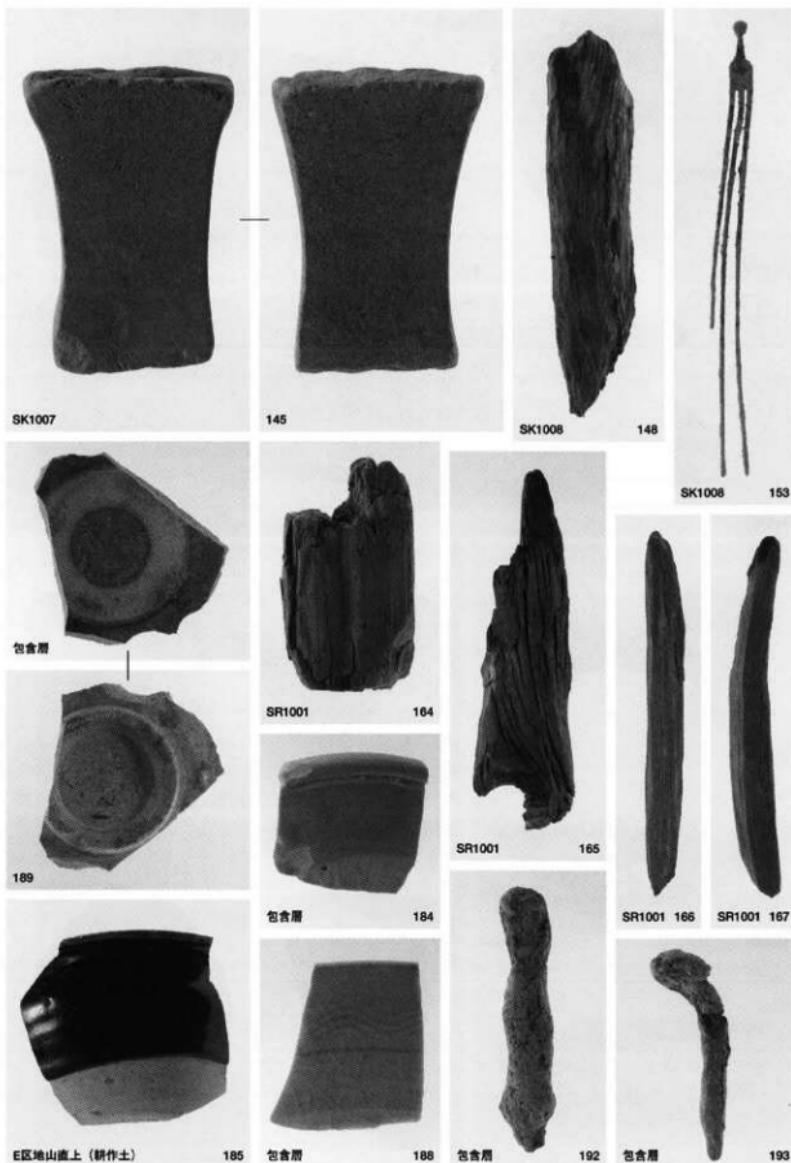
-215-

154 SK1030 155

155

-215-

图版14



## VI 供養地遺跡

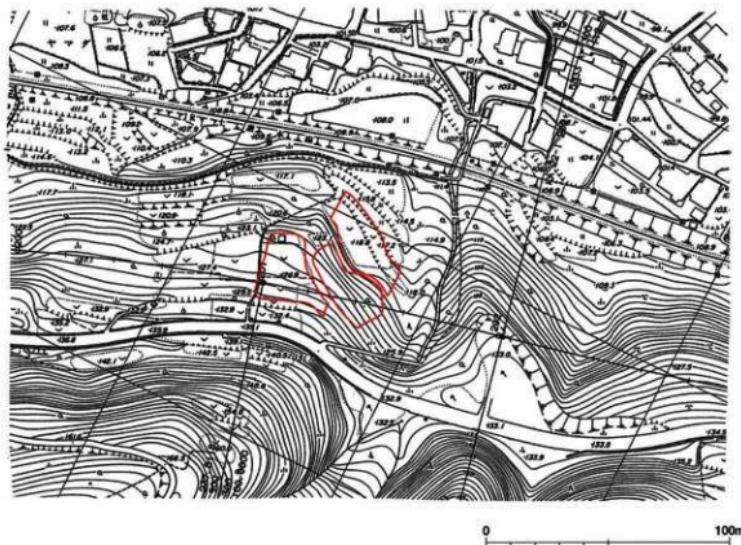
1. 本章は三好郡池田町字クヤウジ4151ほかに所在する供養地遺跡の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査期間および報告書作成の期間は、第Ⅰ章の本文および第2・3表にまとめてあるので、参照されたい。
3. 本章の遺物番号は通し番号とし、本文・挿図・表・図版と一致する。なお、縮尺は3分の1を原則としているが、一部4分の1のものがある。
4. 本遺跡の地理的・歴史的環境については、『四国縦貫自動車道建設に伴う発掘調査報告18 大柿遺跡Ⅰ』徳島県埋蔵文化財センター調査報告書第37集の第Ⅱ章を参照されたい。

# 1 調査の経過

## (1) 調査の経過

供養地遺跡は、吉野川南岸の河岸段丘上に立地し、標高118～130m前後を測る。事前の分布調査の結果や対象地付近に西法寺跡が所在した可能性があることから、試掘調査は対象地を一部変更して行うことが考慮された。

推定された遺跡の範囲のうち、3,728m<sup>2</sup>が調査対象面積とされた。その範囲を平成6年12月5日から試掘調査を開始し、平成7年1月18日に終了した。試掘調査は重機によるトレーナー掘削を行い、111m<sup>2</sup>において実施した。その結果、名子谷よりも西側においては石組み遺構や土坑が確認された。よって、本調査を実施する必要性が生じたため調査面積を1,700m<sup>2</sup>と確定した。本調査は平成7年7月13日 начиная с, 平成8年3月31日に終了した。



第1図 調査地位置図

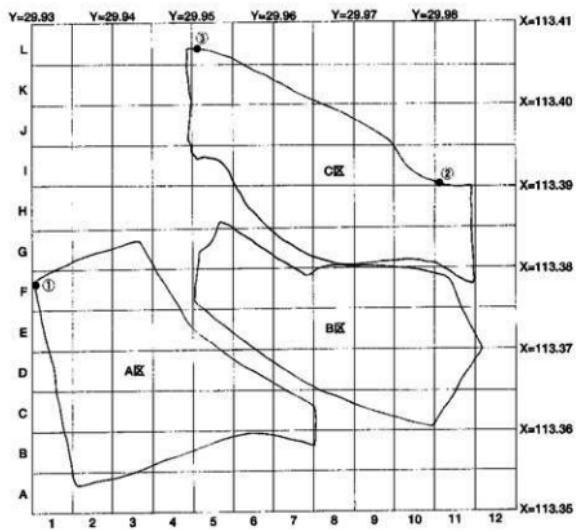
## (2) 発掘調査の方法（第2図）

発掘調査を始めるにあたりグリッドの配置は発掘調査統一基準にならい、第IV系国土座標を基準として、5mメッシュを1グリッドとして調査対象地を包み込むかたちで設定した。南西隅のX = 113.350、Y = 29.930の座標値を起点として北にA、B、C・・・K、L、東に1、2、3・・・11、12の順に番号を振り、その組み合わせで各グリッドを表すことにした。

なお、遺構記号・番号は検出時に決定し、掘削後確定性に乏しいと判断されるものについては欠番とした。また、整理作業の段階において、遺構の性格などを考慮した上で改めて遺構記号・番号の変更を行っている。

## (3) 調査日誌抄

1995(平成7)年	1月11日	C・D区作図終了
7月13日 発掘調査準備(打ち合わせ・準備等)	1月16日	C区遺構配置図作成
10月19日 空撮A・B・C区	1月20日	D区ST1001基底部列石作図
10月25日 C区遺構検出	1月25日	C区ST1001疊除去後作図
10月30日 C区石列断面図作成	1月31日	B区ST1001完掘・空撮
12月19日 空撮A・B・C区	2月1～8日	B区SU1003見通し図作成



第2図 グリッド位置図

2月16日	A区ST1001検出	3月12日	B区SU1002主体部掘削
2月27日	A区ST1001完掘	3月23日	A・B・C区空掘
	A・B・C空掘	3月24日	B区完掘
3月6日	B区SU1002基底部検出	3月29日	とりまとめ、撤収準備
3月9日	B区SU1002主体部検出		

## 2 調査成果

### (1) 基本層序 (第3図)

供養地遺跡は標高120m前後を測る吉野川南岸の河岸段丘上に立地している。調査区の標高は現地表面で最高部130m、最低部115mを測る。調査着手前の現況は、調査地一帯が田地として利用されており、その造成のための削平が著しかった。そのため、削平深度は遺構面までおよんでおり、標高が高い南側の調査区程はとんどの地点で遺物包含層を検出することはできなかった。一方標高が低くなる北側の調査区では比較的包含層が残存していた。したがって、南側の調査区ほど耕作土直下に遺構面(地山)を検出することになる。

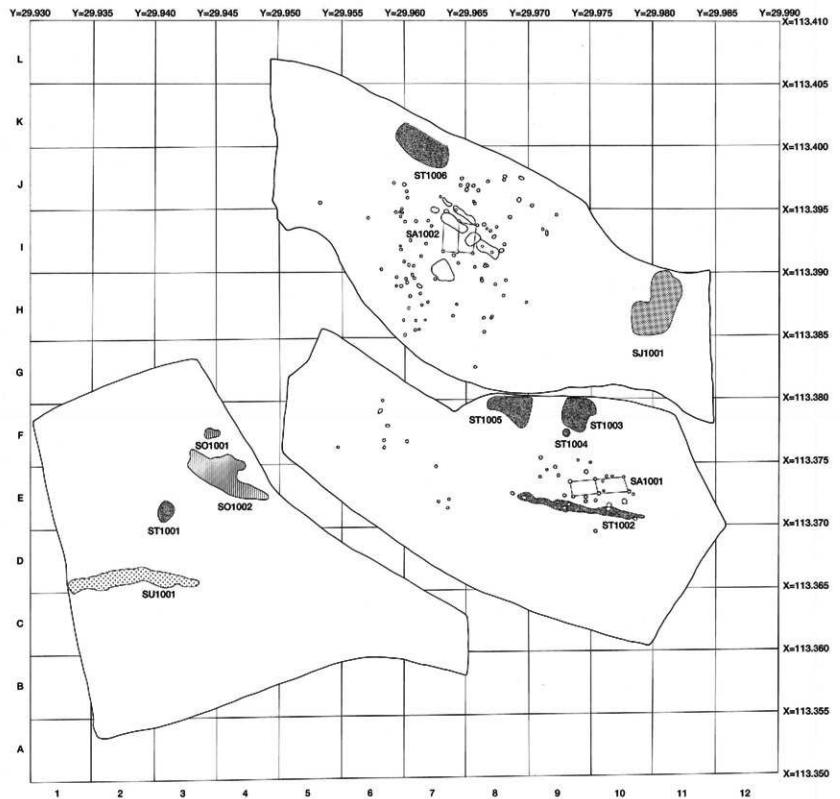
土層の堆積状況については、調査の際に調査区の四壁を観察して土層堆積図を作成している。ここではこの土層堆積図を元にして柱状図を作成し、土層の堆積状況について概略を述べることにする。

第1層は耕作土である。この耕作土は調査地全域に広がりをみせる。第2層はオリーブ褐色を呈する砂質土が堆積するが、部分的にしか残存していない。遺物包含層である。第3層は地山層である。色調は暗オリーブ褐色を呈し、土質は4cm前後の岩盤礫を含む砂質土である。調査地点の南側を中心とした多くが、耕作土直下にこの地山層を確認している。よってこの第3層上面が遺構検出面となる。

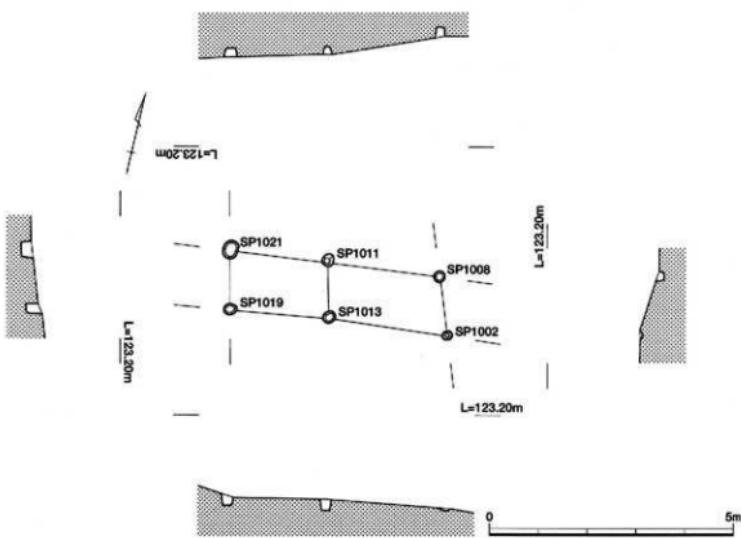


第3図 基本土層柱状図

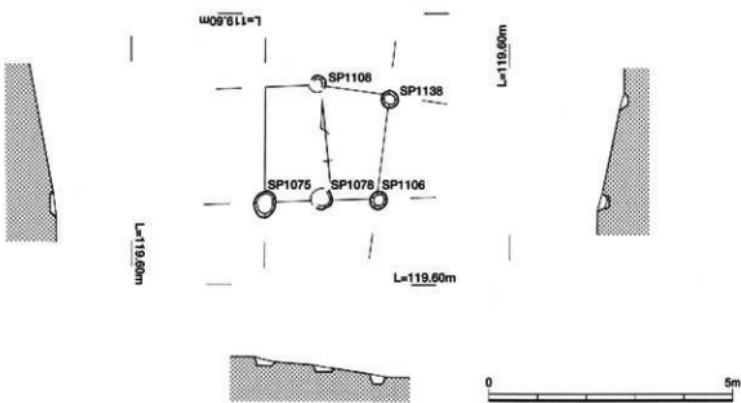




第4図 供養地遺跡構造配置図



第5図 B区SA1001平・断面図



第6図 C区SA1002平・断面図

## (2) 遺構と遺物

### 掘立柱建物跡 (SA)

#### 1号掘立柱建物跡 (SA1001) (第5図)

B区の中央東寄りに位置する。検出グリッドはE-9・10グリッドである。南西から北東に向けての緩やかな下り傾斜地に立地する。建物の平面形状は、わずかに歪んだ長方形を遺構の規模は桁行2間(437cm)×梁間1間(125cm)を測る側柱式である。主軸はN-85°-Eを向く。柱間寸法は桁行側で218.5cm、梁間で125cmを測り、床面積は5.46m<sup>2</sup>を測る。各柱穴の平面形状は円形を呈しており、遺構断面形状はいずれも逆台形を呈する。遺構断面の観察では柱痕跡が確認できたものはなかった。

出土遺物は図化できるものはなかった。

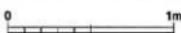
#### 2号掘立柱建物跡 (SA1002) (第6図)

C区の中央やや北寄りに位置する。検出グリッドはI-7・8グリッドである。南西から北東に向けての緩やかな下り傾斜地に立地する。建物の平面形状は、北東側の柱穴がやや南に寄っているためにわずかに歪んだ長方形を呈する。遺構の規模は桁行2間(245cm)×梁間1間(225cm)を測る側柱式である。主軸はN-82°-Wを向く。柱間寸法は桁行側で122.5cm、梁間で225cmを測り、床面積は5.51m<sup>2</sup>を測る。各柱穴の平面形状は円形を呈しており、遺構断面形状はいずれも逆台形を呈する。遺構断面の観察では柱痕跡が確認できたものはなかった。

出土遺物は図化できるものはなかった。



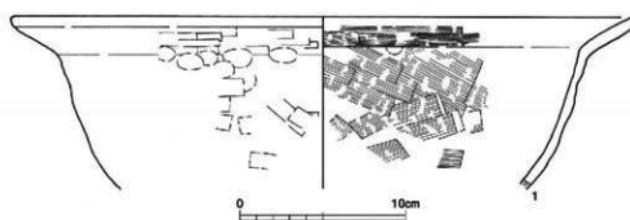
1. 灰黄褐色 10YR4/2 シルト質土 炭化物を極少量含む



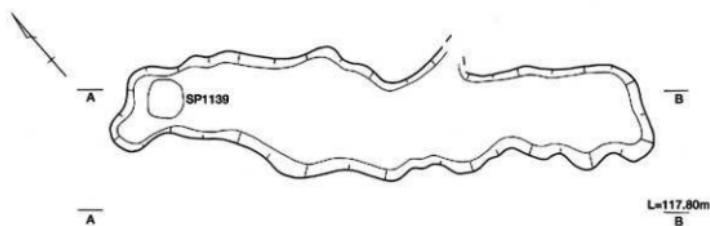
第7図 C区SK1005平・断面図

#### 5号土坑 (SK1005) (第7・8図)

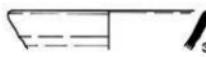
C区の中央に位置する。検出グリッドはI・J-7グリッドである。遺構の北東側は調査区外へと延びるため、遺構の全容は不明である。残存している部分での遺構平面形状



第8図 C区SK1005出土土器



第9図 C区SK1007平・断面図



第10図 C区SK1007出土土器

は方形を呈し、遺構断面形状は浅い船底形を呈する。遺構規模は幅0.56m、深さ0.09mを測り、遺構埋土は灰黄褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。この埋土中には炭化物がかすかに含まれていた。

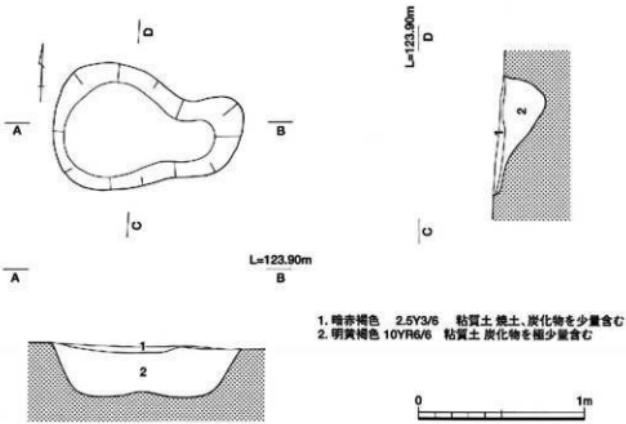
1は土師器の鍋である。

遺構の時期は、出土遺物からみて15世紀末～16世紀初頭にかけてであろうと考えられる。

#### 7号土坑（SK1007）（第9・10図）

C区の中央やや北寄りに位置する。検出グリッドはI・J・7・8グリッドである。遺構の北西側でSP1139を切る。遺構平面形状は不整形な溝状を呈し、遺構断面形状は遺構の底に若干の起伏があるものの浅い逆台形を呈する。遺構規模は長軸3.35m、短軸0.48m、深さ0.17mを測り、遺構埋土は黒褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。この埋土の上層ほど多くの炭化物を含んでいた。

2は土師器の小皿である。3は須恵器の杯である。



第11図 A区SO1001平・断面図

窯跡 (SO)

#### 1号窯跡 (SO1001) (第11図)

A区の中央やや北西寄りに位置する。検出グリッドはE・F-3・4グリッドである。遺構平面形状はいびつな楕円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は長軸1.18m、短軸0.78m、深さ0.32mを測り、遺構埋土は2層に分層することができ、第1層が暗赤褐色を呈し、第2層が明黄褐色を呈する。いずれも粘質土が堆積する。第1層は焼土ブロックや炭化物をわずかに含み全体が焼けていることなどから、この上面で火の使用があったものと考えられる。しかし、窯としての構造はわかるほど遺構規模は大きくななく、また壁体などの遺物も出土していないために詳細を明らかにできなかつたが、隣接するSO1002との関連および出土遺物から近世の瓦焼成窯と思われる。

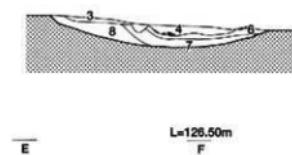
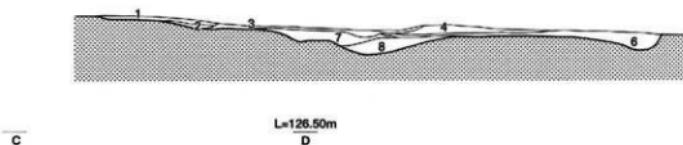
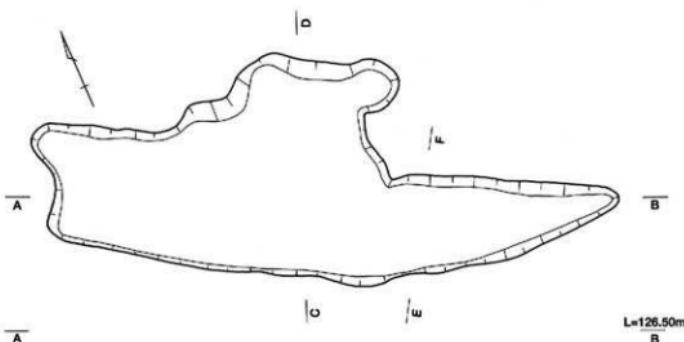
遺物は陶化できるものはなかつたが、近世に属すると思われる瓦片が出土している。

#### 2号窯跡 (SO1002) (第12・13図)

A区の中央やや北側に位置する。SO1001までは直線にして南西3mのところにある。検出グリッドはF-3・4グリッドである。遺構平面形状は不整形を呈し、遺構断面形状はいびつな船底形を呈する。遺構規模は長軸7.26m、短軸2.70m、深さ0.48mを測り、遺構埋土は8層に分層することができた。遺構埋土は、大きくは赤褐色系を呈する粘質土と褐色または黄褐色を呈する粘質土・シルト質土に分けられる。

この赤褐色系を呈する第1・2・4層中に焼土塊とともに瓦片が含まれていた。また、第6層は多量の炭化物を含んでいる様子が確認できた。一方下層にあたる褐色または黄褐色を呈する7・8層には焼土塊、炭化物をはじめ瓦片は含まれていなかつた。つまり遺構の下層において窯の基礎をつくり出し、上面において火の使用があったものと考えられる。しかし、壁体などの遺物もSO1001と同様、出土していないために詳細は不明である。

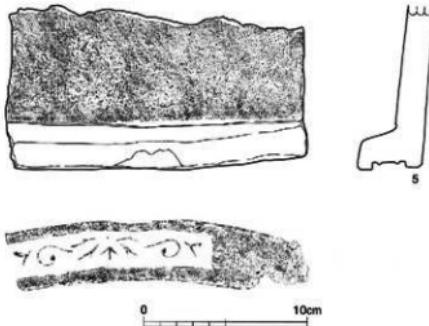
4は土師器の壺の底部である。5は軒平瓦である。



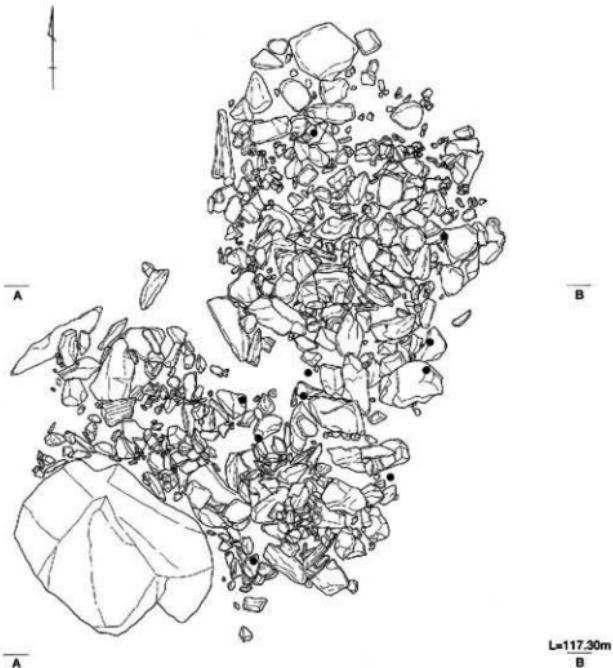
1. 黄褐色 10YR5/6 粘質土 塩化物と瓦片を少々含む
2. 増赤褐色 SYR3/6 粘質土  $\downarrow$  1cm程度の瓦片を多く含む  
魚土層
3. 黄褐色 10YR5/6 粘質土  $\downarrow$  1~1.5cmの殻を多く含む
4. 増赤褐色 SYR3/6 粘質土
5. 棕褐色 7.5YR4/4 シルト質土 塩化物をやや多く含む
6. 黒褐色 7.5YR3/2 粘質土 多量の炭を含む
7. 黄褐色 10YR5/8 粘質土 塩化物を極少量含む
8. 棕色 7.5YR4/6 シルト質土

0 2m

第12図 A区SO1002平・断面図



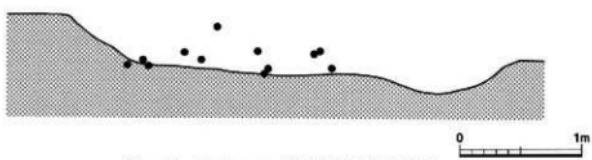
第13図 A区SO1002出土遺物



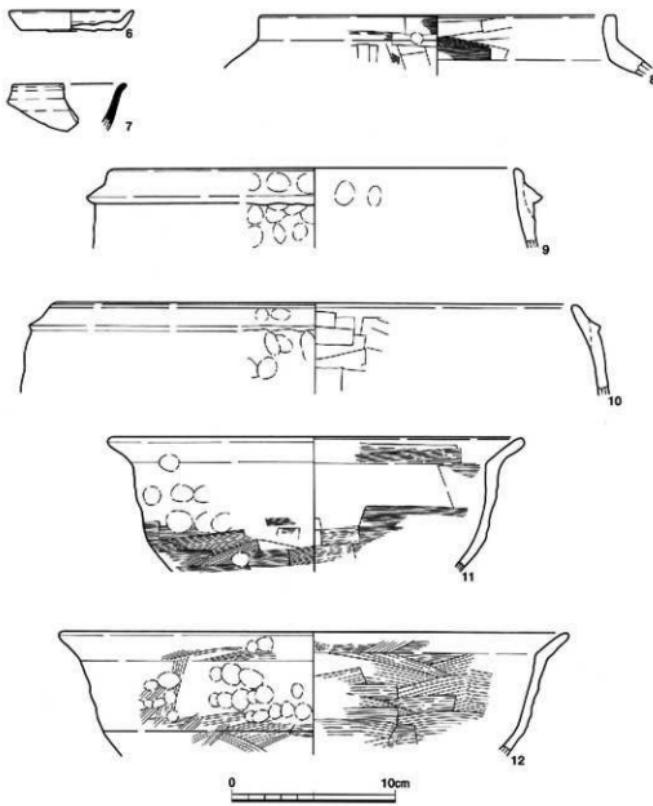
第14図 C区SJ1001平・断面遺物出土状況図



第15図 C区SJ1001出土遺物垂直分布図



第15図 C区SJ1001出土遺物垂直分布図

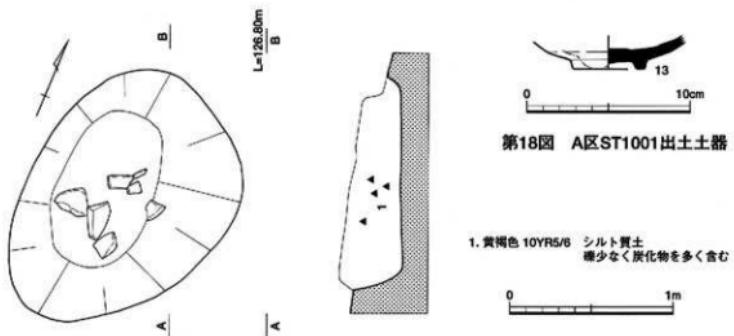


第16図 C区SJ1001出土土器

### 暗渠 (SJ)

#### 1号暗渠 (SJ1001) (第14~16図)

C区の東側に位置する。検出グリッドはII-10・11グリッドである。機械掘削後、岩盤礫を用いた集石が確認され、この礫群の広がりをもって遺構として捉えた。遺構平面形状は不整梢円形を呈する。集石の広がりは長軸5.35m、短軸1.82m、高さ0.56mを測る。岩盤礫の大きさは様々で、 $\phi$  5~60cmを測り、南西端にのみ例外的に $1.5 \times 1.2$ mの巨石を配する。また、とくに集中する部分はなかったが、岩盤礫とはほぼ同サイズの石英礫が所々混じっていた。この集石には板状を呈する礫はほとんど用いられることがなく、そのため列石や順序よく積み上げているといった様子は見られない。また、比較的大型の50~60cm前後の礫の下層には5cm未満の川原石が詰め込まれていた。この礫群は地山を30cmほど掘りく



第17図 A区ST1001平・断面遺物出土状況図

はめたのちに集石されたものと思われる。

なお、発掘調査の時点においても標高116.2~116.3m付近の礫の最下部と地山面の間を水か絶えなく流れていた。地山は、もともとは黄褐色を呈する砂質土であるが、恒常的な流水によりグライ化し色調は緑灰色7.5G Y 5 / 1を呈する。流水方向は、地形が南から北へ下る緩傾斜であるのと同様に南北方向である。

6は土師器の小皿である。7は青磁の碗である。8は土師器の茶釜である。9、10は土師器の羽釜である。11、12は土師器の鍋である。

遺構の時期は、青磁碗など若干古い要素がみられるものの、土師器の小皿や羽釜からみて15世紀末~16世紀初頭頃におさまるものと考えられる。

### 中世墓（ST）

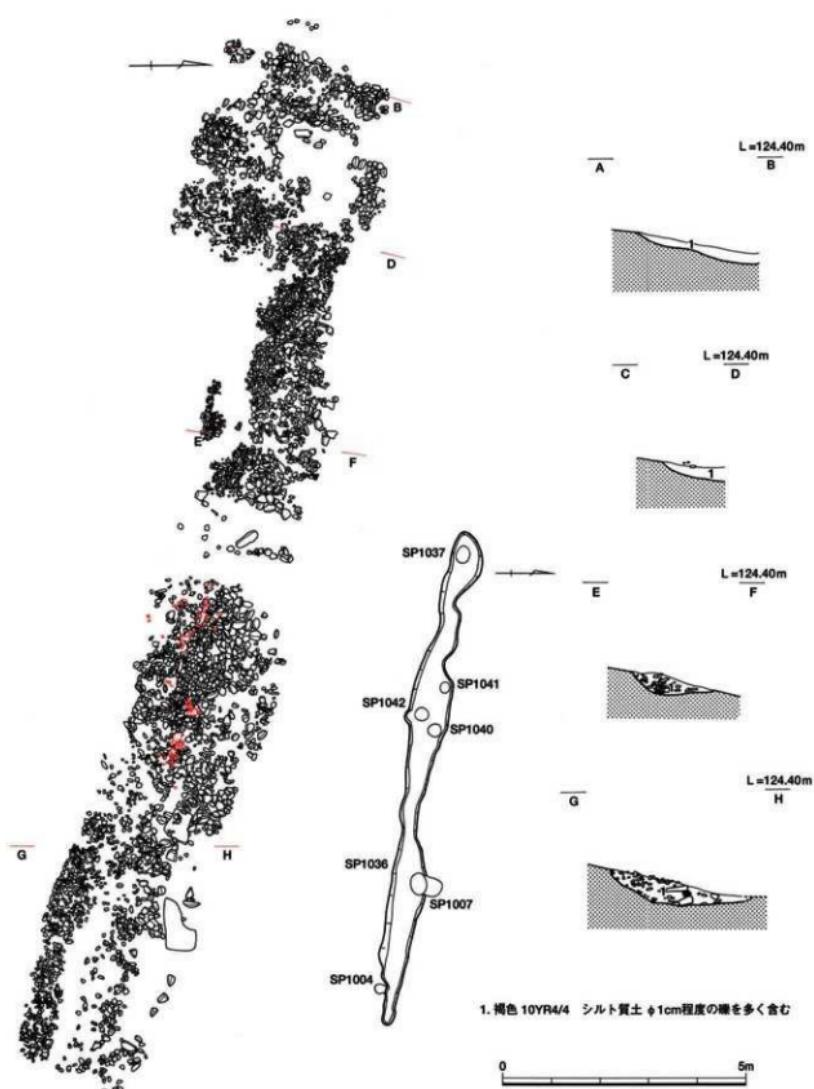
#### 1号中世墓（ST1001）（第17・18図）

A区の中央やや北寄りに位置する。検出グリッドはE-3グリッドである。遺構平面形状は南北に長軸をもつ楕円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は長軸1.68m、短軸1.23m、深さ0.39mを測る。遺構埋土は黄褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。埋土中には炭化物を多く含んでいる様子が確認できた。

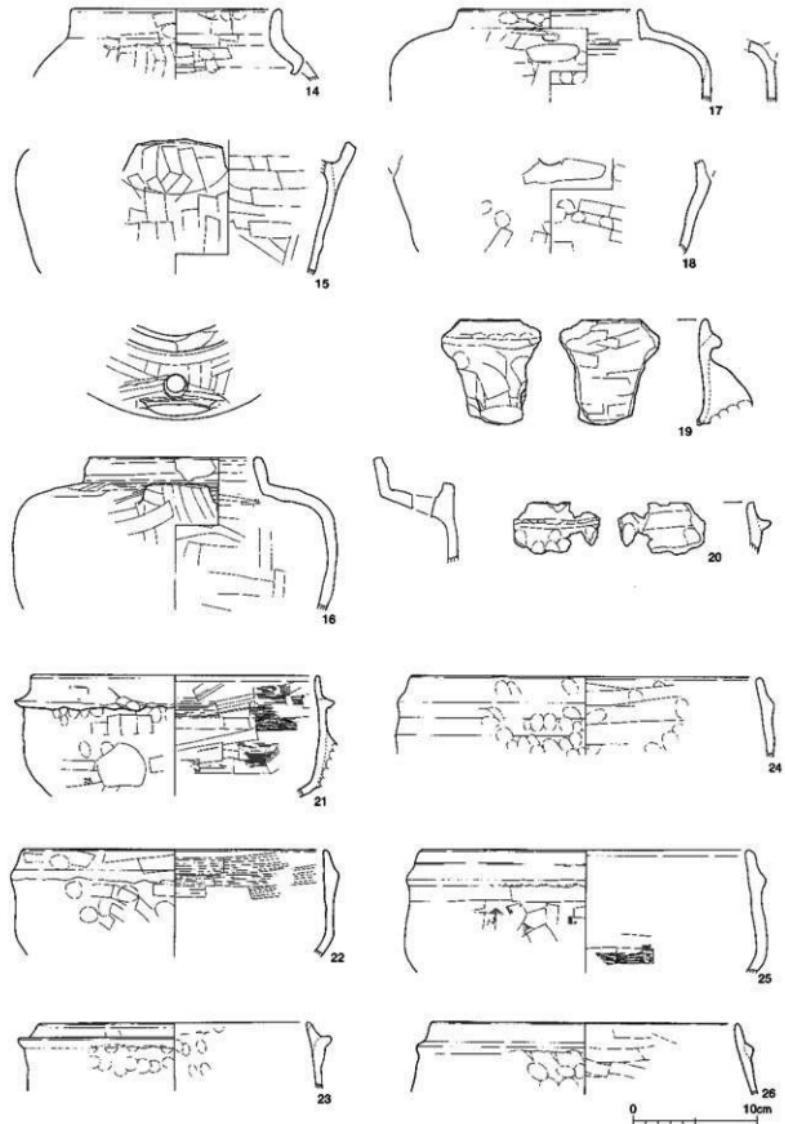
13は陶器の碗である。

#### 2号中世墓（ST1002）（第19~23図）

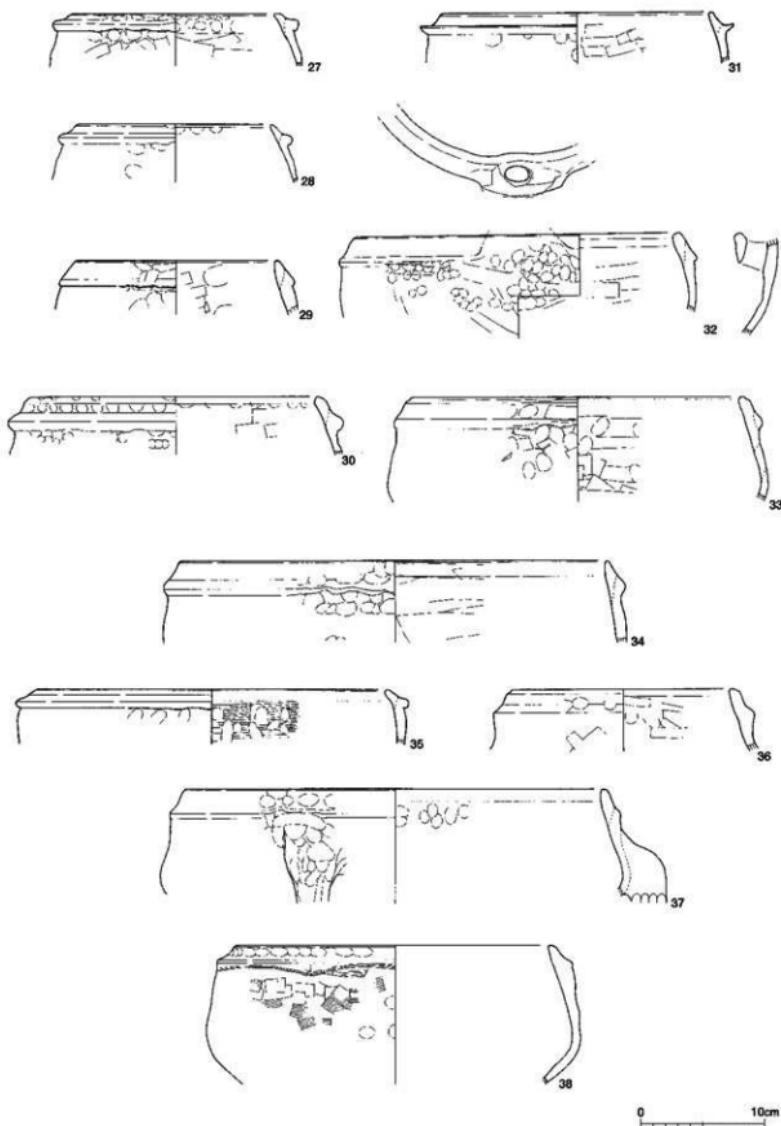
B区の東側に位置する。検出グリッドはE-8~10グリッドである。機械掘削後、機械掘削後、岩盤礫を用いた集石が確認され、この礫群の広がりをもって遺構として捉えた。遺構平面形状は東西に細長い形状を呈する。集石の広がりは長軸21.5m、短軸1.6m、高さ0.7mを測る。岩盤礫の大きさはφ10~20cmを測る比較的小型の礫が多く、東側にのみ例外的に0.6×1mの巨石を配する。また、とくに集中する部分はなかったが、岩盤礫とほぼ同サイズの石英礫が所々混じっていた。この集石には板状を呈す



第19図 B区ST1002平・断面遺物出土状況図

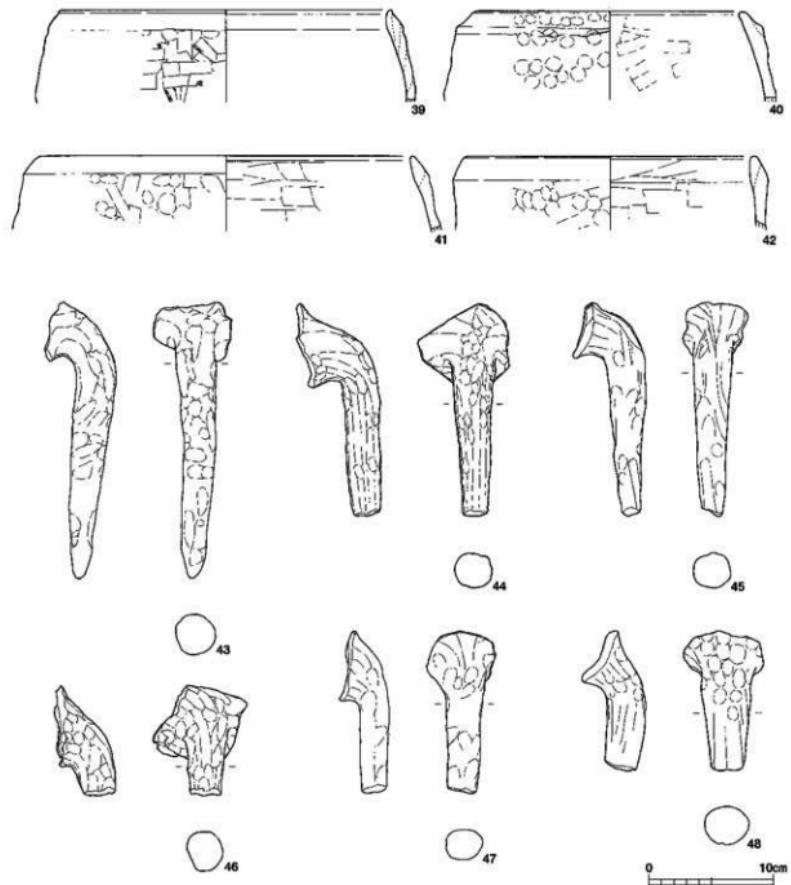


第20図 B区ST1002出土土器 (1)



第21図 B区ST1002出土土器 (2)

0 10cm

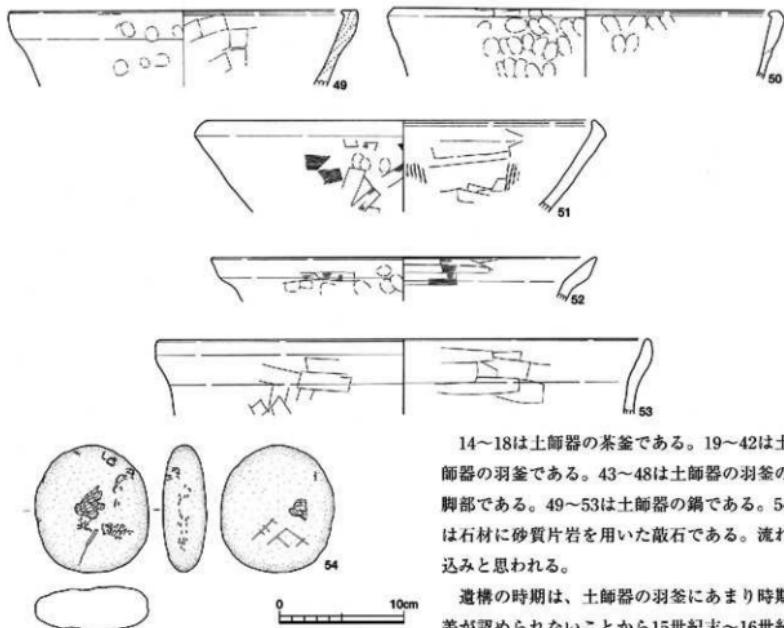


第22図 B区ST1002出土土器（3）

る礫はほとんど用いられることなく、礫を無造作に集積し被覆していた様子が確認できた。

この礫群を除去したところ、東側において東西に主輪をもつ溝状の遺構が確認された。この溝状の遺構は総延長10.3m、最大幅0.9m、深さ0.8mを測り、SP1007、1036に切られ、SP1004、1037、1040、1041、1042を切る。

遺物は礫群中から出土し、すべて破片であった。出土位置も比較的限られ、集石中央の礫が希薄な部分から東側の礫が密集して確認された範囲のなかに集中している。おそらくこの範囲において何らかの祭祀行為が行われたのであろうと考えられるが、その痕跡をとどめるものの検出は皆無であったため詳細は不明である。



第23図 B区ST1002出土遺物(4)

14~18は土師器の茶釜である。19~42は土師器の羽釜である。43~48は土師器の羽釜の脚部である。49~53は土師器の鍋である。54は石材に砂質片岩を用いた敲石である。流れ込みと思われる。

遺構の時期は、土師器の羽釜にあまり時期差が認められないことから15世紀末~16世紀初頭にかけて幕が構築されたのであろうと思われる。

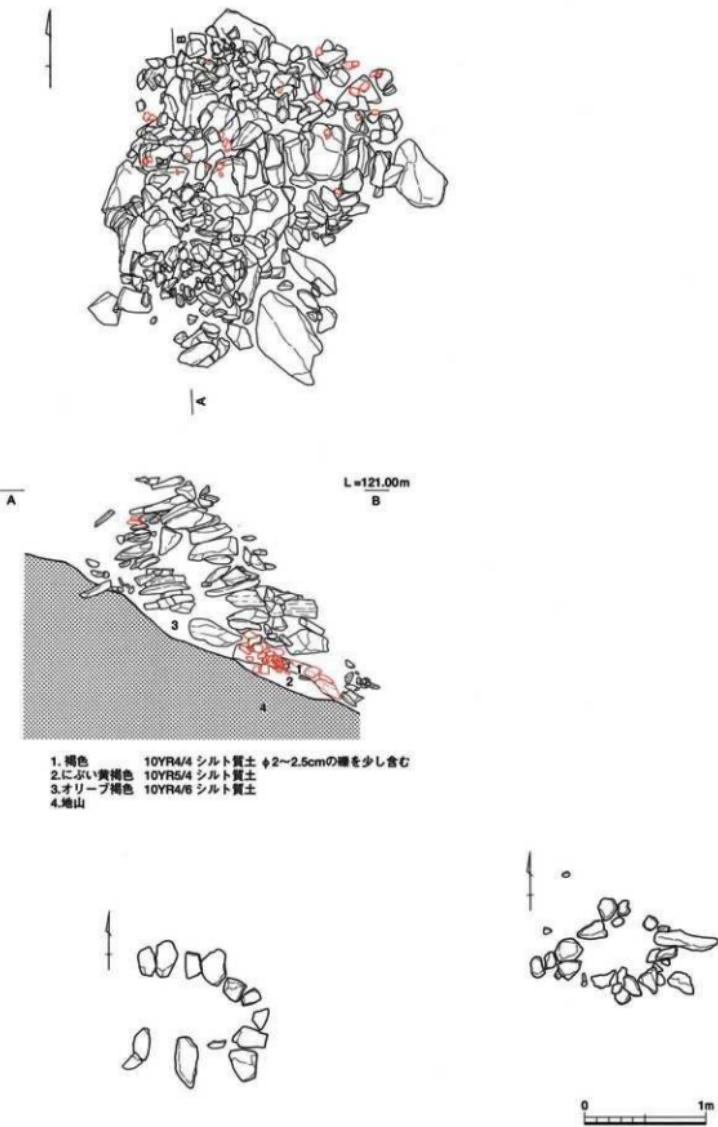
### 3号中世墓(ST1003)(第24~26図)

B区の北側に位置する。検出グリッドはF・G-9・10グリッドである。機械掘削後、岩盤碟を用いた集石が確認され、この碟群の広がりをもって遺構として捉えた。東側に向かって傾斜する部分に占地しており、標高が低い側に大振りな碟を積み上げ、基壇としている。その上には板状の碟を用いて徐々に積み上げ最後には小碟を用いて全面を被覆している。遺構規模は長軸2.97m、短軸1.88m、高さ1.82mを測る。

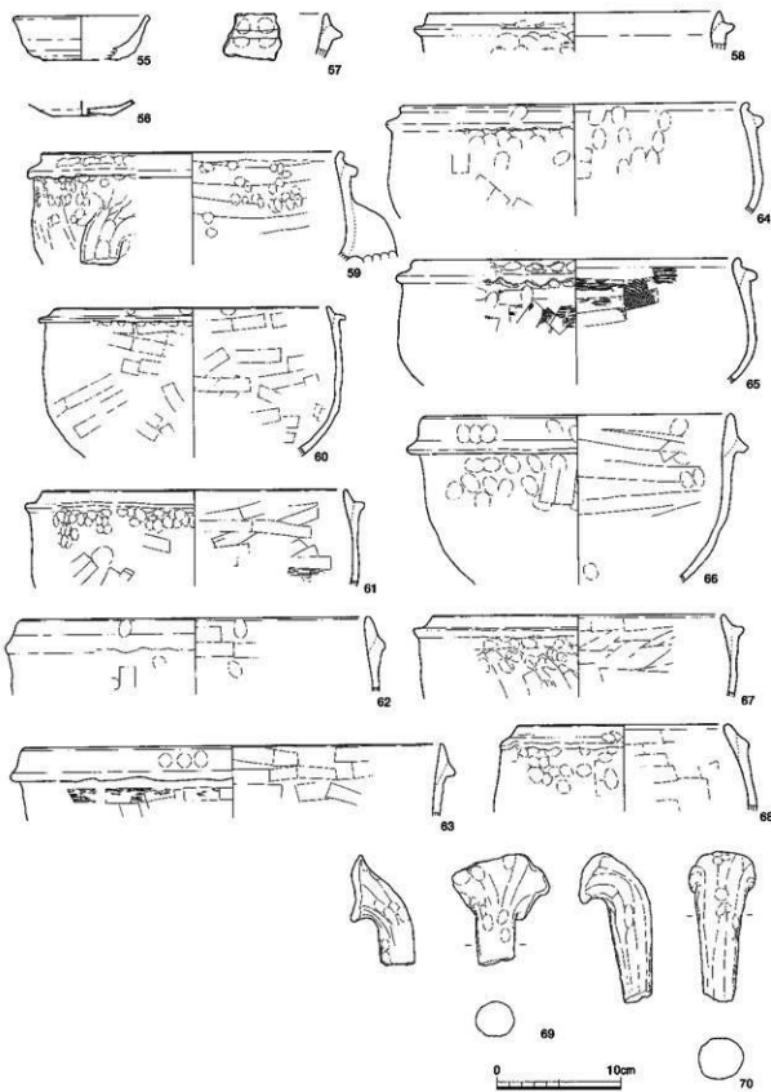
この被覆された小碟を除去すると、埋葬施設と思われる石列が2基確認された。北側を1号埋葬施設、南側を2号埋葬施設とする。1号埋葬施設は、長軸0.3m、短軸0.1~0.2mを測る板状の碟を用い、西側が途切れる「コ」の字状に碟を配する。遺構規模は一辺1.2mを測る方形を呈する。施設の内部は東西に主軸をもつ楕円形を呈する。2号埋葬施設は、直径0.2m前後を測る角碟を用い、東西方向に長軸をもつ楕円形に碟を配する。遺構規模は長軸1.36m、短軸0.9mを測る。

遺物は埋葬施設に伴うものは確認できなかったが、いずれも破片の状態で遺構の北側を中心に出土している。とくに集中する部分がみられないことから、破片を散布した可能性が考えられる。

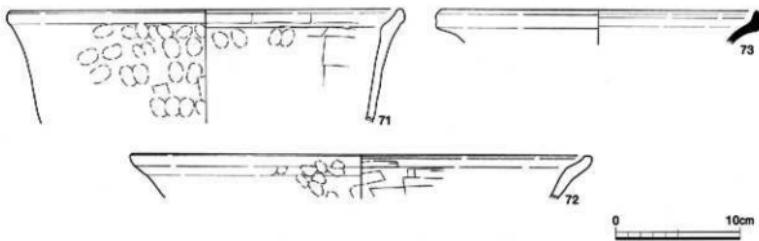
55、56は土師器の杯である。57~68は土師器の羽釜である。69、70は土師器の羽釜の脚部である。71、72は土師器の鍋である。73は須恵器の捏ね鉢である。



第24図 B区ST1003平・断面遺物出土状況図



第25図 B区ST1003出土土器 (1)



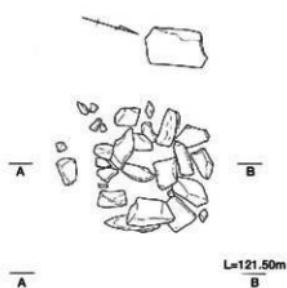
第26図 B区ST1003出土土器（2）

遺構の時期は、土師器の羽釜にあまり時期差が認められないことから15世紀末～16世紀初頭にかけて構築されたのであろうと思われる。

#### 4号中世墓（ST1004）（第27・28図）

B区の北東側に位置する。検出グリッドはF-9グリッドである。機械掘削後、岩盤礫を用いた集石が確認され、この礫群の広がりをもって遺構として捉えた。礫群は10～20cm前後の角礫あるいは板石を用いて方形を意識して配置されていたが、とくに面を揃えるところまでは見受けられない。また、東側など一部石を積み上げている部分が検出できたが、それ以外で石積みの様子は確認できなかった。石積みの中央部分には小礫などの充填ではなく、地山土が露出しているおり、この地山も遺構を構築するに伴って整地するなどの痕跡はなかった。遺構平面形状は東西にわずかに長い形状を呈する。集石の広がりは長軸0.64m、短軸0.54m、高さ0.22mを測る。

74は土師器の杯である。



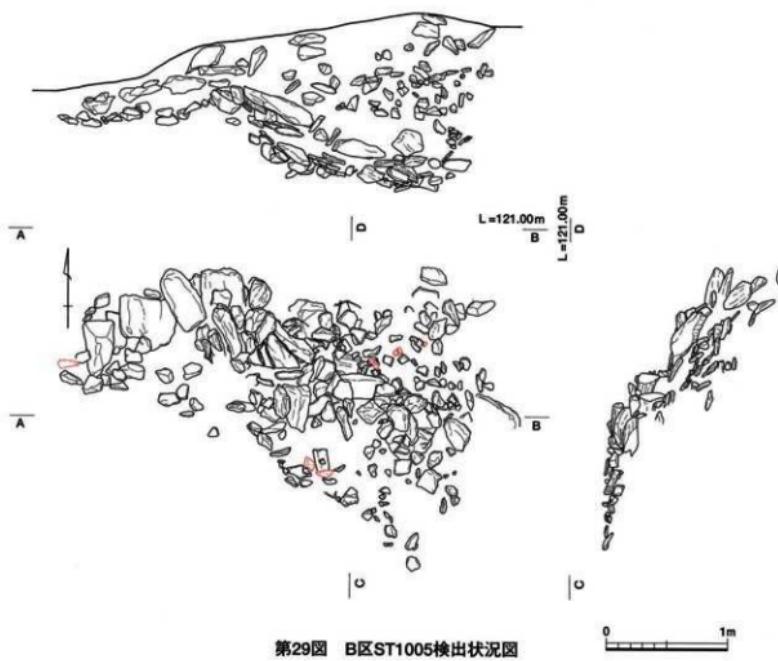
第27図 B区ST1004平・断面遺物出土状況図

#### 5号中世墓（ST1005）（第29・30図）

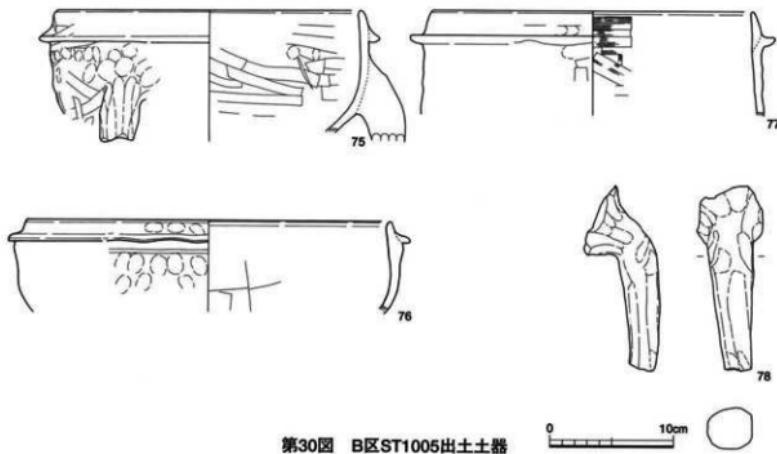
B区の北側に位置する。検出グリッドはF-8・9グリッドである。北側に向けて下る傾斜部分に占地する。機械掘削後、岩盤礫を用いた集石が確認され、この礫群の広がりをもって遺構として捉えた。遺構の北西側には長軸0.5m、短軸0.3～0.4mを測る大振りな板状礫を配し、ある程度面を揃えるようにして積み上げている。それ以外には直径0.1～0.2m前後を測る角礫を用いて被覆しているのみで石列はみられない。しかし、傾斜の低い部分が調査区外にあたるため、石列は調査区外まで延びる可能性がある。遺構規模は長軸3.8m、短軸3.54m、高さ1.32mを測る。



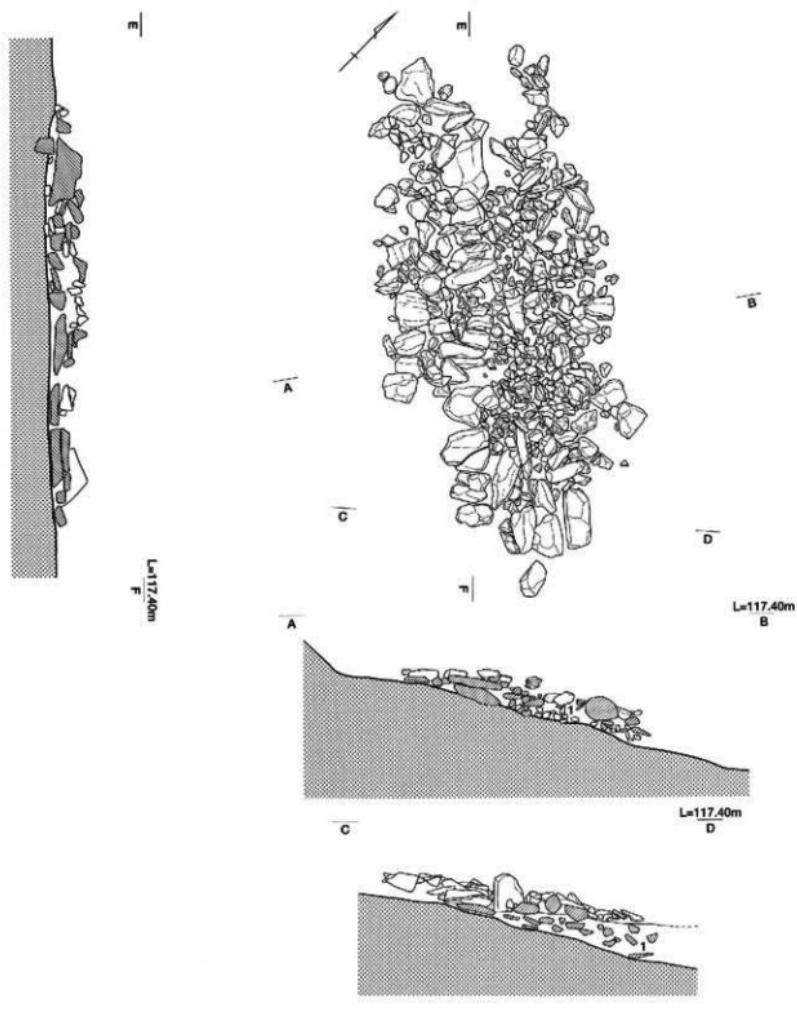
第28図 B区ST1004出土土器



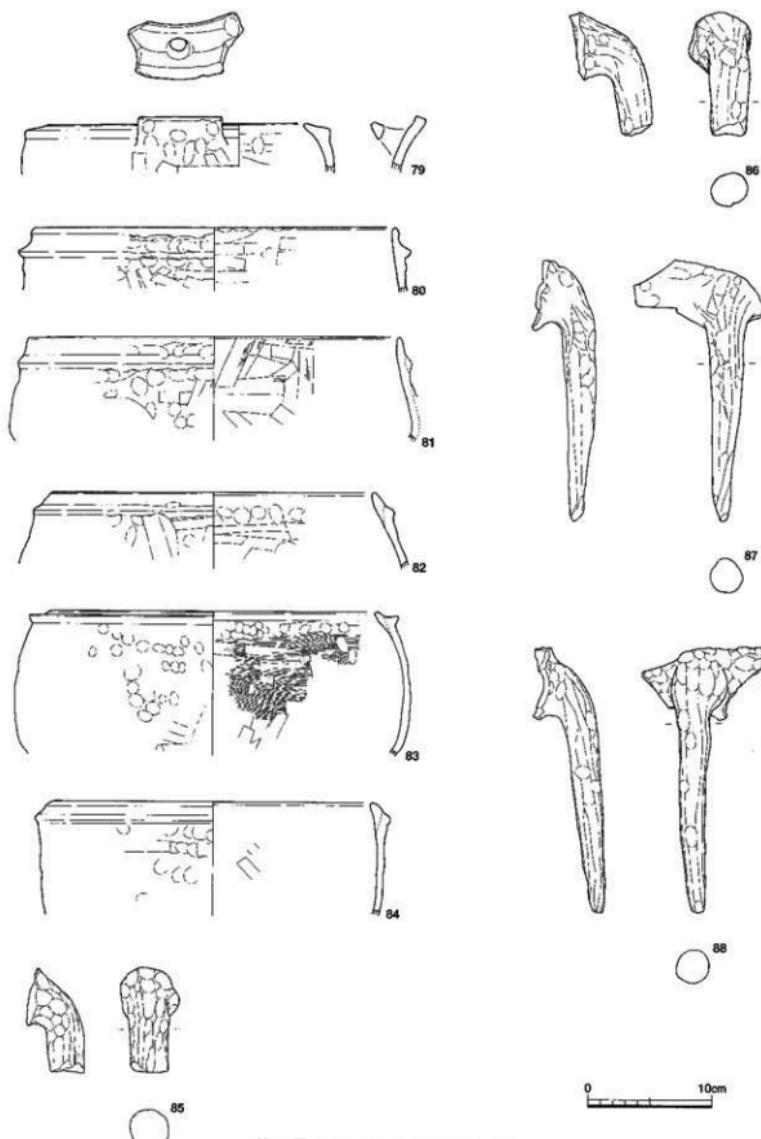
第29図 B区ST1005検出状況図



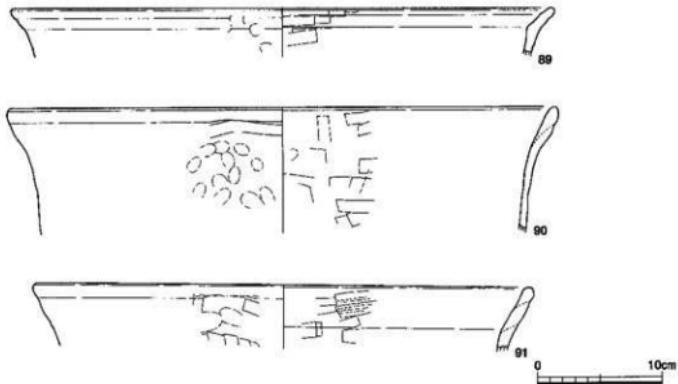
第30図 B区ST1005出土土器



第31図 C区 ST1006平・断面遺物出土状況図



第32図 C区ST1006出土土器 (1)



第33図 C区ST1006出土土器（2）

遺物はすべて破片の状態で、いずれも土師器の羽釜が出土している。とくに集中して出土する部分もみられず、被覆している礫の間からまばらに出土している。

75～78は土師器の羽釜である。

造構の時期は、出土遺物に若干の時期差があり、15世紀初頭に構築されたものと考えられる。この出土遺物の時期差がそのまま造構の構築時期から廃絶時期までを示すものとは考えられない。

#### 6号中世墓（ST1006）（第31～33図）

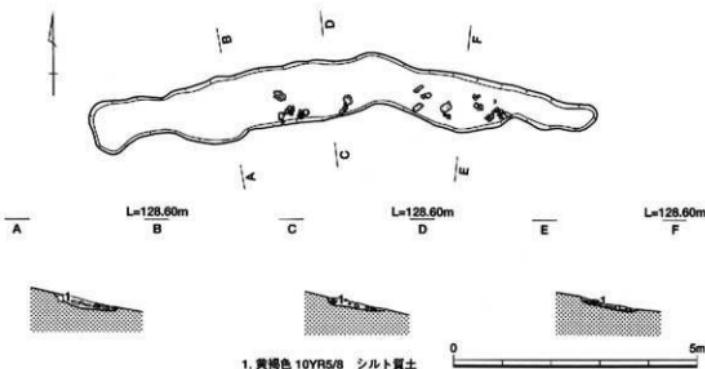
C区の北西側に位置する。検出グリッドはJ・K-6・7グリッドである。北側から北東側にかけて下る傾斜部分に占地している。機械掘削後、岩盤礫を用いた集石が確認され、この礫群の広がりをもって造構として捉えた。造構の南東側と南西側の一部には長軸0.4～0.5m、短軸0.2m前後を測る板石の小口部分を揃え、石列をなしている。造構の平面形状は北西～南東方向に主軸を持つ楕円形を呈しているが、石列の延長線を復元してみると長方形を意識していたことがうかがえる。また、前述の板石を方形に配し基壇としその上にもう一段板石を積み上げ、基底部を構築している。その後直径10cm未満の小礫を用いて造構全体を被覆している。造構規模は長軸4.54m、短軸1.96m、高さ0.64mを測る。

遺物はすべて破片の状態で、土師器の羽釜を中心として出土しており、そのほかに土師器の茶釜や鍋など煮沸具に限られる。とくに集中して出土する部分もみられず、被覆している礫の間からまばらに出土している。

被覆小礫の除去後埋葬施設などは確認できなかったが、石列をもち煮沸具に限定された土器片が造構全体からまばらに出土していることなどをあわせて中世墓であると判断した。

79～84は土師器の羽釜である。85～88は土師器の羽釜の脚部である。89～91は土師器の鍋である。

造構の時期は、土師器の羽釜にあまり時期差が認められないことから15世紀末～16世紀前半にかけて構築されたのであろうと考えられる。



第34図 A区SU1001平・断面遺物出土状況図

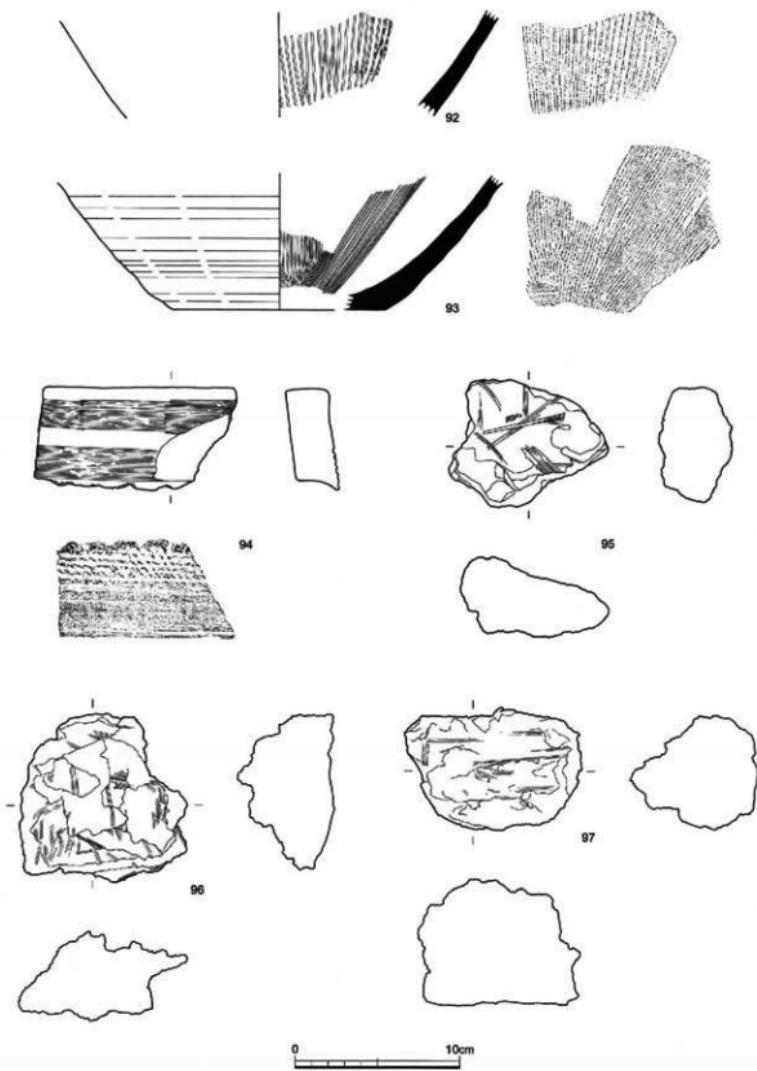
### 集石遺構 (SU)

#### 1号集石遺構 (SU1001) (第34・35図)

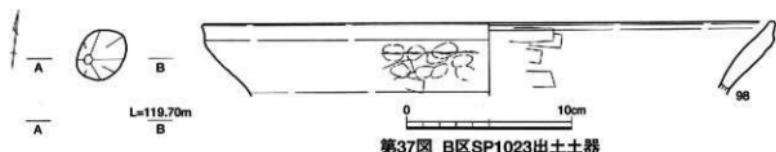
A区の西側に位置する。検出グリッドはD-1～3グリッドである。遺構平面形状は、東西方向に長軸をもつやや不整形な溝状を呈する。遺構断面形状は浅い逆台形を呈する。遺構規模は長軸10.45m、短軸0.65m、深さ0.35mを測る。遺構埋土は、黄褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。この遺構内のほか全面において直径0.1～0.4m大の礫を検出した。使用されている礫は岩盤の角礫が多く用いられているが、東側および西側の遺構端部付近には一部砂岩や石英を含む結晶片岩の円礫が敷き詰められていた。遺構形状が溝状を呈し、遺構のほか全面において礫が検出できていることから暗渠構造をもつ遺構とすることも考えられたが、遺構内にはシルト質土が堆積し、流水および滯水状況を示す埋土の堆積がみられないことから集石遺構と判断した。

遺物はすべて破片であり、礫群の隙間に混じるようにして、遺構中央およびやや東寄りの位置で出土している。

92・93は陶器の擂り鉢である。94は瓦器である。火鉢であろうか。95～97は壁土の一部である。このほか固化していないが瓦片や石臼などが出土している。



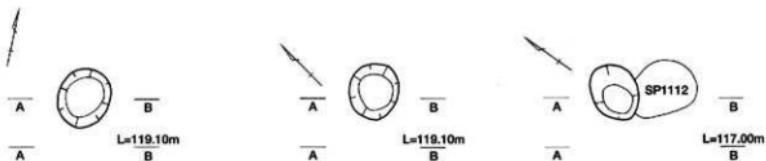
第35図 A区SU1001出土遺物



第37図 B区SP1023出土土器



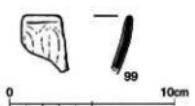
第36図 B区SP1023平・断面図



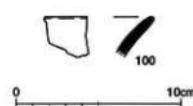
第38図 C区SP1047平・断面図

第40図 C区SP1059平・断面図

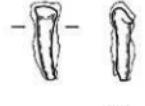
第42図 C区SP1113平・断面図



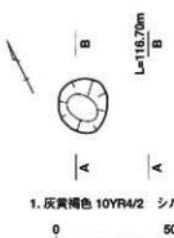
第39図 C区SP1047出土土器



第41図 C区SP1059出土土器



第43図 C区SP1113出土土器



第44図 C区SP1118平・断面図



第45図 C区SP1118出土土器

### 柱穴・小穴 (SP)

#### 23号小穴 (SP1023) (第36・37図)

B区の中央やや東よりに位置する。検出グリッドはE-9グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状はいびつな三角形を呈する。遺構規模は径0.23m、深さ0.13mを測り、遺構埋土はオリーブ褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

98は土師器の壺である。

#### 47号小穴 (SP1047) (第38・39図)

C区の南西側に位置する。検出グリッドはH-7グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状はいびつな逆台形を呈する。遺構規模は径0.25m、深さ0.23mを測り、遺構埋土は褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。遺構内には周辺にも多数みられる結晶片岩の岩盤疊がやや多く含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

99は青磁の碗である。

#### 59号小穴 (SP1059) (第40・41図)

C区の南西側に位置する。検出グリッドはH-6グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状はいびつな船底形を呈する。遺構規模は径0.23m、深さ0.13mを測り、遺構埋土はにぶい黄褐色を呈する砂質土が堆積する単一層である。遺構内の上部には青磁碗の破片とともに炭化物がわずかに含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

100は青磁の碗である。

#### 113号小穴 (SP1113) (第42・43図)

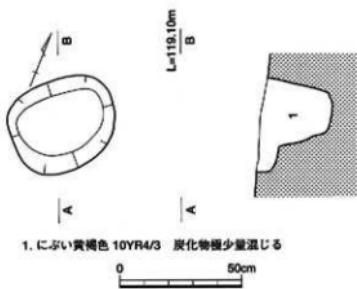
C区の北側に位置する。検出グリッドはJ-8グリッドである。遺構の南東側でSP1112を切る。遺構平面形状は南北に長軸をもつ梢円形を呈し、遺構断面形状は船底形を呈する。遺構規模は径0.24m、深さ0.22mを測り、遺構埋土はにぶい黄褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

101は鉄製の釘である。

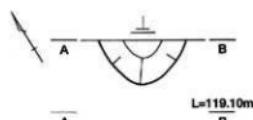
#### 118号小穴 (SP1118) (第44・45図)

C区の北側に位置する。検出グリッドはJ-8グリッドである。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状は逆台形を呈する。遺構規模は径0.22m、深さ0.16mを測り、遺構埋土は灰黄褐色を呈するシルト質土が堆積する単一層である。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

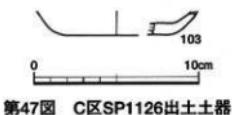
102は土師器の小皿である。



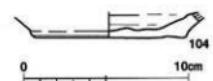
第46図 C区SP1126平・断面図



第48図 C区SP1141平・断面図



第47図 C区SP1126出土土器



第49図 C区SP1141出土土器

### 126号小穴 (SP1126) (第46・47図)

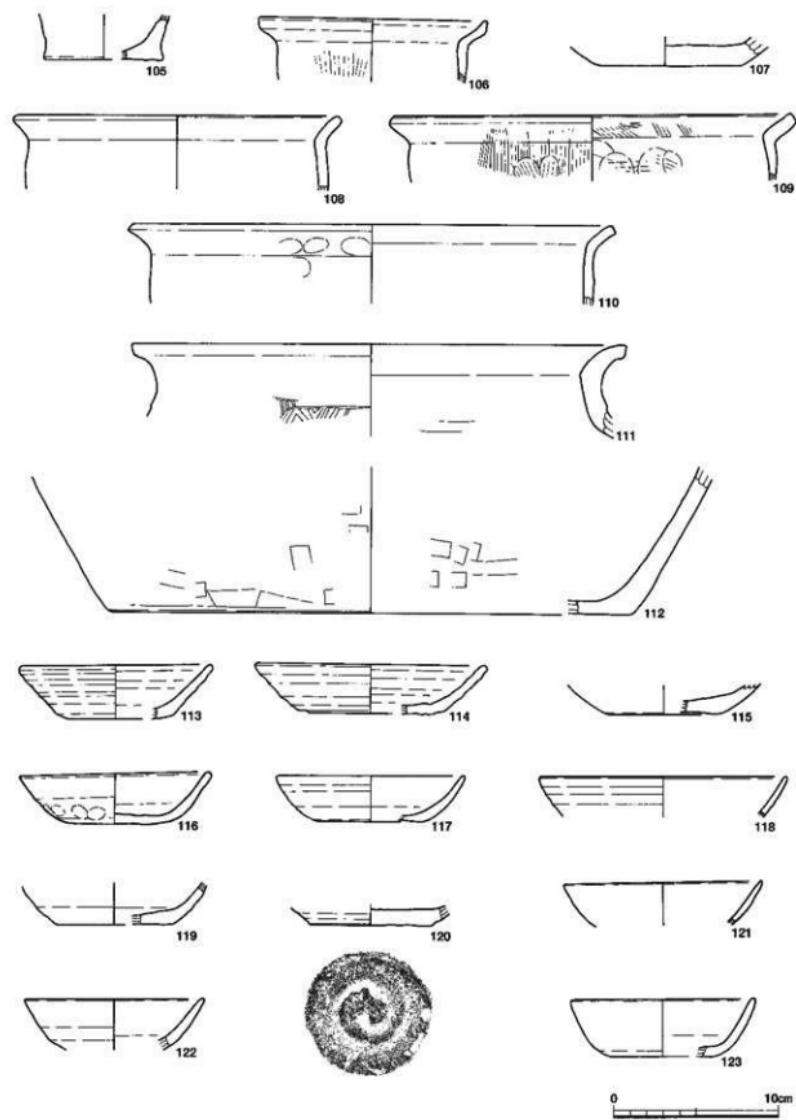
C区の西側に位置する。検出グリッドはI-6グリッドである。遺構平面形状は不整円形を呈し、遺構断面形状はいびつな逆台形を呈する。遺構規模は径0.44m、深さ0.31mを測り、遺構埋土はにぶい黄褐色を呈する砂質土が堆積する単一層である。遺構内には炭化物がかすかに含まれていた。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

103は土師器の杯である。

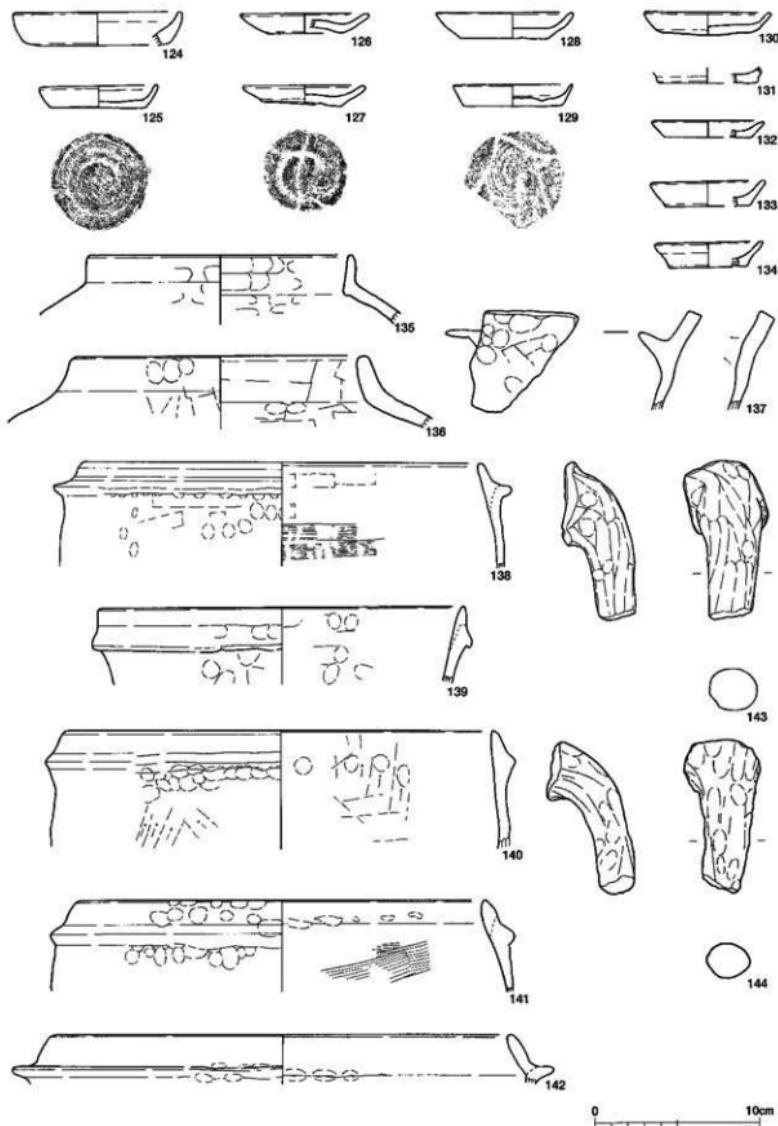
### 141号小穴 (SP1141) (第48・49図)

C区の西側に位置する。検出グリッドはJ-5グリッドである。遺構の北東側半分は調査区外へと延びる。遺構平面形状は円形を呈し、遺構断面形状はいびつな三角形を呈する。遺構規模は径0.35m、深さ0.40mを測り、遺構埋土は2層に分層することができ、第1層にはにぶい黄褐色を呈するシルト質土が堆積し、第2層には黄褐色を呈する粘質土が堆積し、両者とも比較的安定して堆積している。また、柱痕跡や抜き取り痕などは確認できなかった。

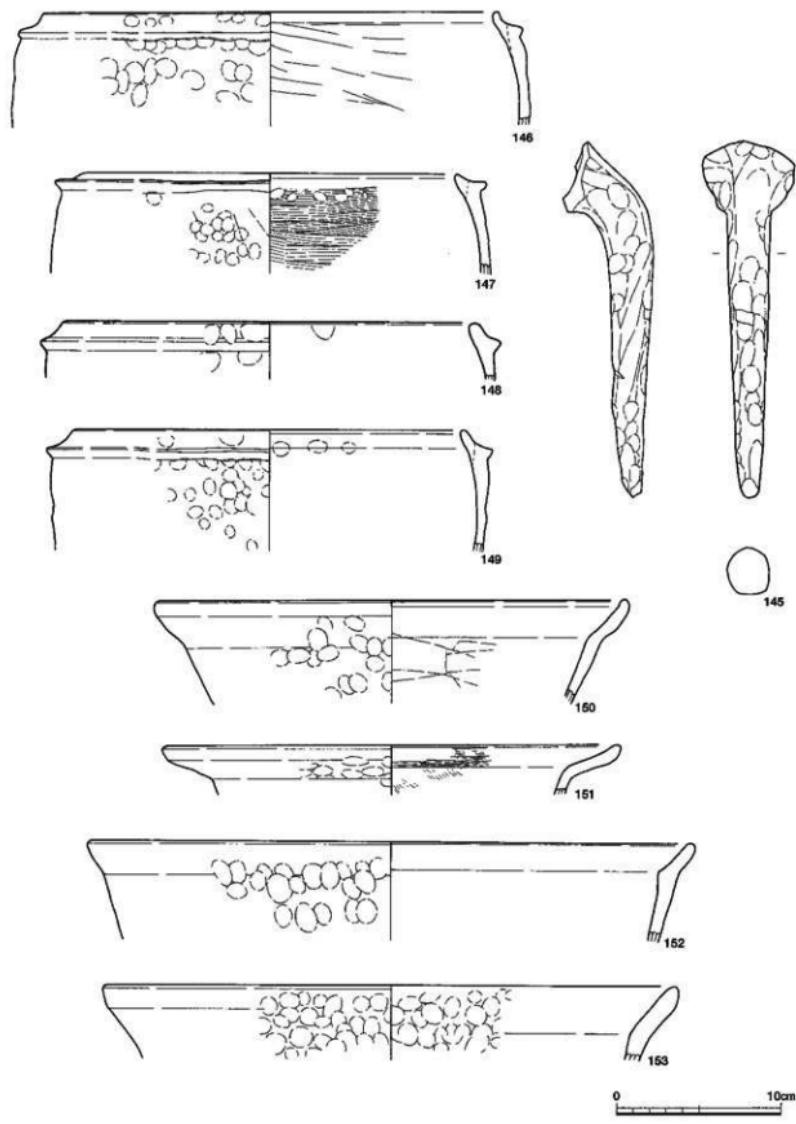
104は土師器の杯である。



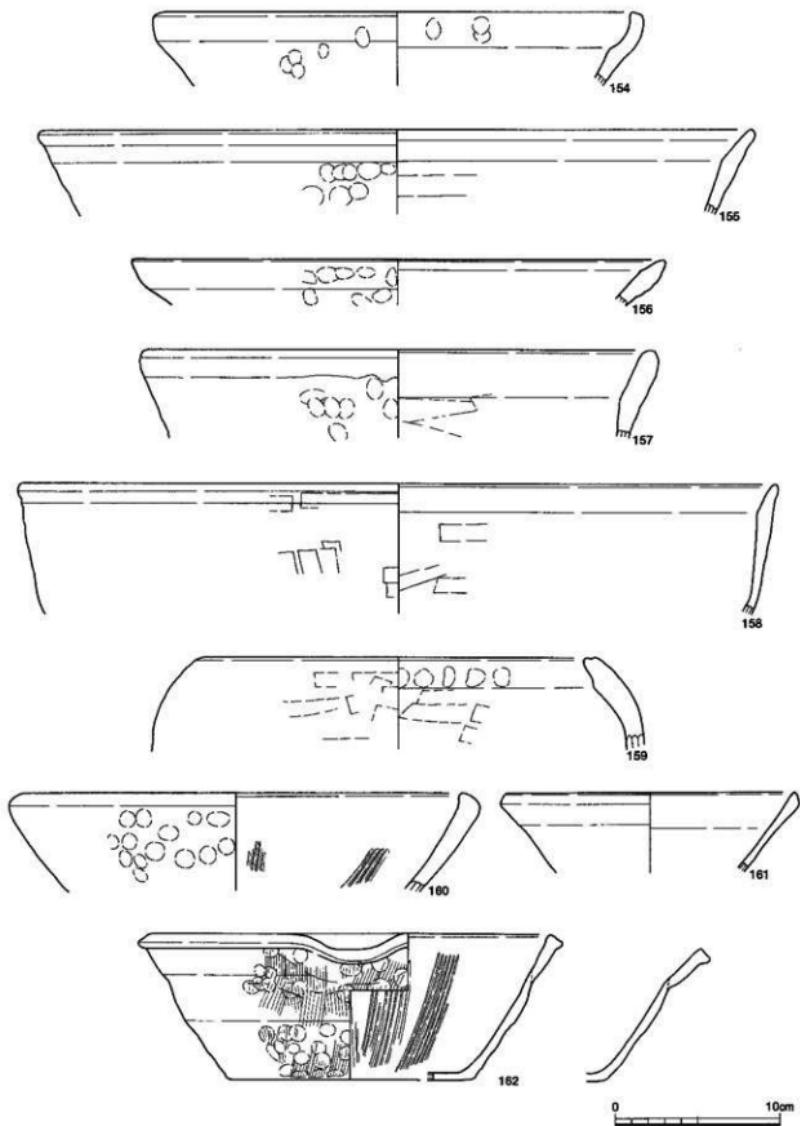
第50図 包含層出土土器 (1)



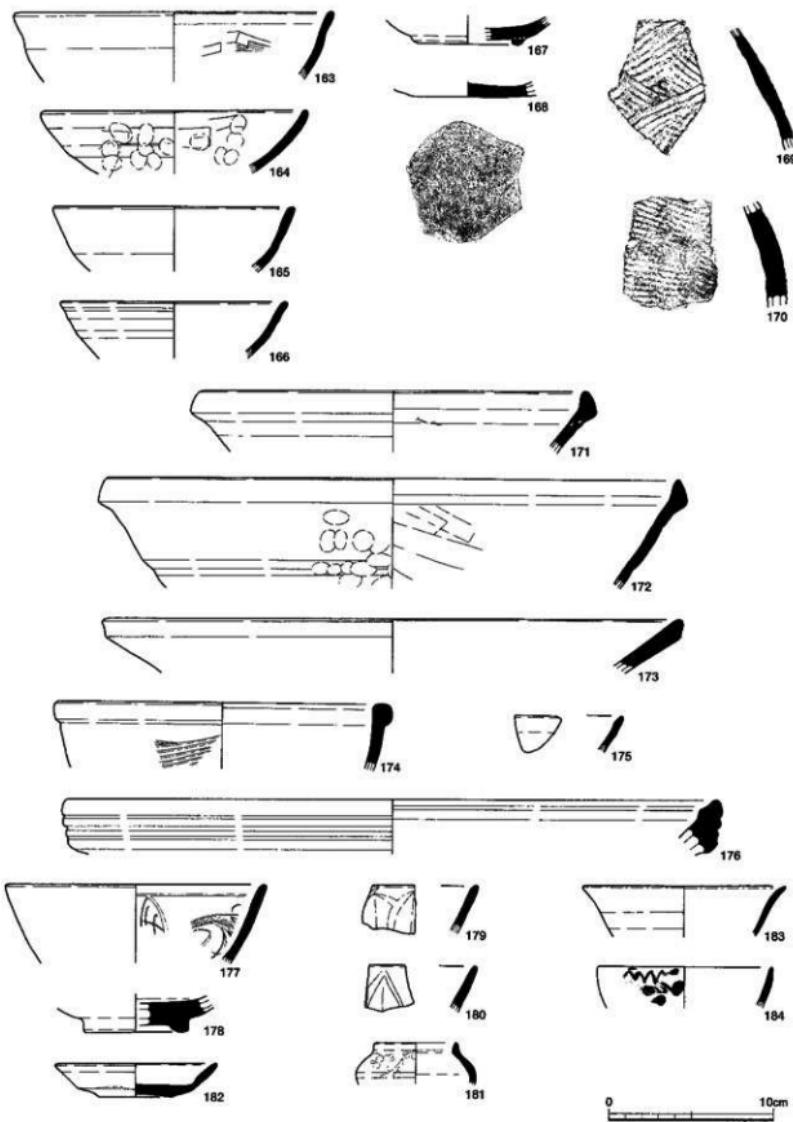
第51図 包含層出土土器（2）



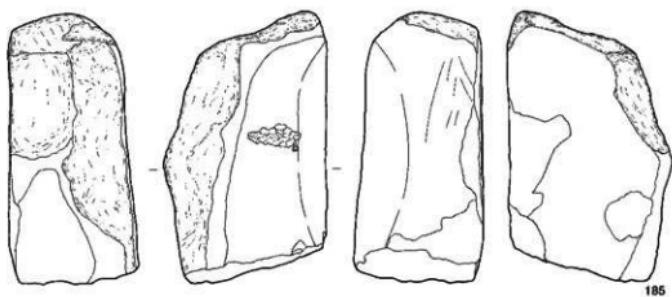
第52図 包含層出土土器 (3)



第53図 包含層出土土器 (4)



第54図 包含層出土土器（5）



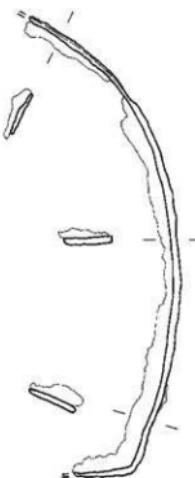
185



0 10cm



186



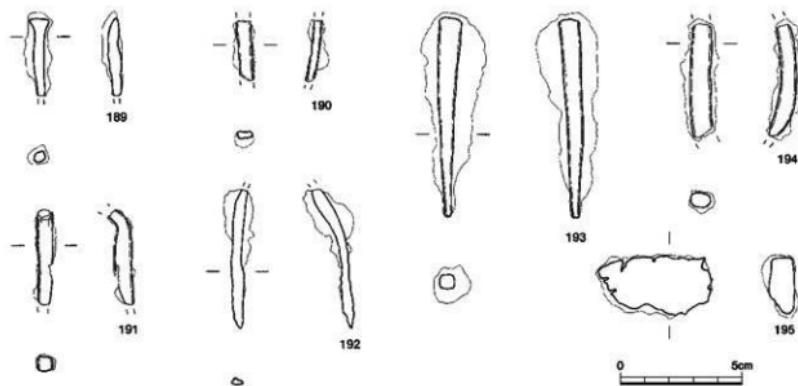
187



188

0 5cm

第55図 包含層出土遺物 (6)



第56図 包含層出土鉄器（7）

#### 包含層出土遺物（第50～56図）

包含層からの遺物は比較的時期が幅広く出土している。また、中世墓において煮沸具が集中して出土していることより、その周辺の包含層からもこれらに伴うと考えられる土師器の羽釜や鍋が多く出土している。

105は弥生土器の壺底部である。106～111は土師器の壺である。112は土師器の壺または鉢である。113～123は土師器の杯である。124～134は土師器の小皿である。135～137は土師器の茶釜である。138～149は土師器の羽釜およびその脚部である。150～159は土師器の鍋である。160～162は土師器の擂り鉢・捏ね鉢である。163～168は須恵器の杯である。169、170は須恵器の壺である。171～173は須恵器の捏ね鉢である。174は陶器の鉢である。175は陶器の碗である。176は陶器の擂り鉢である。177～180は青磁の碗である。181は白磁の子壺である。182は磁器の皿である。183、184は磁器の碗である。185は砥石である。186は鉄刀である。187は鎧金具である。188は鉄製の鉈である。189～195は鉄製の釘である。

### 3 まとめ

供養地遺跡においてとくに注目される発見および成果は、6基の中世墓を確認したことである。その中でもST1002～1006の5基は、いずれも30～50cm前後の礫を用い集石するなどの基本形態をもつていて共通している。この集石に用いられる礫群は、吉野川南岸に立地する当該遺跡においては岩盤および吉野川周辺で容易に入手が可能なものである。また、ST1003、1004においては、平面形状は異なるもののさらに礫を用いて長軸1.2m、短軸1m前後を測る小規模な埋葬施設を構築する点でも共通しており、興味深い。

出土遺物をみてみると、土師器の羽釜や鍋といった煮沸具が圧倒的に多く出土している点においても注目される。いずれの中世墓においても100%に近い数字で煮沸具が出土しており、しかも全てが破片である。しかし、底部まで復元できたものはないということを共通している。

つまり、底部以外の部位を選んでいるということが考えられる。これらの煮沸具が意図的に破壊されたのか、破片となったものを選定して集石内におさめたのかという点については今回の調査において判断し得ていないが、いずれにしても土師器の煮沸具に限定された破片を埋葬施設以外の範囲に散布するという祭祀行為を伴っていることは断定できそうである。

この集石の内部に礫を用いて埋葬施設を構築する方法や集石の範囲の全面に土師器の煮沸具に限定される破片を散布するという祭祀行為は同町内に隣接するお塚古墳<sup>1)</sup>においてもみられることであり、この吉野川上流域における中世段階の礫を用いた埋葬形態のあり方という点において注目されることである。

なお、吉野川上流域において当該期の右組みの墓は吉野川北岸の三好町円通寺遺跡<sup>2)</sup>や南岸の池田町山田遺跡（II）<sup>3)</sup>においても確認されているが、いずれも供養地遺跡やお塚古墳のような形態ではなく方形区画の列石をもちその場で火葬して荼毘に付している点で異なっている。資料の蓄積を待ち、今後の検討に期待したい。

#### 註

- 1) 本報告書所収
- 2) 辻 佳伸ほか「四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 15 円通寺遺跡」  
(財) 徳島県埋蔵文化財センター 2000
- 3) 本報告書所収

第1表 供養地遺跡 検出遺構一覧表 堀立柱建物跡

遺構番号	調査区	位置	平面形態	構造 (間)	遺構規模(cm)				面積 (m <sup>2</sup> )	主軸方位	付属施設	出土遺物
					梁間	桁行	長軸	柱間寸法	長軸	柱間寸法		
SA1001	B	F-9-10	側柱式	1×2	125	125.0	437	218.5	5.46	N-85° -E	-	
SA1002	C	I-7-8	側柱式	1×2	225	225.0	245	122.5	5.51	N-82° -W	-	

第2表 供養地遺跡 遺構一覧表 SK

遺構番号	調査区	位置(グリット)	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物			備考
			長軸	短軸	深さ						
SK1001	C	H-I-7	196	151	56	不整長方形	不整逆台形				
SK1002	C	I-8	190	-	33	不整長方形	船底形				
SK1003	C	I-7-8	144	-	30	楕円形	船底形				
SK1004	C	I-7-8	225	-	33	不整長方形	不整逆台形				
SK1005	C	I-J-7	56	-	9	方形	船底形	土師鍋1			
SK1006	C	J-8	70	48	17	楕円形	逆台形				
SK1007	C	I-J-7-8	335	48	17	不整椭状	逆台形	須恵器碗1、土師皿1	SP1139を切る		
SK1008	C	J-7	272	64	37	不椭円形	逆台形				

第3表 供養地遺跡 遺構一覧表 SO

遺構番号	調査区	位置(グリット)	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物			備考
			長軸	短軸	深さ						
SO1001	A	E-F-3-4	118	79	32	楕円形	逆台形				
SO1002	A	F-3-4	726	270	48	不整形	船底形	土師こね鉢1、軒平瓦1			

第4表 供養地遺跡 遺構一覧表 SJ

遺構番号	調査区	位置(グリット)	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物			備考
			長軸	短軸	深さ						
SJ1001	C	H-10-11	535	182	56	不椭円形	逆台形	土師小瓶1、土師茶釜1、土師羽釜2、土師鍋2、青白磁碗?1			

第5表 供養地遺跡 遺構一覧表 ST

遺構番号	調査区	位置(グリット)	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物			備考
			長軸	短軸	深さ						
ST1001	A	E-3	168	123	39	楕円形	逆台形	陶器碗1、土師培塿2			
ST1002	B	E-B-8~10	2150	160	70	溝状?	船底形	土師茶釜5、土師羽釜13、土師鍋14、土師釜	SP1064・1037・1040・1041・1042を切り、SP1067・1036に切り替わる。		
ST1003	B	F-G-9-10	297	188	182	不整円形	-	土師杯1、土断皿1、土師羽釜9、土師鍋6、土師調2、須恵器 こね鉢1			
ST1004	B	F-9	64	54	22	方形?	-	土師 杯1			
ST1005	B	F-8-9	380	354	132	不整形	-	土師 羽釜2 鍋1 脚1			
ST1006	C	J-K-6-7	454	196	64	長方形	-	土師茶釜1、土師羽釜5、土師鋤1、土師鍋3			

第6表 供養地遺跡 遺構一覧表 SU

遺構番号	調査区	位置(グリット)	規模(cm)			平面形	断面形	出土遺物			備考
			長軸	短軸	深さ						
SU1001	A	D-1~3	1045	65	35	不整楕円形	逆台形	陶器寸り鉢2、瓦器瓦1、盤土3			

第7表 供養地遺跡 遺構一覧表 SP

遺構番号	調査区	位置 (クリット)	規模(cm) 長軸 深さ	出土遺物	備考	遺構番号	調査区	位置 (クリット)	規模(cm) 長軸 深さ	出土遺物	備考
SP1001	B	E-10	11 6			SP1054	C	H-7	21 14		
SP1002	B	E-10	18 4		SA1001	SP1055	C	H-7	23 14		
SP1003	B	E-10	66 45			SP1056	C	H-7	34 20		
SP1004	B	E-10	(23) 5		ST1002に切られる	SP1057	C	H-7	33 18		
SP1005	B	欠番				SP1058	C	H-7	57 25		
SP1006	B	D-10	20 20			SP1059	C	H-6	23 13	磁器(碗)	
SP1007	B	E-10 (37)	17		SP1036・ST1002を切る	SP1060	C	H-6	28 15		
SP1008	B	E-10	22 18		SA1001	SP1061	C	H-6	30 9		
SP1009	B	E-10	22 24			SP1062	C	H-7	33 14		
SP1010	B	E-10	22 21			SP1063	C	H-7	21 11		
SP1011	B	E-10	18 19		SA1001	SP1064	C	H-7	30 20		
SP1012	B	E-10	21 21			SP1065	C	H-7	27 19		
SP1013	B	E-10	25 23		SA1001	SP1066	C	H-7	31 20		
SP1014	B	F-9	28 26			SP1067	C	I-6	32 17		
SP1015	B	E-9	29 31			SP1068	C	I-6	20 20		
SP1016	B	E-10	24 18			SP1069	C	I-6	26 13		
SP1017	B	E-9	52 39			SP1070	C	I-7	26 16		
SP1018	B	F-9・10	16 21			SP1071	C	I-7	25 15		
SP1019	B	E-9	24 25		SA1001	SP1072	C	I-7	23 18		
SP1020	B	E-9	42 31			SP1073	C	I-7	20 13		
SP1021	B	E-9	36 24		SA1001	SP1074	C	I-7	46 15		
SP1022	B	F-9	26 22			SP1075	C	I-7	52 20		SA1002
SP1023	B	E-9	23 13	土師(瓶)		SP1076	C	I-7	32 22		
SP1024	B	E-9	31 28			SP1077	C	I-7	36 13		
SP1025	B	E-8	42 33			SP1078	C	I-7	43 13		SA1002
SP1026	B	E-7	20 21			SP1079	C	I-6・7	26 17		
SP1027	B	E-7	22 19			SP1080	C	I-7	24 20		
SP1028	B	E-7	20 20			SP1081	C	I-7	32 19		
SP1029	B	F-7	28 28			SP1082	C	I-7	21 16		
SP1030	B	F-7	21 23			SP1083	C	I-6	25 18		
SP1031	B	F-6	34 18			SP1084	C	I-6	21 15		
SP1032	B	F-6	23 12			SP1085	C	I-6	26 7		SP1086を切る
SP1033	B	F-6	70 35			SP1086	C	I-6	23 11		SP1085に切られる
SP1034	B	F-G-6	22 17			SP1087	C	I-6	20 23		
SP1035	B	F-5	28 12			SP1088	C	I-6	27 14		
SP1036	B	E-10	42 12		ST1002を切る、SP1037に接する	SP1089	C	J-6	32 12		
SP1037	B	E-8	36 29		ST1002に切られる	SP1090	C	J-7	21 11		
SP1038	B	E-10	24 9			SP1091	C	J-7	23 16		
SP1039	B	I-6	27 20			SP1092	C	G-8	25 21		
SP1040	B	E-9	27		ST1002に切られる	SP1093	C	H-8	26 12		
SP1041	B	E-9	22 12		ST1002に切られる	SP1094	C	H-8	24 10		
SP1042	B	E-9	27 26		ST1002に切られる	SP1095	C	I-8	26 14		
SP1043	B	E-9	36 9			SP1096	C	I-8	27 15		
SP1044	B	E-9	20 26			SP1097	C	I-8	25 20		
SP1045	B	I-9	35 31			SP1098	C	I-8	37 14		
SP1046	C	H-6	34 17			SP1099	C	I-8	28 16		
SP1047	C	H-7	25 23	磁器(青磁) 瓶!		SP1100	C	H-8	40 25		
SP1048	C	H-7	25 10			SP1101	C	H-8	24 16		SP1102に切られる
SP1049	C	H-7	24 11			SP1102	C	H-8	30 14		SP1101を切る
SP1050	C	I-7	26 16			SP1103	C	I-8	26 17		
SP1051	C	I-7	46 20			SP1104	C	I-8	60 27		
SP1052	C	H-7	27 14			SP1105	C	I-8	59 20		
SP1053	C	H-7	25 8			SP1106	C	I-8	35 18		SA1002

遺構番号	調査区	位置	規模(cm) (クリット)	出土遺物	備考	遺構番号	調査区	位置	規模(cm) (クリット)	出土遺物	備考
			長軸 深さ						長軸 深さ		
SP1107	C	I-8	32 19			SP1125	C	H-6・7	26 17		
SP1108	C	I-7	26 10	SA1002		SP1126	C	I-6	44 31	土師杯1	
SP1109	C	I-8	22 22			SP1127	C	J-9	26 24		
SP1110	C	I-8	28 4			SP1128	C	I-7	40 12		
SP1111	C	I-8	28 10			SP1129	C	I-6	21 22		
SP1112	C	J-8 (23)	15	SP1113に切られる		SP1130	C	I-6	25 13		
SP1113	C	J-8	24 22	鉄釘1	SP1112を切る	SP1131	C	I-8	38 19		
SP1114	C	J-7・8	26 18			SP1132	C	J-7	36 10		
SP1115	C	J-8	28 18			SP1133	C	J-7	38 15		
SP1116	C	J-8	23 19			SP1134	C	I-8	31 20		
SP1117	C	J-8	34 25			SP1135	C	I-8	24 13		
SP1118	C	J-8	22 16	土師皿1		SP1136	C	I-8	24 20		
SP1119	C	J-8	35 22			SP1137	C	I-8	20 18		
SP1120	C	J-8	28 20			SP1138	C	I-8	34 18	SA1002	
SP1121	C	J-8	38 14			SP1139	C	I-J-7	25 27	SK1007に切られる	
SP1122	C	I-9	37 18			SP1140	C	J-7	26 19		
SP1123	C	I-9	20 10			SP1141	C	J-5	35 40	土師杯1	
SP1124	C	I-9	28 13								

第8表 供養地遺跡発掘調査 出土遺物観察表 土器

番号	遺構名 出土地点	器種	残存率	口径(cm)	底径(cm)	體部 最大 径(cm)	頸部高 (cm)	器高 (cm)	その他 の法量 (cm)	技法・文様		色調	胎土	備入品
										外) 口縁部:指サエ後コ方向の板ナデ、体部:指 サエ後板ナデ(ヨコ方向の板ナメ方向) 内) 山陰部:ナデ・指サエ後コ方向のハケ、体部: 内) 沈貴性 指サエ後板コ方向のハケ後ナメ方向のハケ	外) 沈貴性 内) 沈貴性			
1	C区 SK1005	土師器 鍋	10%	33.1	-	-	-	(10.5)	-	外) 口縁部:指サエ後コ方向の板ナデ、体部:指 サエ後板ナデ(ヨコ方向の板ナメ方向) 内) 山陰部:ナデ・指サエ後コ方向のハケ、体部: 内) 沈貴性 指サエ後板コ方向のハケ後ナメ方向のハケ	外) 沈貴性 内) 沈貴性	灰、青、石		
2	C区 SK1007	土師器 皿	30%	8.0	-	4.8	-	1.5	-	外) 口縁部:ヨコナデ、底部:ナデ 内) 口縁部:ヨコナデ	外) 灰 内) 灰	青、赤、片		
3	C区 SK1007	須恵器 鉢	10%	12.3	-	-	-	(2.4)	-	外) 口縁部:ヨコナデ 内) 山陰部:山陰部ナデ	外) 灰 内) 灰	西系?		
4	A区 SO1002	土師器 こね鉢	90%	-	-	15.7	-	(5.6)	-	外) 体部:皿底へラ切り後指ナデ、底部:皿底ハラ切 内) 指サエナメ 内体底部:凹転ナデ後指ナデ・指サエ	外) 明赤褐 内) 明赤褐	石、藍		
5	A区 SO1002	土師器 軒平丸	-	-	-	-	-	-	-	外) 口縁部:薄有り	外) 明赤褐	長、青、石		
6	C区 SJ1001	土師器 小皿	20%	7.6	-	6.1	-	1.25	-	外) 口縁部:ヨコ方向のナデ、底部:ヘラ切り (内) 口縁部:ヨコ方向のナデ、底部:ナデ	外) 灰 内) 灰	青、赤、片		
7	C区 SJ1001	青白磁 碗	10%	11.4	-	-	-	(2.8)	-	外) 口縁部:ヨコナデ (内) 口縁部:ヨコナデ	内) 外) うすい黄褐色	砂		
8	C区 SJ1001	土師器 茶釜	10%	21.8	-	-	-	(4.8)	-	外) 口縁部:ヨコナデ (内) 口縁部:ヨコナデ	外) 深 内) 深	長、赤、石		
9	C区 SJ1001	土師器 羽釜	10%	24.8	-	-	銘径 (27.9)	(4.9)	-	外) 口縁部:指サエ後コ方向のナデ、体部:指 サエ後ナデ 内) 口縁部:指サエ後コ方向の板ナデ 外) 瓶底以下付近:付近(瓶底)	外) 朝黄褐 内) 朝黄褐	石、長、赤		
10	C区 SJ1001	土師器 羽釜	-	31.5	-	-	-	(5.6)	-	外) 口縁部:ヨコナデ、ヨコ方向の指ナデ後ナデ、体 部:指サエ後ナデ (内) 口縁部:指サエ後ナデ、体部:ヨコ方向の板ナデ	外) 明黄褐 内) ない黄褐	石、青、結		
11	C区 SJ1001	土師器 鍋	20%	25.6	-	-	-	(8.2)	-	外) 口縁部:指サエ後コ方向のナデ 内) 口縁部:指サエ後コ方向の板ナデ	外) 桂 内) 桂	石、長、赤、片		
12	C区 SJ1001	土師器 鍋	20%	31.2	-	-	-	(7.6)	-	外) 口縁部:ヨコナデ・指サエナメ、体部:指サエ後 ナデ (内) 口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコ方向の板ナデ	外) 紫 内) 紫	青、長、結		
13	A区 ST1001	陶器 碗	80%	-	-	高台径 4.4	-	(2.0)	高台 0.5	外) 体部:皿底へラケリ・一部擦痕、底部:ケズリ出 高台 内) 体底部:ヨコナメ・擦痕(一部無し)見込み埋狀 無理、底部はけはざ	(内) 内面:グレイム の縫 (底地)にひい青色			
14	B区 ST1002	土師器 茶釜	10%	16.7	-	-	-	(5.7)	-	外) 口縁部:指サエ後板ナデ (内) 口縁部:指サエ後板ナデ	外) 黄褐 内) 朝黄褐	石、青		
15	B区 ST1002	土師器 茶釜	2%	-	-	-	-	(10.0)	-	外) 体部:指サエ後コ方向の板ナデ (内) 体部:指サエ後コ方向の板ナデ	内) 外) ひい黄褐色	結		
16	B区 ST1002	土師器 茶釜	80%	14.1	26.4	-	-	(12.0)	-	外) 口縁部:ヨコナデ・体部:ヨコナデ後テナナデ・ヨ コナデ (内) 口縁部:ヨコナデ	外) 貴重 内) 貴重	石、長、結		
17	B区 ST1002	土師器 茶釜	40%	14.8	-	-	16.3	(7.45)	-	外) 口縁部:指サエ後コ方向の板ナデ 内) 口縁部:指サエ後コ方向の板ナデ	外) 紫 内) ひい黄褐色	結、石		
18	B区 ST1002	土師器 茶釜	10%	-	-	-	-	(7.7)	-	外) 体部:指サエ後テナナデ 内) 体部:指サエ後コ方向の板ナデ	外) ひい黄褐色 内) ひい黄褐色	長、青、片		
19	B区 ST1002	土師器 羽釜	-	-	-	-	-	-	-	外) 口縁部:ヨコ方向の板ナデ・指サエ後コナデ 内) 体部:指サエ後板ナデ	外) 青黄褐 内) 青黄褐	石、青、結		
20	B区 ST1002	土師器 羽釜	-	-	-	-	-	-	-	外) 口縁部:ヨコナデ、体部:指サエ後ナデ (内) 体部:指サエ後コ方向の板ナデ	内) 外) ひい青色	長、青、石		
21	B区 ST1002	土師器 羽釜	20%	23.2	-	-	銘径 (26.1)	(9.9)	-	外) 口縁部:ヨコナデ、体部:指サエ後タテ方向の 板ナデ・ヨコ方向の板ナデ (内) 口縁部:ヨコナデ、体部:ヨコ方向の板ナデ	外) 紫 内) 紫	長、青、白		
22	B区 ST1002	土師器 鍋	30%	24.7	-	-	銘径 (26.6)	(8.7)	-	外) 口縁部:指サエ後ナデ (内) 口縁部:指サエ後ナデ	外) ひい青色 内) 朝黄褐	石、青、石		
23	B区 ST1002	土師器 羽釜	10%	21.8	-	-	銘径 (25.5)	(5.5)	-	外) 口縁部:指サエ後コ方向の板ナデ、体部: 指サエ後ナデ (内) 口縁部:指サエ後コ方向の板ナデ、体部: 指サエ後ナデ	外) 明赤褐 内) 明赤褐	長、青、石、 水		
24	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	28.2	-	-	銘径 (30.7)	(6.4)	-	外) 口縁部:ヨコナデ後擦オサエ (内) 口縁部:指サエ後コ方向の板ナデ	外) 紫 内) 貴重	長、青、白		

番号	遺跡名 出土地点	器種	残存 率	口径 (cm)	体部 最大 径(cm)	底径 (cm)	頭部 径 (cm)	器高 (cm)	その他の 法量 (cm)	技法・文様	色調	胎土	鉢
26	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	26.8	-	-	鈎径 (29.3)	(10.0)	-	外)口縁部-指オサエ後コナデ、体部-指オサエ後 板ナデ 内)口縁部-板ナデ、体部-指オサエ後コナデの板 ナデ	外)橙 内)橙	赤、黄、白	
26	B区 ST1002	土師器 鍋	5%	24.8	-	-	-	(5.8)	-	外)口縁部-指オサエ後コナデ、体部-板ナデ-指オサエ後 板ナデ 内)口縁部-板ナデ	外)橙 内)橙	石、黄、白	
27	B区 ST1002	土師器 羽釜	15%	17.0	-	-	鈎径 (20.0)	(4.3)	-	外)口縁部-指オサエ後コナデ、体部-指オサエ後板 ナデ 内)口縁部-指オサエ、体部-指オサエ後板ナデ	外)明赤褐 内)明赤褐	黄、赤、白	
28	B区 ST1002	土師器 羽釜	10%	15.8	-	-	鈎径 (19.1)	(4.7)	-	外)口縁部-指オサエ後コナデ、体部-指オサエ後 板ナデ 内)口縁部-指オサエ後コナデ 外)腹部部以下灰付着	外)明赤褐 内)明赤褐	黄、青、石、赤	
29	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	16.3	-	-	鈎径 (19.2)	(4.4)	-	外)口縁部-指オサエ後コナデ 内)口縁部-指オサエ後コナデ	外)において 内)において	青、赤、黄、白	
30	B区 ST1002	土師器 羽釜	25%	23.0	-	-	鈎径 (27.3)	(4.7)	-	外)口縁部-指オサエ後コナデ 内)口縁部-合板時にによる指オサエ後ナデ、体部- 指オサエ後板ナデ	外)板 内)面	青、赤、黄、白	
31	B区 ST1002	土師器 羽釜	10%	22.0	-	-	鈎径 (25.55)	(4.2)	-	外)口縁部-指オサエ後コナデ 内)ヨコ方向のナデ、体部-指オサエ後コナデのナデ 内)口縁部-ヨコ方向のナデ	外)明黄褐 内)明黄褐	黄、青、石	
32	B区 ST1002	土師器 鍋	20%	26.25	-	-	鈎径 (29.1)	(6.6)	-	外)口縁部-ヨコナデ、体部-板ナデ-後扣オサエ-ナデ 内)口縁部-ヨコナデ、体部-板ナデ-後扣オサエ-ナデ その他の部分-指オサエ後ナデ	外)橙 内)橙	黄、赤、白	
33	B区 ST1002	土師器 羽釜	10%	27.0	-	-	鈎径 (30.15)	(8.5)	-	外)口縁部-ヨコ方向の板ナデ、体部-指オサエ後 板ナデ 内)口縁部-ヨコ方向の板ナデ	外)橙 内)橙	石、青、白	
34	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	34.7	-	-	鈎径 (37.6)	(6.7)	-	外)口縁部-指オサエ後ナデ 内)口縁部-板ナデ	外)橙 内)において	青、赤、白	
35	B区 ST1002	土師器 羽釜	10%	28.4	-	-	鈎径 (32.0)	(4.45)	-	外)口縁部-ヨコナデ、体部-指オサエ後ナデ 内)口縁部-ヨコナデ、体部-ヨコ方向の板ナデ-後 指オサエ	内-外)において 内)において	黄、青、石	
36	B区 ST1002	土師器 羽釜	10%	17.8	-	-	鈎径 (21.3)	(5.5)	-	外)口縁部-指オサエ後ナデ、体部-指オサエ後板 ナデ 内)口縁部-指オサエ後コナデの板ナデ	外)明赤褐 内)面	黄、青、石、赤	
37	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	36.6	-	-	鈎径 (36.8)	(8.6)	-	外)口縁部-指オサエ後ナデ 内)口縁部-指オサエ後ナデ	外)において 内)において	石、青、白	
38	B区 ST1002	土師器 羽釜	60%	25.7	30.2	-	鈎径 (28.95)	(11.35)	-	外)口縁部-ナデ後扣オサエ、体部-指オサエ後コ 方向のハタケナチ万古のナゲ(7mm/cm) 内)口縁部-ヨコ方向の板ナデ	外)黒褐 内)明黄褐	青、赤、白	
39	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	26.8	-	-	-	(7.5)	-	外)口縁部-指オサエ後コナデ、体部-指オサエ 後コナデ 内)口縁部-指オサエ後コナデ、体部-指オサエ 後コナデの板ナデ、その他の複数度あり	外)明黄褐 内)明黄褐	石、黄	
40	B区 ST1002	土師器 羽釜	13%	21.8	-	-	鈎径 (25.0)	(7.3)	-	外)口縁部-ヨコナデ-指オサエ後板ナデ、体部- 指オサエ後板ナデ 内)口縁部-指オサエ後板ナデ	外)浅黄 内)明褐	黄、青、石、赤	
41	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	33.0	-	-	-	(6.1)	-	外)口縁部-ヨコナデ、体部-指オサエ後タテナデ 内)ヨコナデ、内に残る着物 内)口縁部-ヨコナデ、体部-板ナデ	外)明黄褐 内)明黄褐	石、赤、白	
42	B区 ST1002	土師器 鍋	13%	23.4	-	-	鈎径 (25.6)	(6.0)	-	外)口縁部-ヨコナデ、体部-指オサエ後ナデ 内)口縁部-板ナデ	外)褐灰 内)において	青、赤、白	
43	B区 ST1002	土師器 脚	10%	-	-	-	-	-	-	外)その他-指オサエ後指ナデ	外)明黄褐 内)明黄褐	黄、白、青、赤	
44	B区 ST1002	土師器 羽釜(網附)	-	-	-	-	-	-	-	外)その他-指ナデ-指オサエ 内)体部-ナデ	外)において 内)において	青、赤、白	
45	B区 ST1002	土師器 脚	10%	-	-	-	-	-	-	外)その他-指ナデ-指オサエ 内)体部-指オサエ-ナデ	外)明黄褐 内)において	青、赤、白	
46	B区 ST1002	土師器 羽釜 (脚部)	-	-	-	-	-	-	-	外)その他-指ナデ-指オサエ 内)体部-ナデ	外)において 内)において	青、赤、白	
47	B区 ST1002	土師器 脚	10%	-	-	-	-	-	-	外)その他-指オサエ後指ナデ 内)体部-ナデ	外)明赤褐 内)明赤褐	赤、青、白	
48	B区 ST1002	土師器 羽釜(網附)	-	-	-	-	-	-	-	外)その他-指ナデ-指オサエ 内)体部-ナデ	外)において 内)明赤褐	石、青、赤	
49	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	28.4	-	-	-	(6.1)	-	外)口縁部-指オサエ後板ナデ 内)口縁部-板ナデ	外)板 内)板	石、青	

番号	遺構名 出土地点	器種	残存率	口径 (cm)	体部 最大 径(cm)	底径 (cm)	頸部径 (cm)	器高 (cm)	その他の 法量 (cm)	技法・文様	色調	胎土	搬入品
50	B区 ST1002	土師器 罐	10%	32.4	-	-	-	(5.5)	-	外口縁部:ヨコ方向の板ナデ、体部:指オサエ後 ナデ 内口縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ヨコナデ、 板ナデ	赤褐色 内青白	灰、褐、綠	
51	B区 ST1002	土師器 擂鉢	10%	33.45	-	-	-	(7.5)	-	外口縁部:ナデ、体部:指オサエ後板ナデ 内口縁部:ナデ、体部:板ナデ	外青白地 内青白	灰、長	
52	B区 ST1002	土師器 罐	10%	31.4	-	-	-	(3.6)	-	外口:横部:指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ 後板ナデ 内口:縁部:ヨコ方向の板ナデ	外青白地 内青白	赤、黄、長	
53	B区 ST1002	土師器 鍋	10%	40.45	-	-	-	(6.8)	-	外口:縁部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ、体部: 指オサエ後ヨコナデ 内口:縁部:ヨコナデ、体部:ヨコ方向の板ナデ	外青白地 内青白	灰、灰	
55	B区 ST1003	土師器 杯	10%	11.05	-	(8.85)	-	3.6	-	外口:縁部:圓輪目ナデ、底部:圓輪目ハラ切り 内口:縁部:目ナデ	外青白地 内青白	灰、灰、青	
56	B区 ST1003	土師器 皿	-	-	4.8	-	-	(1.2)	-	外口:底部:板ナデ、底部:尋止目切り後ハラ正直、 内口:底部:圓輪目ナデ	外青白地 内青白	灰、青、石	
57	B区 ST1003	土師器 刺盒	-	-	-	-	-	(3.6)	-	外口:縁部:ヨコナデ、体部:ナデ:指オサエ、外腹 縁に薄片付着 内口:縁部:ナデ	外青白地 内青白	石、赤	
58	B区 ST1003	土師器 羽釜	11%	24.0	-	-	銘径 (26.0)	(3.2)	-	外口:縁部:指オサエ、体部:指オサエ後板ナデ、 底部のあらき 内口:縁部:ナデ	内青白地 内青白	灰、青、綠	
59	B区 ST1003	土師器 羽釜	20%	24.35	-	-	銘径 (27.05)	(9.1)	-	外口:縁部:指オサエ後ヨコナデ、底部:板ナデ 内口:縁部:板ナデ	外青白地 内青白	石、青、綠	
60	B区 ST1003	土師器 羽釜	27%	22.0	-	-	銘径 (25.0)	(12.1)	-	外口:縁部:指オサエ後板ナデ 内口:縁部:指オサエ後板ナデ	外青白地 内青白	長、青、石、 青	
61	B区 ST1003	土師器 羽釜	15%	24.8	-	-	銘径 (27.65)	(7.9)	-	外口:縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ナデ、外腹 縁に薄片付着 内口:底部:ヨコ方向の板ナデ	外青白地 内青白	灰、青、黃、 赤	
62	B区 ST1003	土師器 羽釜	10%	28.2	-	-	銘径 (31.0)	(6.0)	-	外口:縁部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ(体部 途中まで)、体部:指オサエ後板ナデ 内口:縁部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ	外青白地 内青白	灰、青、石	
63	B区 ST1003	土師器 盤	-	34.0	-	-	銘径 (36.2)	(6.0)	-	外口:縁部:指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ 後板ナデ 内口:縁部:ヨコ方向の板ナデ、体部:板ナデ	外青白地 内青白	灰、青、黃、 赤	
64	B区 ST1003	土師器 羽釜	10%	28.0	-	-	銘径 (30.8)	(9.1)	-	外口:縁部:指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ 後板ナデ 内口:縁部:ヨコ方向の板ナデ	外青白地 内青白	石、青、綠	
65	B区 ST1003	土師器 鍋	10%	26.55	-	-	銘径 (29.5)	(10.2)	-	外口:縁部:指オサエ後ナデ、体部:指オサエ後板 ナデ 内口:底部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ	外青白地 内青白	石、青、白	
66	B区 ST1003	土師器 羽釜	20%	25.0	-	-	銘径 (27.9)	(13.7)	-	外口:縁部:指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ 後ナデ 内口:縁部:指オサエ後ヨコ方向の板ナデ	外青白地 内青白	石、青、綠	
67	B区 ST1003	土師器 羽釜	14%	(23.4)	-	-	銘径 (27.0)	(6.7)	-	外口:縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後板ナデ 内口:縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後板ナデ	外青白地 内青白	長、青、石	
68	B区 ST1003	土師器 羽釜	20%	17.0	-	-	銘径 (20.3)	(7.0)	-	外口:縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後板ナデ 内口:縁部:ヨコナデ、体部:板ナデ	外青白地 内青白	灰、青、石	
69	B区 ST1003	土師器 羽釜(脚 部)	-	-	-	-	-	-	-	外口:他の:指ナデ:指オサエ 内口:体部:ナデ	外青白地 内青白	石	
70	B区 ST1003	土師器 羽釜(脚 部)	-	-	-	-	-	-	-	外口:他の:新ナデ:指オサエ 内口:体部:ナデ	外青白地 内青白	石、長、青、 赤	
71	B区 ST1003	土師器 鍋	15%	32.4	-	-	-	(9.2)	-	外口:縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ナデ:指 オサエ後ヨコ方向の板ナデ 内口:縁部:ヨコ方向の板ナデ、体部:指オサエ後 ナデ	外青白地 内青白	灰、青、石	
72	B区 ST1003	土師器 鍋	-	37.6	-	-	-	(3.5)	-	外口:縁部:ヨコナデ、体部:指オサエ後ナデ、外腹 縁に薄片付着 内口:縁部:ヨコナデ	外青白地 内青白	石、青、綠、 青	
73	B区 ST1003	紺惠器 こね鉢	10%	26.5	-	-	-	(2.7)	-	外口:底部:ヨコナデ 内口:底部:ヨコナデ	外青白地 内青白	灰、青、石	
74	B区 ST1004	土師器 杯	40%	-	-	8.85	-	(2.5)	-	外口:縁部:ヨコ方向の板ナデ、体部:指オサエ後 ヨコ方向の板ナデテナデ 内口:縁部:ヨコ方向の板ナデ	外青白地 内青白	灰、青、石	
75	B区 ST1005	土師器 羽釜	20%	24.6	-	-	銘径 (27.05)	(10.0)	-	外口:縁部:ヨコ方向の板ナデ、体部:指オサエ後 ヨコ方向の板ナデテナデ 内口:縁部:ヨコ方向の板ナデ	外青白地 内青白	石、青、綠、 赤	
76	B区 ST1005	土師器 羽釜	10%	29.6	-	-	銘径 (31.8)	(7.5)	-	外口:縁部:指オサエ後ヨコナデ、体部:指オサエ 後ナデ、外腹に焼付着 内口:縁部:ヨコ方向の板ナデ	外青白地 内青白	石、青、白、 青	